

名古屋芸術大学

# 研究紀要

第39巻 別冊（業績集）

2018. 3

芸術学部 芸術学科

音楽領域	1
美術領域	39
デザイン領域	57
芸術教養領域	83

人間発達学部 子ども発達学科

.....	91
-------	----

## 芸術学部 芸術学科 音楽領域

教授 松波 千津子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	<p>・「声楽研究Ⅰ～Ⅳ」では、学生一人ひとりの歌唱技術に応じた選曲を指導し、表現豊かな演奏能力を習得させることを目標としている。声楽研究Ⅰ、Ⅱは演奏の基礎づくりに力点を置き、Ⅲ、Ⅳでは受講生を積極的に学内外のオーディションに参加させ、自己研鑽と向上心を養うことに努めている。</p> <p>・「オペラ研究Ⅰ」ではモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」の一部を抽出して、前期は音楽練習（特にセッコの歌唱法）や豊かな表現力を導き出すように指導した。後期は、自分の歌や演技が的確に相手に伝わるように、積極的な行動を求め、全員でオペラを創造するという意識を持たせるように努めた。ホールでの演奏という最終目標に向かって、教室を段々広くして、ホールで演奏するための高度なテクニックを学ばせた。</p>
◎作成した教科書・教材	2016. 4～2017. 3	<p>・「声楽研究Ⅰ～Ⅳ」 コンコーネ50番・25番等の練習曲 イタリア歌曲集1・2 トステイー、ドナウディー、ベッリーニ等の歌曲集 日本歌曲集1・2・3 学生各々に適したオペラ・アリア集</p> <p>・「オペラ研究Ⅰ」 モーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」</p>
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2016. 8	<p>授業評価の学生アンケートの集計結果において、高い回答率と出席率が、学部平均を大きく上回る4.5以上の高い数値を得た。この事実は、学生が極めて熱心に授業に取り組んだこと、また、学生がこの授業を通じて知識と技能が向上したことを実感できた、学生にとって心に響く満足度の高い授業であったことを証明している。しかし、これに慢心することなく、今後も授業のさらなる質的向上を目指して努力を重ねていきたい。</p>
◎その他	2016. 8  2010. 10～2016. 10	<p>春日井市立西部中学校合唱部の指導を行い、第83回NHK全国学校音楽コンクール〈予選・中学校部門・尾張地区〉において銀賞を受賞した。</p> <p>日本クラシック音楽協会から、コンクールの全国大会で2名以上の入賞者及び3名以上の出場者を輩出した事実によって、優れた指導能力が証明された音楽教育者に贈られる「優秀指導者賞」を連続7回（第20回～26回）受賞した。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
音楽講座「魅力ある美しい声の出し方と歌い方」	2016. 8. 29	<p>(財)岐阜県民ふれあい会館・サラマンカホールの主催の秋の音楽祭で、佐藤真作曲「土の歌」を歌う県民合唱団女声110名が受講した。</p> <p>発声のメカニズムの解説や準備体操、発声練習を指導したほか本番で歌う「大地讃頌」を軸に、日本語の発音と音楽的表現について指導した。</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎演奏 オペラの魅力 Vol. 25		28. 6. 21	三井住友海上しらかわホール エウロ・リリカ主催	<p>ヴェルディ作曲：オペラ「オテロ」ハイライトの〈デズデモナ〉役にて出演</p> <p>・柳の歌～アヴェ・マリア</p> <p>・地に伏して！</p> <p>共演：岡本茂朗、石原まりあ、加藤利幸、上本鋼久 他、エウロ・リリカ合唱団、石山英明 (pf)</p> <p>構成・演出：岡本茂朗</p>
愛知県立芸術大学創立50周年記念 音楽学部同窓会コンサート		28. 8. 6	三井住友海上しらかわホール 愛知県立芸術大学音楽学部同窓会主催	<p>ヴェルディ作曲：オペラ「椿姫」より</p> <p>“ああ、そは彼の人か～花から花へ”</p> <p>二重唱 “天使のような清らかな娘”</p> <p>共演：澤脇達晴、石山英明 (pf)</p>
愛知室内オーケストラ —長浜特別演奏会—		28. 10. 2	浅井文化ホール 長浜市・浅井文化ホール主催	<p>ヴェルディ作曲：オペラ「椿姫」より</p> <p>乾杯の歌 “友よ、さあ飲み明かそう”</p> <p>“不思議だわ！ああ、そは彼の人か～花から花へ”</p> <p>指揮：新田ユリ</p> <p>共演：愛知室内オーケストラ</p>
サラマンカホール 子どものためのオペラ 「魔笛」		28. 12. 18	(財)岐阜県民ふれあい会館 サラマンカホール サラマンカホール主催	<p>モーツァルト作曲：オペラ「魔笛」の〈夜の女王〉役にて出演</p> <p>指揮：倉知竜也</p> <p>演出：池山奈都子</p> <p>共演：中井亮一、國光ともこ 他</p>
◎コンクール審査 第8回東京国際声楽コンクール〈予選〉		28. 7. 3	中村文化小劇場 一般社団法人東京国際芸術協会主催	審査員
第17回大阪国際音楽コンクール〈中部地区本選〉		28. 7. 24	名古屋芸術大学3号館ホール 大阪国際音楽振興会・大阪国際音楽コンクール実行委員会主催	審査員
第26回日本クラシック音楽コンクール〈中部地区予選〉		28. 8. 18	中村文化小劇場 日本クラシック音楽協会主催	審査員
第70回全日本学生音楽コンクール〈名古屋大会予選〉		28. 9. 10	今池ガスホール 毎日新聞社主催	審査員

第26回日本クラシック音楽コンクール〈中部地区本選〉		28. 10. 18	岐阜市文化センター小劇場 日本クラシック音楽協会主催	審査員 第26回優秀指導者賞受賞（7年連続）
第70回全日本学生音楽コンクール〈名古屋大会本選〉		28. 10. 30	今池ガスホール 毎日新聞社主催	審査員
第46回イタリア声楽コンクール		28. 11. 13	名古屋芸術大学3号館ホール 毎日新聞社・(社)日本イタリア協会共催	審査員
◎アドバイス・レッスン 春日井市立西部中学校合唱部		28. 4. 2 28. 4. 16 28. 7. 2 28. 7. 9 28. 7. 16 29. 3. 5 29. 3. 27	すぺーす萌 神田サロン すぺーす萌 神田サロン 名古屋芸術大学 中アンサンブル室 すぺーす萌 名古屋芸術大学 中アンサンブル室	合唱部の指導を行い、第83回NHK合唱コンクール（予選・中学校部門・尾張地区）において銀賞を受賞した。
◎講演 音楽講座 「魅力ある美しい声の出し方と歌い方」		28. 8. 29	(財)岐阜県民ふれあい会館 サラマンカホール サラマンカホール主催	佐藤真作曲 カンタータ「土の歌」より “大地讃頌”を取り上げ、美しい声の発声方法と歌唱法を指導した。
◎その他 声楽歌唱法の指導方法についての一考察—日本歌曲「赤とんぼ」と「浜辺の歌」を例にして—	単著	2016. 3	名古屋芸術大学教職センター紀要	この論文では、山田耕筰作曲の「赤とんぼ」と成田為三作曲の「浜辺の歌」等に代表される日本の伝統的な歌唱教材を用い、中高等学校の音楽科の学習目標である「豊かな情操」の育成のために、生徒一人ひとりの想像力と感性を育むことが重要であること、そして楽譜から作曲家の意図を理解し、歌詞に込められた作詞家の心を汲み取り、どのように演奏すべきか、その表現方法と歌唱法を学ぶことが大切であることを明らかにした。

教授 澤脇 達晴

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	声楽実技指導上の特に目新しい教育方法の変更は行わなかった。従来のように横隔膜を意識させた発声法という根源的なスタイルで発声させ、また楽曲の解釈を確実にするように学ばせた。
◎作成した教科書・教材 オペラ「魔笛」の台本制作	2016. 4～8 台本を執筆	名古屋芸大と名古屋西文化小劇場との第1回連携公演に当たって台本を新たに制作する必要があったため新たなストーリーで執筆した。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
名古屋芸大と名古屋西文化小劇場とのオペラ連携公演の実施	公演日 2017. 2. 24・25・26 会場 名古屋西文化小劇場	本年初めて公共団体との共催によるオペラ公演を実施した。社会における貢献という大学の使命に則った活動で対外的な成果はあったと考えている。また卒業生の活動の場を提供することと卒業生と在学生の交流の場としてそこから得られる在学生の教育的成果もあったように思う。オペラ演出においては初めて映像を使い、新演出で大きな評価を得た。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
澤脇達晴講演会		2016. 5. 1	安城音楽家協会主催 第14回セミナー 安城市昭林公民館ホール 主催 安城音楽家協会	講師 澤脇達晴 お話と演奏、長年オペラと共に生きてきた中での話をしながら歌を歌う講演会 シューマン「美しき5月に」、滝廉太郎「荒城の月」、モーツァルト「もう飛ぶまいぞこの蝶々」、ビゼー「闘牛士の歌」他、ピアノ小堂ひとみ
名古屋演奏家ソサエティー35周年記念コンサート		2016. 6. 12	中電ホール	独唱と二重唱 二重唱 「ドン・カルロ」より我らは共に誓おう テノール 豊田将司 バリトン 澤脇 ピアノ 尾関記久子 独唱「パリアッチ」から ご免ください バリトン独唱 ピアノ 久野明子 電子オルガン 鷹野雅史
愛知県立芸術大学50周年記念同窓会コンサート		2016. 8. 6	三井住友海上しらかわホール 主催 愛知県立芸術大学同窓会愛知支部	独唱と二重唱 独唱・オペラ「パリアッチ」から トニオの aria 「ご免ください」 二重唱・オペラ「椿姫」からヴィオレッタとジェルモン「天使のような清らかな娘」 ヴィオレッタ松波千津子、ジェルモン澤脇達晴 ピアノ石山英明
東日本復興支援コンサート		2016. 9. 24・25	気仙沼プラザホテルロビー 鹿折中学校仮設住宅集会場 主催 安城音楽家協会 協力 気仙沼市社会福祉協議会ボランティアセンター	独唱 見上げてごらん夜の星を、上を向いて歩こう、荒城の月、フニクリ・フニクラ他 ピアノ伴奏 小堂ひとみ
創作オペラ「閻魔街道夢の中」		2016. 12. 3・4	名古屋市芸術創造センター 主催 名古屋演奏家ソサエティー	出演と公演実行委員長 指揮 高谷光信 演出 瀧本晴都子 演奏 北川美晃・エレクトーン 松内愛 弁慶役出演 澤脇達晴

オペラ「子供と魔法」	2016. 12. 18	不二羽鳥文化センター 主催 羽島市音楽芸術協会	演出として担当 指揮 笠原憲子 演出 澤脇達晴 ピアノ 田中裕美・キーボード 渡辺恵子 主な配役 子供 近藤真帆、母親 上野早苗 安楽椅子 山田知加他
第九演奏会	2016. 12. 25	長良川国際会議場ホール催 主催 ウィーン岐阜合唱団	ソリスト出演 指揮 平光 保 演奏 ウィーン岐阜管弦楽団 合唱 ウィーン岐阜合唱団 ソリスト ソプラノ 赤堀織華、アルト 伴和子、テノール 小山陽二郎、 バス 澤脇達晴
オペラ「魔笛公演」	2017. 2. 24 ・25・26	名古屋西文化小劇場 主催 名古屋芸術大学 名古屋西文化小劇場	名古屋芸大・名古屋西文化小劇場第1回連携 公演 演出と出演 指揮 高谷光信 演出 澤脇達晴 演奏 名古屋芸術大学オーケストラ 出演 名古屋芸術大学字学生・卒業生・教員 パパゲーノ役出演 澤脇達晴 タミーノ役 中井亮一 他

教授 竹内 雅一

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎演奏 名古屋芸術大学&バリ エ コール・ノルマル音楽院 交 歓演奏会		2016. 4. 28	主催：名古屋芸術大学 会場：名古屋芸術大学東 キャンパス音楽講堂ホール	Poem -クラリネットとピアノのための- / 田 中範康
名古屋フランス音楽研究会 第28回公演		2016. 5. 6	主催：名古屋フランス音楽 研究会 会場：電気文化会館ザ・コ ンサートホール	シャンソンとダンス / V. ダンディ
ウクライナ国立チェルニー ゴフフィルハーモニー交響 楽団 演奏会		2016. 6. 18	主催：ウクライナ国立チェ ルニーゴフフィルハーモ ニー交響楽団 会場：チェルニーゴフ州立 フィルハーモニーホール	クラリネット小協奏曲 / M. セイバー
音楽とともに語られる宮沢 賢治		2016. 10. 28	主催：名古屋市文化振興事 業団 / 中村文化小劇場 会場：中村文化小劇場	クラリネット・ソナタ / F. プーランク

デンバー大学ラモント音楽院・名古屋芸術大学音楽学部 交流演奏会	2016. 11. 10	主催：名古屋芸術大学 会場：名古屋芸術大学東キャンパス2号館大アンサンブル室	クラリネットとエレクトロニクスのための天空の息吹／C. マロイ
名古屋芸術大学オーケストラ第34回定期演奏会	2016. 11. 25	主催：名古屋芸術大学 会場：愛知県芸術劇場コンサートホール	クラリネット小協奏曲／C. M. v. ウェーバー
さくらウインドオーケストラ特別公演	2017. 1. 8	主催：さくらウインドオーケストラ 会場：わかくさ・プラザメインアリーナ	フラッシング・ウィンズ／J. ヴァン デル ロースト 他
竹内雅一 60th Anniversary Concert	2017. 3. 11	主催：竹内雅一教授還暦記念会 会場：三井住友海上しらかわホール	ラプソディ／G. ミルッチオ 他
◎指揮 こだま〜れ2016 オープニングセレモニー	2016. 4. 24	主催：飛騨高山文化芸術祭実行委員会 会場：高山市文化会館大ホール	ミュージカルナンバー
碧南市民吹奏楽団第37回定期演奏会	2016. 6. 29	主催：碧南市民吹奏楽団 会場：碧南市文化会館大ホール	サガ・キャンディダ ～魔女狩りの7つの印象～／B. アッペルモント
名古屋芸術大学ウインドオーケストラコンサート	2016. 9. 4	主催：名古屋芸術大学/飛騨・世界生活文化センター 会場：飛騨・世界生活文化センター	クレデンティウム／J. ヴァン デル ロースト 他
第2回飛騨高山文化芸術祭 こだま〜れ2016「ES WAR EINMAL... (むかしむかし...)」	2016. 9. 19	主催：飛騨高山文化芸術祭実行委員会 会場：高山市文化会館大ホール	ES WAR EINMAL...／J. ヴァン デル ロースト
第47回全飛吹奏楽祭	2016. 9. 22	主催：飛騨吹奏楽研究会/高山市民吹奏楽団 会場：高山市文化会館大ホール	クラリネット協奏曲／P. スパーク 他
あいちトリエンナーレ2016 ショービジネスに乾杯	2016. 10. 2	主催：名古屋芸術大学 会場：愛知県芸術劇場大ホール	ラプソディ・イン・ブルー／G. ガーシェウイン 他
日本・ベルギー友好150周年記念 ベルギー文化の祭典	2016. 10. 14	主催：公益財団法人フランダースセンター 会場：ナレッジシアター	Les derniers jour Rhapsody／J. ニーヴ 他
第48回高山市民吹奏楽団定期演奏会	2016. 11. 19	主催：高山市民吹奏楽団 会場：高山市文化会館大ホール	序曲「1812年」／P. I. チャイコフスキー 他



岡崎市制100周年記念祝祭演奏会	2016. 12. 17	主催：岡崎市教育委員会/ 岡崎市制100周年記念祝祭演奏会実行委員会 会場：岡崎市民会館ホール	楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲/R. ワーグナー 他
飛騨・童話会議2016	2017. 2. 12	主催：飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会/ 名古屋芸術大学 会場：飛騨・世界生活文化センター	星の王子様を探して！
◎審査 岐阜国際音楽祭コンクール予選	2016. 4. 30	主催：岐阜国際音楽祭実行委員会 会場：瑞穂市民センター	
岐阜国際音楽祭コンクール本選	2016. 5. 3	主催：岐阜国際音楽祭実行委員会 会場：じゅうろくプラザ	
大阪国際音楽コンクール愛知地区本選	2016. 7. 24	主催：大阪国際音楽振興会 会場：名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール	
愛知県吹奏楽コンクール高校の部 県大会	2016. 8. 2 2016. 8. 3	主催：愛知県吹奏楽連盟/ 朝日新聞社 会場：豊田市文化会館	
横浜国際音楽コンクール	2016. 8. 9	主催：横浜国際音楽コンクール実行委員会 会場：瑞穂文化小劇場	
日本演奏連盟 新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ オーディション	2016. 11. 2	主催：日本演奏連盟 会場：音楽プラザ	
第29回中部日本個人・重奏コンテスト 愛知県大会	2017. 3. 5	主催：愛知県吹奏楽連盟/ 中日新聞社 会場：西尾市文化会館	
第3回管楽器ソロコンテスト in 東海	2017. 3. 30 2017. 3. 31	主催：「管楽器ソロコンテスト in 東海」実行委員会 会場：一宮木曾川文化会館 尾西信金ホール	
◎講習会 西三河地区吹奏楽講習会	2016. 5. 1	主催：愛知県吹奏楽連盟 会場：西尾市文化会館	
技術講習会	2016. 5. 29	主催：飛騨吹奏楽研究会 会場：松倉中学校	

教授 依田 嘉明

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎演奏活動 マスタース・プラス・ナゴヤ第1回定期演奏会		2016. 4. 10	愛知県芸術劇場コンサートホール	J・バーンズ：交響曲第5番「フェニックス」他
ウクライナチェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団 チェルニーゴフ定期演奏会		2016. 5. 18	チェルニーゴフフィルハーモニーホール	A・ヴィヴァルディ：ファゴット協奏曲ホ短調（ソリスト）
江南市立布袋小学校音楽鑑賞会		2016. 5. 27	同校体育館	ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第一楽章 他
2016サマーミュージックフェスティバル九重（大分県）		2016. 8. 28	九重文化センター・ホール	佐藤真：混声合唱のためのカンタータ「土の歌」 他
バロックアンサンブルムープル コンサートⅡ		2016. 9. 6	東京オペラシティ3F近江学堂	J. Fr. ファッシュュ：ファゴットソナタ ハ長調 他
Inexplicable owl vol. 3 Evaporation		2016. 11. 30	Menicon ANNEX HITOMIホール	田中範康：Sparkling in the space Ⅷ ファゴットとエレクトロニクスのための
◎指揮活動 大垣音楽祭 大垣市内管弦楽団ファミリーコンサート		2016. 4. 2	大垣市スイトピアセンター音楽堂	サン・サーンス：「動物の謝肉祭」他
◎審査員 平成28年度中日吹奏楽コンクール中学校の部三河Bブロック大会		2016. 7. 16	岡崎総合学習センター大ホール	
平成28年度愛知県高等学校西三河北地区大会		2016. 7. 23	豊田市民文化会館大ホール	
平成28年度愛知県吹奏楽アンサンブルコンテスト高等学校西尾張大会		2016. 12. 23	稲沢市民会館大ホール	
平成28年度個人重奏コンテスト中学校の部名古屋地区大会		2017. 1. 7	名古屋大谷高校	
第4回てんぱく音楽祭		2017. 1. 21	天白区文化小劇場	
平成28年度中部日本個人重奏コンテスト西三河北地区大会小・中学校重奏の部		2017. 2. 4	岡崎市民会館 あおいホール	

教授 岡 由美子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 最初のレッスンやピアノ講座において実施	2016. 4. 20	指の独立やすばやく動くように、頭と指の直結をおしすすめるよう運動方法を示す。
◎作成した教科書・教材 上記の為に運動方法を作成	2016. 4. 20	指の独立やすばやく動くように、頭と指の直結をおしすすめるよう運動方法を示す。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 自己点検、評価	2016. 12	大学で実施する自己点検・評価にて、おおむね良い評価を得ている。
◎その他 (公財) 日本ピアノ教育連盟 東海支部 副支部長	2015. 4. 1～	ピアノ教育の拡大と向上
日本ショパン協会中部支部 幹事会員	1985. 4. 1～	特にショパンのピアノ曲について研究と向上

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
岩倉市生涯学習講座	2016. 5. 31 2016. 6. 28 2016. 7. 19	ベートーベンの生涯と初、中、後期に分けての作品の特徴を演奏をまじえて解説をする。 1回目 初期 2回目 中期 3回目 後期

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎演奏 連弾リサイタル	共	2016. 9. 3	名古屋、5/Rホール	小組曲 ドビュッシー マ・メール・ロワ ラヴェル 変奏曲 ショパン 展覧会の絵 ムソルグスキー
昭和文化小劇場こけら落とし公演	共	2016. 12. 21	昭和文化小劇場	ソナタOp. 31-2 ベートーベン
◎公開講座 岩倉市生涯学習講座第1回	単	2016. 5. 31	岩倉市生涯学習センター	ベートーベン初期のピアノソナタの特徴とOp. 10-1の演奏
岩倉市生涯学習講座第2回	単	2016. 6. 28	岩倉市生涯学習センター	ベートーベン中期のピアノソナタの特徴とOp. 31-2の演奏
岩倉市生涯学習講座第3回	単	2016. 7. 19	岩倉市生涯学習センター	ベートーベン後期のピアノソナタの特徴とOp. 81の演奏
◎コンクール審査 カワイ子供コンクール		2016. 5. 16	電気文化会館ザ・コンサートホール	子供のピアノコンクール本選審査
カワイ音楽コンクール		2016. 5. 17	電気文化会館ザ・コンサートホール	子供の中部地区大会審査

ショパンコンクール 中部地区大会	2016. 5. 29	カワイ・ブーレ	高校生のショパン曲のコンクール審査
名古屋青少年ピアノコン クール	2016. 10. 1	名古屋芸術大学講堂	大学生・一般のピアノコンサート予選審査
ショパン・イン・アジア	2016. 11. 5	名古屋芸術大学講堂	中学生・高校生・コンチェルトのピアノコン クール審査
日本ピアノ教育連盟オー ディション	2016. 11. 20	名古屋芸術大学講堂	高校生ピアノ曲のオーディションの運営
	2016. 11. 21	名古屋芸術大学講堂	小学校、高学年、ピアノ曲オーディションの 運営
名古屋青少年ピアノコン クール本選	2016. 12. 10	緑文化小劇場	小・中学生のピアノコンクール審査
ほーほー音楽祭	2017. 1. 15	豊川市文化会館	小・中学生のピアノ及び管楽器などのアンサ ンプルコンクール審査
ヤマハ・ジュニア・ピアノ コンクール予選（出場者選 考会）	2017. 2. 11	大山市南部公民館	小学生・ピアノソロ、連弾コンクールの審査
	2017. 2. 12	名古屋西文化小劇場	小学生・ピアノコンクール審査

教授 河原 元世

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎審査 東京国際ピアノコンクール 審査		2016. 4. 17	名古屋市中村文化小劇場	小・中・高校・大学・一般部門予選
岐阜国際音楽祭コンクール 審査		2016. 5. 1	穂積市民会館	高校・大学・一般部門ピアノ予選
岐阜国際音楽祭コンクール 審査		2016. 5. 5	岐阜市じゅうろくプラザ	高校・大学・一般部門ピアノ本選
日本ショパン協会中部支部 コンクール審査		2016. 5. 22	カワイ楽器ブーレ	中学生部門予選
岐阜・リスト音楽院マス ターコーステープ審査		2016. 6. 9	名古屋芸大応接室	リスト音楽院マスターコース受験生選考
日本演奏家コンクール審査		2016. 7. 23	名古屋市熱田文化小劇場	小・中・高校・大学・一般部門ピアノ地区予 選
大阪国際音楽コンクール審 査		2016. 7. 24	名古屋芸術大学講堂	小・中・高校・大学・一般部門ピアノ地区本 選
なごや青少年ピアノコン クール		2016. 10. 1	名古屋市緑文化小劇場	小・中・高校・大学・一般部門予選
大阪国際音楽コンクール審 査		2016. 10. 9	大阪ムラマツホール	ファイナル（選考会）

大阪国際音楽コンクール審査	2016. 10. 10	高槻現代劇場大ホール	グランドファイナル（選考会）
東京国際ピアノコンクール	2016. 10. 29	名古屋市北文化小劇場	小・中・高校・大学・一般部門予選
シヨパンinアジアピアノコンクール	2016. 11. 5	名古屋芸術大学講堂	小・中・高校・大学・一般部門予選
日本ピアノ教育連盟オーディション審査	2016. 11. 20	名古屋音楽大学ホール	一般部門予選
なごや青少年音楽コンクール審査	2016. 12. 11	名古屋市緑文化小劇場	小・中・高校・大学・一般部門本選
ヤマハフェスティバルコンクールアドバイスレッスン	2017. 1. 7	名古屋市矢木楽器店	小・中学生・指導者対象課題曲アドバイスレッスン及び演奏
ヤマハフェスティバルコンクールアドバイスレッスン	2017. 1. 8	岐阜シノダ楽器店	小・中学生・指導者対象課題曲アドバイスレッスン及び演奏
ヤマハフェスティバルコンクールアドバイスレッスン	2017. 1. 9	岐阜シノダ楽器店	小・中学生・指導者対象課題曲アドバイスレッスン及び演奏
ヤマハフェスティバルコンクール審査	2017. 1. 28	高山市コサカ楽器店	小学1・2年 5・6年部門楽器店大会
ヤマハフェスティバルコンクール審査	2017. 1. 29	高山市コサカ楽器店	小学3・4年 中学部門楽器店大会
ジュニアクラシック音楽コンクール審査	2017. 3. 5	名古屋市中村文化小劇場	小・中・高校・大学部門ピアノ審査

教授 菅原 美枝子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2017. 4. 1～	挨拶の仕方、書類の渡し方等細かい礼儀作法について逐一指示を出し、社会人になった時に恥ずかしくないように指導している。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2017. 5. 25 2017. 6. 22  2017. 7. 12	音楽芸術基礎研究（ピアノ）において教授した暗譜の仕方は学生に大きなインパクトを与えた。またジャズバージョンを入れたトルコ行進曲の演奏には、その視覚要素も加え総合学生も大いに喜んだ。  室内楽Ⅰの授業を別の教員が見学した際、的確な指導法に感心した。
◎その他	2017. 4. 1～（継続）	日本ピアノ教育連盟東海支部運営委員として、また中部シヨパン協会監事として大学ピアノ教育の発展のため尽力している。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
特別客員教授招聘	2017. 7. 13	本学特別客員教授として、この3月まで東京芸術大学音楽学部教授でおられたピアニスト植田克己氏を招聘した。なかなか愛知県に来ていただけない植田先生をお呼びできたことは、大変名誉なことであった。

鍵盤楽器コース長（ピアノ）	2017. 4. 1（継続）	鍵盤楽器コース長として、常に先頭に立ちフレッシュマンキャンプ、授業の率先、入試広報活動へのリード、文筆、指示を行った。
---------------	----------------	---

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎演奏 名古屋フランス音楽研究会 第28回公演		2016. 5. 6	名古屋伏見 ザ・コンサートホール	12の小品「過ぎ去りし年」より 春の朝／マスネ 共演ピアノ 伊藤真理子氏 ピアノ四重奏曲より／ショーンソン 第3楽章、第4楽章 共演 ヴァイオリン 竹田千波氏 ヴィオラ 加納明美氏 チェロ 紫竹友梨氏
みえにちふつの音楽家たち Ⅲ		2016. 7. 1	津リージョンプラザお城 ホール	小組曲より／ドビュッシー Ⅰ 小舟にて Ⅱ 行列 Ⅲ メヌエット Ⅳ バレエ 共演ピアノ……大廣朋子 巡礼の年 第1年スイスより 「オーバーマンの谷」／リスト
菅原クラス第33回コンセル ・ド・リラ		2016. 10. 29	名古屋芸術大学3号館ホー ル	ソナタ第3番 作品58より 第4楽章／ショ パン
◎コンクール審査 第15回中部ショパンピアノ コンクール名古屋予選		2016. 5. 22	カワイ名古屋コンサートサ ロンブーレ	小学生部門 中学生部門の審査
第26回グレンツェンピアノ コンクール名古屋予選		2016. 8. 20 ・21	しらかわホール	幼児～中学生までの審査
第2回ヤマハジュニアコン クール出場者選考会ピアノ フェスティバル2017		2017. 2. 11 ・12	第一楽器四日市店4Fコン サートホール ムーシケ	幼児～中学生までの審査
◎アドバイスレッスン ムーシケピアノコンクール ピアノアドバイスレッスン		2016. 8. 17	第一楽器四日市店4Fコン サートホール ムーシケ	小学2年生～6年生までのアドバイスレッス ン

教授 谷口 龍博

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2017. 2. 1～3. 31	平成29年7月1日の「音楽の世界」の授業の為に、平成28年度より今年度にまたがり半年以上の時間を費やし、ピアノ・デュオの楽しさを学生に理解してもらう為に連弾でA. ドヴォルザーク作曲「スラヴ舞曲 op. 46-1, op. 72-2, op. 46-8」、F. リスト作曲「交響詩 レ・プレリュード」、2台ピアノでJ. ブラームス作曲「ワルツ op. 39」、I. ストラヴィンス

		キー作曲「ベトリューシカより3つの楽章」、G.ホルスト作曲「組曲 惑星」より「火星・木星」と1時間以上のプログラムを組み、その練習と、少しでも学生に理解しやすくする為に演奏だけでなく、作曲家や曲の説明をトークで伝える為、資料を詳細に調べた。
◎作成した教科書・教材	2017. 2. 1～3. 31	平成29年度後期より開かれる演奏解釈の授業に必要なロマン派の作曲家 F. ショパンの年表と、ほぼ全作品の概要を記したものを教材として作成した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		概ね良好

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
日本クラシック・コンクール 愛知本選審査		2016. 10. 25	名古屋市・中村文化小劇場	高校、大学、一般の審査
日本クラシック・コンクール 全国大会		2016. 12. 6	知立 リリオホール	高校、大学、一般の審査
第7回ピアノ・グループ「エスト」演奏会		2016. 12. 2	電気文化会館 ザ・コンサートホール	卒業生6名の演奏会の企画、指導
YPJC店別大会		2017. 2. 4	豊明市文化会館	小・中学生の審査
YPJC店別大会		2017. 2. 11	名古屋市・中川文化小劇場	小・中学生の審査

教授 山田 敏裕

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 ピアノ奏法研究 ピアノ重奏法	2016. 4～2017. 1	ピアノ奏法研究、ピアノ重奏法いずれの授業においても、授業外での学習は欠かせないものであり、毎回課題を与えその成果を授業時にチェックしさらなる向上のためのアドバイスをする。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 学生アンケート		学生自身の当該能力についての問題点が明らかになり、その後の学習の方向性が定まったとの評価

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
全日本学生音楽コンクール審査員	2016. 9～2016. 10	名古屋 地区・本選審査員
岐阜国際音楽祭 副理事長	2016. 4～2017. 3	岐阜国際音楽祭の行うイベントの管理・運営

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
ヤマハジュニアピアノコンクール 岐阜地区予選 A. B部門		2016. 4. 9	じゅうろくプラザホール	コンクール審査

2016カワイこどもコンクール 中部大会	2016. 4. 24	電気文化会館ザ・コンサートホール	コンクール審査
第8回岐阜国際音楽祭コンクール 予選	2016. 4. 30	瑞穂市民センター	コンクール審査
本選	2016. 5. 1 2016. 5. 3・4・5	じゅうろくプラザホール	
第30回江南ピアノコンクール	2016. 6. 12	江南市民文化会館ホール	コンクール審査
第17回大阪国際音楽コンクール 愛知地区本選	2016. 7. 24	名古屋芸術大学ホール	コンクール審査
第70回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会予選	2016. 9. 3・4	今池ガスホール	コンクール審査
本選	2016. 10. 22	今池ガスホール	
第2回ヤマハジュニアピアノコンクール名古屋店 A部門選考会	2017. 1. 15	名古屋ヤマハホール	コンクール審査
B部門選考会	21		
C・D部門選考会	22		
第2回ヤマハジュニアピアノコンクール浜松店選考会	2017. 1. 29	かじまちヤマハホール	コンクール審査
第2回ヤマハジュニアピアノコンクール 第一楽器植田店選考会	2017. 2. 11 ・12	天白文化小劇場	コンクール審査

教授 鷹野 雅史


著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
jet東山堂支部20周年記念コンサート		2016. 10. 30	主催 東山堂 場所 盛岡市民文化ホール（マリオス小ホール）	ゲスト演奏 ヘドウィグのテーマ～映画『ハリー・ポッター』／『パイレーツ・オブ・カリビアン』メドレー／HAPPY／「ソナチネ」より／荘厳序曲「1812年」／ラデッキー行進曲／翼を下さい
エキコン ヤマハ Music Station		2016. 10. 13	主催 YMRJ大阪なんば店 場所 JR大阪駅	サンダーバード／ラブソディー・イン・ブルー／ボヘミアン・ラブソディー／花は咲く／スターウォーズ 花のワルツ／生まれてはじめて／フレンド・ライク・ミー／大序曲『1812年』／威風堂々
『屏東兄弟』		2016. 11. 19	場所 エレクトーンシティ 渋谷	キルピルのテーマ／生まれてはじめて／ハリー・ポッター／フィールド・ヴェュー／ソナチネより／結／賽馬／曼荼羅～熊野古道紀行／威風堂々 第1番／スターウォーズ／セサミストリート／アイアイ



エレクトーンコンサート	2016. 11. 23	場所 都久志会館ホール	オープニングDuo：キルピルのテーマ／ヘドウィグのテーマ～映画『ハリー・ポッター』／生まれてはじめて～映画『アナと雪の女王』／Field View／Sonatine En Sol ～1er. movement／結～you～／『威風堂々』第1番／勇気100％／エンディングDuo：Sesame Street／ENC：アイアイ（Duo）
プレイオンパッション 鷹野雅史	2016. 11. 27	場所 桜井市民会館ホール	キルピルのテーマ／ハリー・ポッター／生まれてはじめて／曼荼羅／ソナチネ 第1楽章／1812年／ハレルヤ／セサミストリート／アイアイ
X'masコンサート	2016. 12. 10	主催 YMRJ高崎店 場所 高崎少年科学館プラネタリウム	星に願いを／ラブソディー・イン・ブルー（G. ガーシェイン）／ボヘミアン・ラブソディー／＼結 ～YOU～（M. タカノ）／アダージェット（G. マーラー）／ボレロ（M. ラヴェル）／ヘドウィグのテーマ～映画『ハリー・ポッター』／＼スター・ウォーズ・メドレー／ソナチネ ト長調（M. タカノ）第1楽章／生まれてはじめて～映画『アナと雪の女王』／クリスマス・メドレー／＼戦場のメリー・クリスマス／ハレルヤ・コーラス（G. ヘンデル）
第49回京浜リビングコンサート	2016. 12. 11	主催 京浜楽器 場所 京浜楽器百合が丘店4階ホール	スターウォーズ／ハリーポッター／ゴーストバスターズ／バリのアメリカ人／バリのあやつり人形／戦メリ／Xmasメドレー／もろびとこぞりて／happy／ソナチネより／荘厳序曲『1812年』／『威風堂々』第1番／ハレルヤ
エレクトーンスーパーライヴJoy2TheWorld（窪田宏／yaSya／太田美香 他）	2016. 12. 18	主催 松栄堂楽器 場所 長良川国際会議場ホール	ザ・キャット／フィールド・ビュー／ソナチネ／賽馬／曼荼羅～熊野古道紀行／ザ・チキン／セサミ・ストリート
プレイオンパッション鷹野雅史	2016. 12. 23	主催 新響楽器 場所 新響楽器西宮北口オーバスホール	スターウォーズ／ハリーポッター／ゴーストバスターズ／バリのアメリカ人／バリのあやつり人形／ウィンターワンダーランド／戦場のメリークリスマス／Xmasメドレー／もろびとこぞりて／happy／ソナチネより／荘厳序曲『1812年』／『威風堂々』第1番／ハレルヤ
YM千葉 jet 新年総会ゲスト演奏	2017. 2. 3	主催 YM千葉 場所 幕張グリーンタワー	スターウォーズ／ゴーストバスターズ／君の名は。／ハッピー／1812年／威風堂々／ラデッキー行進曲
指導者懇親会レクチャー&コンサート	2017. 2. 10 ・16	主催 松栄楽器 場所 名古屋東急REIホテル	9日：システム講師 16日：個人指導者 ハレルヤ／ラブソディインブルー／チェロキー／結／ソナチネより／君の名は。（野田洋二郎）／1812年

<p>オルガンフェスティバル 2017ゲスト演奏</p>	<p>2017. 2. 12</p>	<p>主催 名古屋芸術大学 場所 名古屋芸術大学・大 アンサンブル室</p>	<p>スターウォーズ／ゴーストバスターズ／君の名は。(野田洋二郎)／ハッピー／1812年／ラデッキー行進曲</p>
<p>プレイオンパッション 鷹野雅史</p>	<p>2017. 2. 18</p>	<p>主催 エルム楽器室蘭 場所 エルム楽器室蘭、 ホール</p>	<p>スターウォーズ／ヘドウィグのテーマ～／映画『ハリー・ポッター』／ゴーストバスターズ／ラブソディー・イン・ブルー／チェロキー／忍たまフーガ／オペラ座の怪人／サンダーバード／生まれてはじめて～映画『アナと雪の女王』／『ソナチネ ト長調』より／4つの主題歌～映画『君の名は。』／HAPPY／荘厳序曲『1812年』より／『威風堂々』第1番／アンコール：スペイン→ラデッキー行進曲</p>
<p>Complete Hour</p>	<p>2017. 3. 5</p>	<p>主催 三木楽器 場所 サンケイブリーゼ</p>	<p>FIELD-VIEW／ソナチネより／『1812年』大序曲／『威風堂々』第1番</p>
<p>プレイオンパッション 鷹野雅史 <a href="http://www.hamayadk.co.jp/1265.html">http://www.hamayadk.co.jp/1265.html</a></p>	<p>2017. 3. 12</p>	<p>主催 ハマヤホール 場所 ハマヤホール</p>	<p>スターウォーズ／ハリー・ポッター／ゴーストバスターズ／パリのアメリカ人／結／『ソナチネ ト長調』より／曼荼羅／サンダーバード／生まれてはじめて～『アナと雪の女王』／四つの主題歌～『君の名は。』／ハッピー／荘厳序曲『1812年』／『威風堂々』第1番／ビバルディの四季より「春」／ラデッキー行進曲</p>
<p>エレクトーンコンサート Electone Concert Max TAKANO</p>	<p>2017. 3. 15</p>	<p>主催 ドバイ (UAE) 場所 ドバイ・ウィンチェ スター・スクール (200)</p>	<p>スターウォーズ／ハリーポッター／ゴーストバスターズ／アラジン／生まれてはじめて／オペラ座の怪人／威風堂々／アンコール：戦場のメリークリスマス</p>
<p>エレクトーンコンサート Electone Concert Max TAKANO</p>	<p>2017. 3. 17</p>	<p>場所 ドーハ (カタール) インターコンチネンタルホ テル・ボールルーム (60)</p>	<p>花のワルツ／ティコティコ／スターウォーズ／ハリーポッター／オペラ座の怪人／星に願いを／生まれてはじめて／アラジン／ライオンキング／アンコール：小さな世界、戦場のメリークリスマス</p>
<p>熊本ライヴ@レストラン (w/窪田宏)</p>	<p>2017. 3. 26</p>	<p>場所 熊本県立劇場レスト ラン『七彩』</p>	<p>■Aプロ 30分 フィールドビュー 1'20"／ラブソディーインブル 8'30"／ボヘミアンラブソディー 6'00"／君の名は。6'20"／スターウォーズ 6'20" ■Bプロ 40分 フィールドビュー 1'20"／ラブソディーインブル 8'30"／ボヘミアンラブソディー 6'00"／結 4'00"／ソナチネより 3'40"／君の名は。6'20"／スターウォーズ 6'20"</p>



<p>鷹野雅史エレクトーン・コンサート</p>	<p>2017. 4. 2</p>	<p>主催 厚木楽器 場所 厚木楽器・友の会ホール</p>	<p>FIELD-VIEW／ラブソディ・イン・ブルー／フーガ『勇氣100%』／ゴーストバスターズ／小さな世界／パイレーツ・オブ・カリビアン／スターウォーズ (休憩) ヴィジュアルディの『春』／四つの主題歌～映画『君の名は。』／happy／荘厳序曲『1812年』／アンコール：行進曲『威風堂々』第1番</p>
<p>ELECTONE STAGEA SPECIAL LIVE 窪田宏/鷹野雅史</p>	<p>2017. 4. 9</p>	<p>主催 スガナミ明石 場所 明石生涯学習センター・子午線ホール</p>	<p>第1部 窪田宏氏ステージ 最後『ロードスター』に参加 第2部 鷹野雅史ステージ スターウォーズ／ハリー・ポッター／ゴーストバスターズ／四つの主題歌～『君の名は。』／LaLaランド／荘厳序曲『1812年』 Duo ザ・チキン</p> 
<p>2017年度jet名古屋店支部・新年総会ゲスト</p>	<p>2017. 4. 13</p>	<p>場所 伏見ヤマハホール</p>	<p>スターウォーズ／ハリー・ポッター／ゴーストバスターズ／君の名は。／LaLaランド／1812年／アンコール：ハレルヤコーラス</p>
<p>大森楽器jetミュージックフェスティバル ゲスト演奏</p>	<p>2017. 4. 16</p>	<p>主催 大森楽器 場所 江南市民文化会館小ホール</p>	<p>20世紀FOXファンファーレ～スターウォーズ／ゴーストバスターズ／君の名は。／LaLaランド／威風堂々</p>
<p>エキコン ヤマハ Music Station</p>	<p>2017. 4. 27</p>	<p>主催 MRJ大阪なんば店 場所 大阪駅</p>	<p>1回目 18：00～ 2回目 19：00～ (各30～40分程度)</p>
<p>■1st サンダーバード／ラブソディ・イン・ブルー／ボヘミアン・ラブソディ／花は咲く／スターウォーズ</p>			<p>■2nd 花のワルツ／生まれてはじめて／フレンド・ライク・ミー／大序曲『1812年』／威風堂々</p>
<p>曲集公開講座</p>	<p>2017. 5. 29</p>	<p>主催 富岡本店 場所 同店ホール</p>	<p>曲集講座 サンダーバードのマーチ／スターウォーズ・メドレー／結／マーラーのアダージェット／威風堂々 第1番</p>

<p>ヤマハエレクトーン・スペシャルライブ</p>	<p>2017. 6. 7</p>	<p>主催 YMRJ 場所 栄オアシス21銀河の広場</p>	<p>Field view／ラプソディーインブルー／ボヘミアン・ラプソディー／チェロキー／士官候補生／ハッピー／『威風堂々』第1番／20世紀FOXファンファーレ スターウォーズ／ゴーストバスターズ／君の名は。／ゴジラのテーマ／悲劇～シンゴジラ／LaLaランド／美女と野獣／バイレーツオブカリビアン <a href="http://www.sakaepark.co.jp/m/event/news.php?id=1108&amp;day=20170607">http://www.sakaepark.co.jp/m/event/news.php?id=1108&amp;day=20170607</a></p> 
<p>PLAY ON PASSION 2017</p>	<p>2017. 6. 18</p>	<p>主催 YMRJ 場所 名古屋・伏見ヤマハホール</p>	<p>キルビルのテーマ／君の名は。／LaLaランド／シンゴジラ／禁じられた遊び／カヴァティナ／バイレーツオブカリビアン／威風堂々／セサミストリート</p>
<p>LIVE @ MIKI</p>	<p>2017. 6. 25</p>	<p>主催 三木楽器 場所 三木楽器</p>	<p>20世紀FOXファンファーレ（アルフレッド・ニューマン）／スターウォーズ／ヘドウィグのテーマ～『ハリー・ポッター』／ゴーストバスターズ／カヴァティナ（スタンリー・マイヤーズ）／バイレーツ・オブ・カリビアン [1.ヨーホー、2.ブラックパール号、3.黄金のメダル、4.決闘、5.彼こそが海賊、6.上が下、下が上、7.クラークン]／君の名は。（野田洋二郎） [1.デート、2.夢灯籠、3.前々前世、4.スパークル、5.何でもないや]／シン・ゴジラ [1.ゴジラのテーマ（伊福部昭）、2. Who Knows（鷺巣詩郎）]／LaLaランド（ジャスティン・ハーウィッツ） [1.ミアとセバスチアンのテーマ、2.アナザー・ディ・オブ・サン、3.サムワン・イン・ザ・クラウド、4.シティ・オブ・スターズ、5.オーデション、6.エピソード]／happy／映画のクラシック名曲 [1.ツァラトゥストラはかく語りき、2.モーツァルトの交響曲#25、3.魔法使いの弟子、4.フルキューレの騎行、5.弦楽のためのアダージョ]／莊嚴序曲『1812年』／アンコール：『威風堂々』第1番</p>

教授 久保田 進子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 9～2017. 1	「音楽ケアデザイン研究3」「音楽心理学」の授業においては、パワーポイントを使用し、先行研究の紹介を行い、後半授業では、実際に学生自らパワーポイントを作成し、各自プレゼンテーションを行った。
◎作成した教科書・教材	2017. 2	「リズムを用いた認知症予防ドリル」

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎講演等 健康セミナー「認知症予防 のための音楽について」		2016. 10. 16	ようてい中央クリニック 医療法人ようてい会主催	
「カラオケの効果」		2016. 10. 21 (12月発刊)	トヨタ自動車労働組合機関 誌「はあい」取材	
講演会「ほっとひといきり フレッシュ」		2017. 1. 18	地域交流プラザ 北名古屋市地域抱括支援セ ンター主催	
講演会「リズムを用いた認 知症予防プログラム」		2017. 2. 19	名古屋芸術大学 名古屋芸術大学音楽療法研 究会主催	
◎その他 日本音楽療法学会		2002. 4～ 現在に至る		評議員、学術委員、正会員、認定音楽療法士
コロラド州立大学神経学的 音楽療法アカデミー		2004. 10～ 現在に至る		神経学的音楽療法士、フェロー、アカデミー メンバー
アメリカ音楽療法協会		1998. 4～ 現在に至る		正会員
日本芸術療法学会		2005. 4～ 現在に至る		認定芸術療法士、正会員
中国民族管弦楽学会		2011. 6～ 現在に至る		上級演奏
日本音楽療法学会東海支部		2016. 4～ 現在に至る		東海支部長

教授 梶田 美香

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2017. 4. 10～7. 27 (各科目前期授業)	・実践を中心とした教育方法：実習科目では実際の学外事業に関わることができるように工夫。その結果、学生の企画制作した事業に対しての一般市民の反応がわかり易くなり、また授業への積極的な参加態度の醸成も可能となった。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の機会の提供：自らの意志の言語化を目的とし、また相手の興味に基づいたテーマ選定ができるようなスピーチ時間の提供（毎時）。</li> <li>・調査機会の提供：学習内容に即した課題を与え、それについて資料等で調べる機会を提供。</li> </ul>
◎その他		宗次ホールで行われた「アートマーケティングコンテスト」において、アウトリーチ実習Ⅰ履修者のチームが第3位を受賞（2016年8月31日）。その後、学生企画を宗次ホールで実施。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市文化振興計画策定検討委員会ワーキングメンバー（2016年度）</li> <li>・小牧市文化振興推進会議委員</li> <li>・第2次岡崎市文化振興推進計画策定委員</li> <li>・日本アートマネジメント学会中部部会監査</li> </ul>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
「文化による協働のまちづくり—武豊町民会館12年のあゆみ—」	単著	2016. 11	武豊町民会館	武豊町民会館のオープン前から現在に至るまでの記録を、記録資料と役場職員、市民、劇場スタッフ等へのヒアリングをデータとしてまとめた。劇場のアーカイブは、必要性が認識されながらもなかなか手の付けられないものであり、今後の同会館運営への手掛かりになるだけではなく、公立文化施設運営や、地方自治体のまちづくり、アートと市民の関わり方など、多様な方面にとっての資料として貴重なものとなるはずである。
「おんぱく2016 この夏、長久手に音楽の王国が現れる！ 事業調査報告書」	単著	2017. 3	長久手市	数年来関わっている、長久手市主催の音楽フェスティバル「おんぱく」の調査報告書を、2016年度もまとめた。既に10年以上の歴史を持つ同フェスティバルだが、このようなイベントはその祝祭性がどのように地域に馴染み、またまちづくりに貢献できているのかは容易に数値化できるものではない。それゆえに本報告書の価値は高い。調査の結果から垣間見える長久手市民の芸術への造詣の深さや期待度の高さは、長久手市文化の家による長年の努力の結果だと言える。

教授 山田 純

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎講演活動</p> <p>小牧市音楽鑑賞講座 音楽鑑賞講座① 音楽鑑賞講座② 音楽鑑賞講座③</p> <p>名古屋市高年大学講座 第1回目 第2回目 第3回目 第4回目 第5回目 第6回目 第7回目</p> <p>名古屋音楽学校音楽趣味講座 第1回目 第2回目</p> <p>北名古屋市音楽鑑賞講座 第1回目 第2回目 第3回目</p>	<p>2016. 6. 18 2016. 7. 16 2016. 8. 20</p> <p>2016. 5. 13 2016. 6. 8 2016. 6. 17 2016. 6. 29 2016. 10. 29 2017. 2. 8 2017. 2. 10</p> <p>2017. 1. 16 2017. 1. 30</p> <p>2016. 9. 17 2016. 12. 17 2017. 3. 11</p>	<p>年に三回、優れた演奏家を呼んで演奏をして貰う。その際に作曲家や曲目やその他幅広い事項にわたって意義を解説する。また演奏者とのトークから意外な楽しみを引き出すことを心がける。また各回配布するプログラムには、講座としての学習事項がタイトルで示され、それを受講生は自然とトークの中から学習することができる。</p> <p>①寺本みなみ「ピアノの世界」、②所克頼「サクソフォンの世界」、③コージウえだ「ジャズソロギターの世界」</p> <p>本講座は、名古屋市が生涯学習のプログラムとして企画した高年大学である。今回テーマとして取り上げたのは、①日本の文化、②劇場、および③作曲家の人生物語である。①文化に関しては、お隣の韓国を比較の対象として取り上げた。また②劇場は指定管理者制度を解説した。さらに③作曲家については、解説本には載っていないような興味のわく題材を取り上げた。</p> <p>本講座は、名古屋音楽学校のホールを使って行う上質感の伴うものである。少しは音楽に対する興味がありまた理解度の高い方たちが対象となる。一番最新の情報を手に入れた高度な講座である。「作曲家の人生物語」はどの伝記にも載っていない知識を披露した。また「名曲をさぐる」では、自分の音楽体験のすべてをつぎ込んだものである。</p> <p>年に三回、優れた演奏家を呼んで演奏をして貰う。その際に作曲家や曲目やその他幅広い事項にわたって意義を解説する。また演奏者とのトークから意外な楽しみを引き出すことを心がける。また北名古屋市は小牧市の例とは異なり、プログラムは多少娯楽性を持つが、講座そのものはそうならないように工夫した。</p> <p>①完全ワンマンオーケストラ「ステージア・フィルハーモニー」 ②ジャズピアノでスイングをお届け「楽しいクリスマス」 ③ネオジャパネスク「和洋楽器混成インストゥルメンタル」</p>
<p>◎指揮・編曲活動</p> <p>オーネストリングス定期演奏会2016 ハートフルコンサート</p> <p>掖済会病院チャリティーコンサート</p>	<p>2016. 6. 5 2016. 10. 22</p> <p>2016. 12. 17</p>	<p>ブラームス「弦楽六重奏曲第1番」他 チャイコフスキー「弦楽セレナーデ」</p> <p>「めぐり逢い」他 山田編曲</p>
<p>◎その他</p> <p>名古屋音楽ペンクラブ 音楽ペンクラブ賞選考 ペンクラブ賞授賞式 音還実行委員会</p> <p>日本アートマネジメント学会</p>	<p>2016. 4. 1～2017. 3. 31 2016. 5. 9 2016. 9. 1</p> <p>2016. 4. 1～2017. 3. 31</p>	<p>谷辺昌央 くりもとようこ 筑聰子</p> <p>日本アートマネジメント学会中部部会長としての活動</p>

世界劇場会議名古屋	2016. 4. 1～2017. 3. 31	フォーラム名古屋2016および「国際フォーラム2017in可児」において、理事および実行委員としての活動
名古屋市民芸術祭賞審査	2016. 10. 5 2016. 11. 4 2016. 11. 5 2016. 11. 14 2016. 11. 15 2016. 11. 16 2016. 11. 20 2016. 11. 28	近藤由貴ピアノリサイタル アンディアーモ 盛かおるソプラノリサイタル 窪田健志打楽器リサイタル 戸谷誠子ピアノリサイタル 小林史子ソプラノリサイタル 松阪仁・樋渡デュオ 奥村晃平バリトンリサイタル
名古屋市民芸術祭賞 授賞式	2017. 2. 1	音楽部門の審査員として
名古屋市民芸術祭賞審査 名古屋市民芸術祭授賞式	2017. 2. 1	芸術祭の審査員として
愛知県文化振興事業団	2016. 4. 1～2017. 3. 31	理事としての活動
日本音楽学会	2016. 4. 1～2017. 3. 31	学会員としての活動
日本音楽芸術マネジメント学会	2016. 4. 1～2017. 3. 31	第7、8回全国大会において、理事として運営に携わると同時にコーディネーターを務める。また編集員長として査読活動を指揮する。
出張音楽講座	2016. 10. 31	春日井市立坂下中学校
長久手市文化の家	2016. 4. 1～2017. 3. 31	文化の家の運営委員長として文化の家の自主事業の評価を行い会館への提言を行う。
名古屋市民芸術創造センター	2016. 4. 1～2017. 3. 31	芸創センターのアーティストティックアドバイザーとして会館の評価と提言を行う。
テレビ出演	2016. 10. 16	テレビ愛知の「サンデージャーナル」でのコメンテーターとして、中日ビルが無くなることの意味や名古屋とばしについて解説した。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎曲目解説・コラム執筆 名古屋フィルハーモニー しらかわシリーズ		2017. 2	三井住友海上 しらかわホール	シュトラウス：美しく青きドナウ他
セントラル愛知交響楽団 第148回定期演奏会		2016. 6	しらかわホール	コラム 「ビエタとスターバト・マーテル」 曲目解説・訳詞 ドヴォルザーク
第150回定期演奏会 第151回定期演奏会		2016. 10 2016. 11	〃 〃	スターバト・マーテル シューマン：交響曲第3番
電気文化会館主催事業 4月主催事業		2016. 11	ザ・コンサートホール	佐藤晴真チェロリサイタル シヨパン：チェロソナタ他
5月主催事業		2016. 11	〃	宮田俊雄ピアノリサイタル ベルク：ピアノソナタ他



3月主催事業	2016. 11	ク	イザベル・ファウスト ヴァイオリンリサイタル J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ
ザ・ストリングス名古屋 第21回定期演奏会	2016. 5	ザ・コンサートホール	芥川也寸志：トリプティック他
中木健二 弦楽四重奏曲	2016. 5	宗次ホール	ベートーヴェン：第7番他
中木健二 弦楽四重奏曲	2016. 5	ク	ベートーヴェン：第12番他
石田なをみ ヴァイオリンリサイタル	2016. 5	ザ・コンサートホール	ルター：ソナタ他
戸崎由香 ピアノリサイタル	2016. 5	ザ・コンサートホール	ブラームス：6つの小品
5/R主催公演	2016. 5	5/Rホール	トークと曲目解説 ブラームス小品集

教授 田中 範康

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		<ul style="list-style-type: none"> <li>和声学では、2年間という限られた期間で、ハイグレードクラスには、最終段階（2年次後期）で、近親転調を含んだBass課題に加え、定型を中心としたソプラノ課題も実施させた。</li> <li>和声学特論では、シャランの380和声学で、両外声を指定し、数字に従って、内声を作り込む方法を実施させた。</li> <li>対位法では前期は2声の純粹対位法を、後期は2声の簡易なインヴェンションを一定のフォームに従って実施させた。</li> </ul>
◎作成した教科書・教材		対位法において、前期では、純粹対位法の基礎の部分について、学習が効率的に学べるために、毎回レジュメを作成し配布している。後期に実施する2声インヴェンションについても、学習フーガをもとにしながら作り方を例示したレジュメを作成して単元ごとに学生に配布した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		例年行なわれている、学生からの授業評価の報告を見る限り、担当科目全てにおいて良好な評価を得ている。しかし、近年、基礎能力が極端に不足している学生の入学も増えており、今以上の授業内容の工夫が必要と考えている。
◎その他		和声学では、現在同時開講で授業を展開している。今後は、本学の現状を認識した上で、ソルフェージュも含む理論科目全般において、一元的な教育をほどこすためのメソッド制作が急務であると考えている。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎作曲作品 リコーダー、アコーディオンとエレクトロニクスの為の「Sparkling in the space VII」(初演)	単	2016. 6	ニンフェアール第18回公演 会場：愛知県芸術劇場小ホール	本作品は、エレクトロニクスとアコースティック楽器による Sparkling in the Space シリーズの第7曲目となる。リコーダー、アコーディオンのフレーズを、電氣的に波形を変え、生演奏の原音と可変されたサウンド

<p>ファゴットとエレクトロニクスによる「Sprkling in the space Ⅷ」 （初演）</p>	<p>単</p>	<p>2016. 11</p>	<p>〈Inexplicable OWL 第4回公演〉 会場：ひとみホール</p>	<p>によるアンサンブルを試みた。また、冒頭に提示される音群をもとに、それが垂直、水平関係に様々な関係で反映されながら、全曲を構成している。 演奏者：リコーダー 鈴木俊哉 アコーディオン 太田智美 演奏時間:約13分</p>
<p>ギターソロのための〈Nocture〉 （初演）</p>	<p>単</p>	<p>2017. 2</p>	<p>日本現代音楽協会主催「アンデパンダン展」 現音秋の音楽展2016</p>	<p>本作品は、エレクトロニクスとアコースティック楽器による Sparkling in the Space シリーズの第9曲目となる。ファゴットの生の音をコンピュータに取り込み、それを可変させた音と、シンセ音源を編集した音を、ファゴットの生演奏と有機的な融合を目指し、新たな音響世界の構築を狙った。音楽構成は、冒頭の音列的なテーマが断片的に使われ、それがコアになって全曲を統一している。 演奏者：ファゴット 依田嘉明 演奏時間：約12分</p> <p>2章からなる本作品は、厳密な動機書法などにこだわらず、さらに、調性と無調の狭間を浮遊する響きの世界を構築した。そして豊富な倍音を含んだギターのソノリティーを、どのように空間に広がる自然な響きを狙えるかに主眼をおき、その目的の為に演奏者の助言を加味しながら様々な工夫を試みた作品であるといえる。 演奏者：ギター 佐藤紀雄 演奏時間：約13分</p>

教授 岩本 渡

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽制作の授業は5人程度の集合個人のレッスン形態をとり、クラス内でお互いのレッスンを見学し、良い刺激、影響を受け、個々の作品制作の質を高めることを目指す。</li> <li>・管弦楽法や聴脳形成では、様々な楽器について、奏法、響きなどの特性を、コンピュータを利用したマルチメディアを駆使して、臨場感のある演奏を見聞きすることにより、机上の学習では味わえない現実的な体験をさせる。</li> </ul>
◎作成した教科書・教材	2016. 4～2017. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管弦楽法や聴脳形成では、著名な管弦楽作品から楽器法の参考となるフレーズを選び、演奏した映像と楽譜をコンピュータで制作、編集し、効果的な教材を作成。</li> <li>・和声学では、併用テキストとして制作した「和音分析の基礎Ⅰ」（田中範康、岩本渡共著、オブラ・パブリケーション出版、平成27年11月発行）を使用。</li> </ul>

◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2016. 4～2017. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽制作の授業（全学年）は全て、1クラス5人程度の集合個人で展開している。限られた時間での創作指導なので、学生とのディスカッションを踏まえ、迅速で的確なアドバイスを心がけている。</li> <li>・学生による上記授業、全5クラスの授業評価結果（教員の熱意、工夫、指導内容、専門性に対する評価、及び授業によって得られた成果、満足度）の平均値は、5段階中、4.62であった。</li> </ul>
-----------------------	-----------------	---

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
中学校・高等学校教諭（音楽）免許状更新講習（名古屋芸術大学）	2017. 8. 24	講習内容は、中学校・高等学校の音楽教育現場で必要となる編曲法について、実践例を交えて指導。
小学校教員資格認定試験（音楽）実技対策座（愛知学院大学）	2017. 8. 30～9. 2（4日間）	愛知学院大学からの要請で、小学校、保育士資格認定試験を受験希望する学生を対象に、4日間10コマの枠で楽典、ピアノ奏法、弾き歌いの講座を同大学で開講。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎演奏 平成28年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	単	2016. 5. 9 2016. 5. 23	名古屋市立植田北小学校 名古屋市立鳴子小学校	杉本竜一作曲：「ビリーブ」を管弦楽に編曲。 指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
桃瀬茉莉「Longing～100年の名校との対話～」	単	2016. 6. 23	タカギクラヴィア松濤サロン（東京都渋谷区）	自身の作品「森の画集」より「森の堅琴」、 「海上の森」を演奏。 ピアノ：桃瀬茉莉、ビオラ：吉田浩司
平成28年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	単	2016. 7. 4	名古屋市立長須賀小学校	杉本竜一作曲：「ビリーブ」を管弦楽に編曲。 指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
		2016. 7. 12	名古屋市立栄生小学校	久石譲作曲：「となりのトトロ」より「さんぽ」を管弦楽に編曲。 指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
		2016. 7. 13	名古屋市立植田南小学校	杉本竜一作曲：「ビリーブ」を管弦楽に編曲。 指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
白石禮子エレクトリックヴァイオリンコンサート	単	2016. 8. 15	MEGI HOUSE（香川県高松市女木島） 主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会	瀬戸内国際芸術祭参加演奏会で、自身の作品「競宴」for Electric Violin and Electronicsを演奏。エレクトリック・ヴァイオリン：白石禮子、Synthesizer：岩本渡
「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート 名古屋公演	単	2016. 9. 5	名古屋国際会議場 センチュリーホール	ハーライン作曲：映画「ピノキオ」より、「星に願いを」を管弦楽に編曲。指揮：松井慶太、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
愛知県立芸術大学50周年記念サウンドイベント～森羅	単	2016. 9. 11	愛知県立芸術大学室内楽ホール 主催：愛知県立芸術大学50周年記念演奏会実行委員会	自身の作品“Imagined Scenery 2” for Electronics and Videoの演奏と新作“Synesthesia” for Harp and Electronicsを発表。Harp：操美穂子、Computer：岩本渡

「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート 刈谷公演	単	2016. 9. 27	刈谷市総合文化センター 大ホール	ハーライン作曲：映画「ピノキオ」より、「星に願いを」を管弦楽に編曲。指揮：松井慶太、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート 東三河公演	単	2016. 9. 28	ライフポートとよはしコンサートホール	ハーライン作曲：映画「ピノキオ」より、「星に願いを」を管弦楽に編曲。指揮：松井慶太、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
平成28年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	単	2016. 9. 30	名古屋市立千代田橋小学校	杉本竜一作曲：「ピリープ」を管弦楽に編曲。指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
平成28年度 文化芸術による子供の育成事業～巡回公演事業～	単	2016. 10. 3 10. 4 10. 5 10. 6 10. 7	本宮市立本宮小学校 高根沢町立阿久津中学校 那須塩原市立黒磯小学校 春日部市立幸松小学校 春日部市立牛島小学校	村井邦彦作曲：「翼をください」、杉本竜一作曲：「ピリープ」、久石譲作曲：「となりのトトロ」より「さんぽ」を管弦楽に編曲。指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
平成28年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	単	2016. 10. 11 2016. 11. 2	名古屋市立天白小学校 名古屋市立廿軒家小学校	杉本竜一作曲：「ピリープ」、久石譲作曲：「となりのトトロ」より「さんぽ」を管弦楽に編曲。指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
瀬戸内国際芸術祭2016「海物語」バンドパフォーマンス	単	2016. 11. 5	レグザムホール（香川県高松市） 主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会	H. アーレン作曲：「オーバー・ザ・レインボー」を吹奏楽に編曲。指揮：内井規文、演奏：高松ウインドシンフォニー
名古屋市立若葉中学校開校70周年記念行事	単	2016. 11. 11	ウィル愛知	自身の作品「森の画集」より「海上の森」を演奏。ピアノ：桃瀬茉莉、ピオラ：吉田浩司
戸塚ヨットスクール開校40周年記念行事	単	2016. 11. 12	ホテルオークラ東京ベイ	自身の作品「森の画集」より「海上の森」、「森の竖琴」を演奏。ピアノ：桃瀬茉莉、ピオラ：吉田浩司
Inexplicable owl vol. 3 evaporation演奏会	単	2016. 11. 30	Menicon Annex Hitomiホール	自身の作品“Synesthesia” for Harp and Electronicsを演奏。Harp：操美穂子、Computer：岩本渡
大妻女子大学合唱団 第60回定期演奏会	単	2016. 12. 4	国立オリンピックセンター記念青少年総合センター	自身の編曲出版作品、女声合唱のための「女の愛と生涯」（シューマン作曲）を演奏。指揮：荒木泰俊、ピアノ：岡本和也、演奏：大妻女子大学合唱団
名古屋・メキシコ姉妹都市提携40周年イベント～ギターとマリンバで聴く日本・メキシコ～	単	2016. 12. 17	名古屋国際センター 別棟ホール	自身の作品“Reflection” for Marimba and Electronicsを演奏。Marimba：松田康介、Computer：岩本渡
女声合唱団クール・クロア58周年演奏会	単	2017. 2. 4	横浜市戸塚区民文化センターホール	自身の編曲出版作品、女声合唱のための「女の愛と生涯」（シューマン作曲）を演奏。指揮：中村義朗、ピアノ：林亜希子、演奏：女声合唱団クール・クロア

名古屋工業大学吹奏楽団 第5回定期演奏会	単	2017. 3. 24	天白文化小劇場	高橋伸哉作曲「Jalan-jalan 神々の鳥の幻影」 の指揮を担当。
◎その他 「音楽教育、創作活動にお けるデジタル・テクノロ ジーの活用について」	単	2017. 3. 1	雑誌『音楽文化の創造』 pp.11-14、発行所：公益 財団法人音楽文化創造	テクノロジーの進歩と音楽教育、創作活動と の関わり合いについて、歴史的な変遷にも触 れ、論じた投稿。

## 教授 金子 敦子

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 教職特別講座 (レクチャーコンサート) 「共通教材に親しもう！」	2016. 12. 5 (名古屋芸術大学東キャンパス 4号館：多目的ホール)	文科省により定められている7曲の歌唱共通教材に親しむ機 会を設け、学生たちに7曲に対する理解を深めさせることを 目的として、曲の解説を交えてコンサートを実施した。演奏 曲については、アレンジを行い(フルート、ヴァイオリン、 歌)、学生たちが7曲の素晴らしさを十分に味わえるように 工夫した。7曲に加えて、教育現場で良く取り上げられるカ ンツォーネや、愛知県の伊良湖岬で誕生した《やしの実》 (鳥崎藤村：作詞、大中寅二：作曲)なども披露した。 (演奏：本学非常勤講師、助手、解説：金子)
音楽教育コース学外授業 「共通教材《赤とんぼ》の里 (兵庫県たつの市)を訪ねる」 (「音楽教育Ⅲ」の一環として)	2017. 2. 21～22	「音楽教育Ⅲ」(ゼミ)では、1年にわたり「7曲の共通教 材」について研究・調査を行ってきたが、そのまとめとし て、共通教材の1曲である《赤とんぼ》(三木露風：作詞、 山田耕筰：作曲)の作詞者三木露風の生誕地(兵庫県たつの 市)を訪ねた。三木の生家や記念館等を訪れ、三木の生涯に 触れるとともに、この曲ができた経緯、三木のその他の作品 等に接し、作品誕生の背景を学んだ。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎学会発表 日本音楽学会中部支部 第117回例会 研究報告： DVD「一絃の琴 二絃の琴」 の紹介		2016. 7. 16	名古屋芸術大学東キャンパ ス 5-301教室	本DVDは、幕末から昭和初期にかけて日本 で広く流行した少数絃(絃数の少ない琴：一 絃琴、二絃琴)の歴史、伝承、現状を記録し ている(解説書付き)。今日では、少数絃の 伝承者は限られた人たちのみになってしまっ たが、「日本の楽器」という観点からは、日 本の貴重な音楽文化である。その記録資料 (DVD)の内容等について報告を行った。な お、本DVDは、本学の研究助成を受け、浜 松市楽器博物館との共同研究・調査により作 成したものである。

<p>◎講習会 第2回 絹の琴糸弦を締め る講習会</p>		<p>2017. 1. 30</p>	<p>名古屋芸術大学東キャンパス 2-203教室</p>	<p>第1回は東京での開催だったが（平成27年）、第2回は地方で行うことになり、本学で実施した。箏の演奏に際して、箏糸締めは専門家に任せられる仕事である。今日、テトロン弦の需要が多いことから、糸締めの専門家たちは、テトロン弦の糸締めには慣れているが、本来の箏糸である絹弦を締められる専門家は極めて少ないのが現状である。「絹の音色＝日本の文化」であり、日本の絹文化を継承してゆくために、糸締めの専門家を対象に講習会を実施した。詳細については、報告書（国産絹弦普及の会 発行）を参照。なお、本講習会は、蚕糸科学研究所の助成により、国産絹弦普及の会（代表：徳丸吉彦）の一事業として実施した。</p>
<p>◎社会活動 平成28年度 全国子供大正琴コンクール</p> <p>浜松市楽器博物館企画展 「一絃の琴 二絃の琴～現在 に伝わる和の響き」</p>		<p>2016. 8. 27</p> <p>2016. 9. 11 ～10. 11（開 催期間）</p>	<p>ウィルあいち ウィルホール（名古屋） 主催：公益社団法人大正琴協会</p> <p>浜松市楽器博物館</p>	<p>審査員。大正元年に名古屋市出身の森田吾郎により発明された大正琴の次世代への継承を目的として、平成18年から始まったコンクール。対象者は全国の高校生以下の大正琴愛好者。ビデオ部門と当日演奏部門に分かれ、当日の審査員をつとめた。</p> <p>考証協力。浜松市楽器博物館において、上記DVDに関連して、企画展が開催された。企画展では、兵庫県須磨寺、奈良県飛鳥寺、各楽器の保存会等が所蔵する貴重資料（楽器、楽譜、その他）がひと月にわたり展示され、さらにワークショップ（一絃琴を弾こう）も実施された。本企画の実施に際して、考証協力を行った。</p>

教授 舟橋 三十子

<p>教育上の能力に 関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>0概 要</p>
<p>◎教育方法の実践例 ソルフェージュ I</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的な聴音、新曲だけでなく、分析、理論、移調、リズム、音程練習等を加えてアプローチしている。また、様々な時代や作曲家、国の名曲をテキストに用い、幅広い視点から音楽をとらえ、学生が何のためにソルフェージュを学ぶのか、その目的をはっきりさせて、授業を学ぶモチベーションを高めるようにしている。</li> <li>・ソルフェージュ I では、主としてリズム練習に重点を置いている。（単純拍子、複合拍子、混合拍子、変拍子、単リズムと歌、2声のリズム等）</li> </ul>

<p>ソルフェージュ II</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的な聴音、新曲だけでなく、分析、理論、移調、リズム、音程練習等を加えてアプローチしている。また、様々な時代や作曲家、国の名曲をテキストに用い、幅広い視点から音楽をとらえ、学生が何のためにソルフェージュを学ぶのか、その目的をはっきりさせて、授業を学ぶモチベーションを高めるようにしている。</li> <li>・ソルフェージュIIでは、主として音程・視唱練習を重点を置いている。(伴奏付き基礎音程、多声部視唱、クレの読みかえ等)</li> </ul>
<p>ソルフェージュ特論</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランスの教本（フォルマシオン・ミュージカル）の日本語版（拙訳）を用い、新しい考え方に基づいた方法を実施している。また教材として用いた作品のCD、DVDを使用し、譜面からだけでなく、視覚的・聴覚的な要素も視野にいれた方法での楽曲へのアプローチを試みるようにしている。</li> <li>・特に、本学の姉妹校であるエコール・ノルマルのソルフェージュの課題を中心に、授業を行っている。</li> </ul>
<p>楽式論（楽曲分析を含む）</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機、二部形式、三部形式、ロンド形式、ソナタ形式、ロンド・ソナタ形式、変奏曲、カノン、フーガ等の基本的な楽式の説明を行っている。</li> <li>・よく知られたピアノ作品から始まり、最終的には、古典派、ロマン派、近代の作品までのアナリゼを実施している。予習に重点を置き、自分の力で分析できるようにさせている。過去に学んだ和声学の知識を生かし、最終的には、ポリフォニックな音楽にも踏み込んでアナリゼできるようにしている。</li> </ul>
<p>キーボード・ハーモニー</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コードネームや和音記号を用いた伴奏付けや、旋律に合った対旋律（オブリガート）を付けるなど、音楽の教師を目指すに当たって、教育の現場で実際に役に立つ学習を行っている。よく知られた旋律に正しいハーモニーを付けるなど、和声学で学んだ机上の学問を実践で役立たせるように工夫している。</li> <li>・古今東西の名曲を教材として使用することは、深い音楽の知識を必要とされる音楽教育の面からも欠くべからざることなので、幅広いジャンルの曲を聞かせるように努めている。</li> </ul>
<p>(大学院) 楽曲分析研究-1 (古典・ロマン派作品)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部で学んだ機能と和声について復習するとともに、楽式論や楽曲分析についても、再度復習しながら授業をすすめる。特に借用和音、準固有和音、非和声音、終止、転調等については、机上の和声の知識と実際の楽曲とは異なることが多いため、その点を留意しながら分析を行う。また西洋音楽の歴史的背景を理解した上で、広いジャンルの曲を楽曲分析の対象とする。</li> </ul>

<p>◎作成した教科書・教材 クラシックのからくりー「かたち」で読み解く楽曲の仕組みー</p>	<p>2016. 4 (ヤマハミュージックメディア)</p>	<p>「クラシック音楽は難しい?」「ロンド、カノン、二部形式、ってなに?」という音楽愛好家を持つ疑問を、具体的に説明している。楽曲の「かたち」から音楽の構成を徹底分析する、聴くだけではなく楽しみ方ができる一冊として書いた。各形式の代表的な曲を楽譜でまるごと解説するので、曲の構成図が一目でわかる。また、構造や仕組みを知れば、感動の仕組みまで理解できる。楽曲の「かたち」から音楽の構成を徹底分析する、画期的な一冊といえる。</p>
<p>1冊でわかるポケット教養シリーズ 形式から理解するクラシック</p>	<p>2016. 10 (ヤマハミュージックメディア)</p>	<p>名曲のスタイルを分析し、曲の背景を知って、音楽をもっと楽しく聴こう、というコンセプトのもとに書いた。誰もが知っている名曲80曲を使い、クラシックを「仕組み(音楽形式)」と「構成」からわかりやすく分析している。何気なく聴いていて聞き過ぎしていた、クラシック音楽の魅力や秘密が見つかるかもしれない、という今までにない視点からのクラシック音楽へのアプローチである。</p>
<p>フォルマシオン・ミュージカル名曲で学ぶ音大入試の楽典</p>	<p>2017. 3 (音楽之友社)</p>	<p>近年、音楽大学・音楽高校の入試で多く出題される、実際の曲を用いた楽典問題に対応する問題集である。各章の構成は次のとおり。例題（入試過去問題）→例題に関する楽典の解説→著者作成の応用問題（書き込み式）。巻末に例題と応用問題の解答付き。例題には、東京藝術大学、国立音楽大学、愛知県立芸術大学ほか延べ12校の入試問題を掲載。主要な音楽大学をはじめ、東京藝術大学附属音楽高等学校の問題も含まれている。</p>
<p>◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 ソルフェージュ I</p> <p>ソルフェージュ II</p>		<p>学生に対して行っている授業の内容が、彼らの専攻実技に役立っていると思われる。学生の知識や学習レベルが一律でないため、どうしても能力の差が授業の進行に影響を与えてしまうので、これが今後の検討課題である。</p> <p>ソルフェージュ Iでは、主としてリズム練習に重点を置いて授業を進めている。「拍子を正確に取ること」はソルフェージュの基本であるので、クラス授業の特性を活かして、様々な方法でアプローチすることで、効果的に進めることができると考えられる。</p> <p>ソルフェージュ IIでは、主として視唱・音程練習に重点を置いて授業を進めている。「音程を正確に取ること」はソルフェージュの基本であるので、クラス授業の特性を活かして、様々な方法でアプローチすることで、効果的に進めることができていると考えられる。</p> <p>できるだけレベルの低い学生に授業内容を合わせたいと思っているが、実技のレッスン等で遅刻してくる学生、出席が足りない学生等が多々おり、彼らの不足点に関しては、課題を与えるなど工夫し、フォローしていきたいと考えている。</p>



<p>ソルフェージュ特論</p> <p>楽式論（楽曲分析を含む）</p> <p>キーボード・ハーモニー</p> <p>（大学院） 楽曲分析研究-1（古典・ロマン派作品）</p>		<p>幅広いジャンルの楽曲の読解力を深めるために、ソルフェージュ能力だけでなく、基礎となるエクリチュール、作曲、楽曲分析能力などを磨くことも目的としている。特にソルフェージュの先進国であるフランスの新しいソルフェージュと言われるフォルマシオン・ミュージカルの考えに基づいた授業を展開していくので、学生の音楽の表現能力は総合的に向上し、広義の音楽の知識も身につくと考えられる。</p> <p>楽式論では、実際の楽曲を数多く聴くことを念頭に、DVDで音と映像を再現することを重点に授業を実施している。そのため、彼らの専攻実技とは関係ない楽曲に触れる機会が多く、学生にとっては新しい体験だったように思われる。</p> <p>実際に演奏するだけでなく、学生が学習している楽曲の成り立ちを知ることは、曲を理論的に理解し、現在学習している和声学や対位法との関連性も視野に入れた、多角的な学習方法として評価できる点だと思われる。今後もこの方針で授業に取り組みたいと思う。</p> <p>4年生の総まとめとしてのこの科目は、学生が教育実習に出たときに「大変役立つ」と好評である。コードネームや和声付けは、卒業してからも必ず必要とされる技能であり、この授業では、よく知られている短い楽曲に伴奏を付けることを主眼として授業を進めている。特に、即興性を磨くため、教室に設置されたミュージックラボの設備を利用して、オペリガートの創作や即興的な伴奏付けをするなど、机上の空論ではない授業を今後も展開し、なおかつ扱う楽曲も広げていきたいと考えている。</p> <p>古典から近代、現代までの代表的な楽曲の様式研究と、その楽曲分析を行うので、和声の見地から作品を分析し、これらの作曲家の音楽様式を理解できるようになる。実際の楽曲で使われている和声や形式の分析を、自分でアナリーゼする力を養うと同時に、演奏での理解力が身についたと考えられる。</p>
<p>◎その他 平成28年度 科学研究費助成事業 審査委員表彰者</p>	<p>2106. 9. 30 (独立行政法人日本学術振興会)</p>	<p>学術システム研究センターにて、科学研究費審査終了後、審査の検証を行い、その結果を翌年度の審査委員の選考に適切に反映している。さらに、その検証結果に基づき、第2段審査（合議審査）に有意義な審査意見を付した第1段審査（書面審査）委員を選考し表彰することとしており、平成28年度は約5,700名の第1段審査（書面審査）委員の中から268名が選考され、その1人に選ばれた。</p>
<p>職務上の実績に関する事項</p> <p>平成27年度 科学研究費助成事業 第1段審査（書面審査）委員</p>	<p>年 月 日</p> <p>2015. 1 (独立行政法人日本学術振興会、科学研究費助成事業)</p>	<p>概 要</p> <p>独立行政法人日本学術振興会、科学研究費助成事業（科研費）の第1段審査委員（書面審査）を務めた。（分科：芸術学、細目名：芸術一般） ※1年間は非公開のため、本年度に掲載した。</p>

<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『ロマン派の作品を巡って』」第1回</p>	<p>2016. 4. 14 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックの聴き方入門一名曲のスタイル分析 全80曲—」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、ベートーヴェンとシューベルトを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。歌曲王と呼ばれたシューベルトの作品の分析と、シューベルトが敬愛していたベートーヴェンの作品を比較し、譜例を用いてわかりやすく構成した。</p>
<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『ロマン派の作品を巡って』」第2回</p>	<p>2016. 5. 12 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックの聴き方入門一名曲のスタイル分析 全80曲—」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、ショパンとシューマンを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。この2人の作曲家が同じ年に生まれたことはあまり知られていないが、ピアノの詩人と言われたショパンと、文学者としての才能も持ち合わせたシューマンそれぞれの作品を、譜例を用いてわかりやすく構成した。</p>
<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『ロマン派の作品を巡って』」第3回</p>	<p>2016. 6. 9 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックの聴き方入門一名曲のスタイル分析 全80曲—」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、リストとワーグナーを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。交響詩を生み出したリストと、楽劇やライトモチーフ等で後世の音楽史に功績を残したワーグナーを比較し、親戚関係にあったというエピソードも交えて、譜例を用いてわかりやすく構成した。</p>
<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『古典派の作品を巡って』」第1回</p>	<p>2016. 7. 14 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックのからくり」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、ハイドンを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。音楽家の地位が低かったため、教会や宮廷貴族の援助なしでは生活が成り立たなかった当時の状況を、世界史を交えてわかりやすく構成した。</p>
<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『古典派の作品を巡って』」第2回</p>	<p>2016. 9. 8 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックのからくり」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、モーツァルトを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。音楽史上最も知られているであろうモーツァルトの作品を、ステージパパと言われた家族間でのエピソードや、短い生涯であったにもかかわらず、幅広いジャンルの作品を多数残したことなどを、譜例を用いてわかりやすく構成した。</p>
<p>公開講座「お仕事帰りに聴く名曲クラシック～『古典派の作品を巡って』」第3回</p>	<p>2016. 9. 29 (朝日カルチャーセンター名古屋)</p>	<p>拙著「クラシックのからくり」(ヤマハミュージックメディア刊)をテキストに用いて、ベートーヴェンを中心に、その生涯や作品を対比させ、パワーポイントで映像や音源を用いてレクチャーした。楽聖と呼ばれたベートーヴェンの作品として、交響曲をはじめ、よく知られたピアノ曲、また自作の主題を使い回した作品例などを、具体的に譜例で示すことにより、難解なクラシック音楽を楽しむことができるように構成した。</p>

<p>ローランド・ピアノ・ミュージックフェスティバル 2016 北陸本選 小学生部門、中学生・一般部門の審査員</p>	<p>2016. 12. 3~12. 4 (金沢市アートホール)</p>	<p>事前のメディア (CD-R) 審査の予選に合格した参加者の北陸本選 (小学生部門、中学生・一般部門) のステージ演奏を審査し、講評した。 出場者は、指定課題曲より1曲を選択する。SMF (Standard MIDI File) ミュージックデータとのアンサンブル演奏、またはピアノソロ演奏による、クラシックからポピュラーの楽曲まで、幅広いジャンルの作品の演奏を審査した。</p>
---	--	--

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
<p>◎著書 クラシックのからくりー「かたち」で読み解く楽曲の仕組みー</p>	単著	2016. 4	ヤマハミュージックメディア (176ページ)	<p>「クラシック音楽は難しい?」「ロンド、カノン、二部形式、ってなに?」という音楽愛好家が持つ疑問を、具体的に説明している。楽曲の「かたち」から音楽の構成を徹底分析する、聴くだけではない楽しみ方ができる一冊として書いた。 各形式の代表的な曲を楽譜でまるごと解説するので、曲の構図が一目でわかる。また、構造や仕組みを知れば、感動の仕組みまで理解できる。楽曲の「かたち」から音楽の構成を徹底分析する、画期的な一冊といえる。</p>
<p>1冊でわかるポケット教養シリーズ 形式から理解するクラシック</p>	単著	2016. 10	ヤマハミュージックメディア (264ページ)	<p>名曲のスタイルを分析し、曲の背景を知って、音楽をもっと楽しく聴こう、というコンセプトのもとに書いた。 誰もが知っている名曲80曲を使い、クラシックを「仕組み (音楽形式)」と「構成」からわかりやすく分析している。 何気なく聴いていて聞き過ぎていた、クラシック音楽の魅力や秘密が見つかるかもしれない、という今までにない視点からのクラシック音楽へのアプローチである。</p>
<p>フォルマシオン・ミュージカル 名曲で学ぶ音大入試の楽典</p>	単著	2017. 3	音楽之友社 (117ページ)	<p>近年、音楽大学・音楽高校の入試で多く出題される、実際の曲を用いた楽典問題に対応する問題集である。各章の構成は次のとおり。 例題 (入試過去問題) → 例題に関する楽典の解説 → 著者作成の応用問題 (書き込み式)。巻末に例題と応用問題の解答付き。例題には、東京藝術大学、国立音楽大学、愛知県立芸術大学ほか延べ12校の入試問題を掲載。主要な音楽大学をはじめ、東京藝術大学附属音楽高等学校の問題も含まれている。</p>

<p>◎その他 WEB連載「みとこ先生の音大入試の楽典ガイド—名曲で学ぶ音楽の基礎—」連載第12回</p>	<p>単著</p>	<p>2016. 4</p>	<p>音楽之友社ホームページ</p>	<p>複数の音楽大学の2015年度入試問題から、近親調・転調、反復記号・省略記号などのテーマを取り上げ、解説した。それらを踏まえ、応用問題として、主として近親調と反復記号の問題、および解答を掲載した。 音楽大学・音楽高校の受験生のみならず、入学後の楽典や音楽理論等の授業でも使用できるように書いた。</p>
<p>誰でも知っている《エリーゼのために》の“からくり”</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 2</p>	<p>雑誌「ムジカノヴァ」(第48巻第2号)</p>	<p>ベートーヴェン作曲のピアノ曲「エリーゼのために」を楽曲分析した。曲の生まれた歴史的背景や、ロンド形式（大ロンド・小ロンド）、ヘミオラ、保続音、終止、減七の和音などの作曲技法も解説した。これらの作曲のテクニックを用いた他の楽曲も、譜例付きで説明した。また、この曲をカバーした、いくつかのポピュラー音楽も紹介した。</p>

准教授 長江 和哉

<p>教育上の能力に関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>◎教育方法の実践例 録音技法 I~IV</p> <p>トーンマイスターワークショップ</p>	<p>2016年度</p> <p>2016. 7. 2・3</p>	<p>ステレオ、サラウンドの音楽録音作品について分析・研究し、「音楽的、あるいは芸術的にすぐれた音とはどのようなことなのか」をテーマに、クラシックからJazz、Popまで様々なスタイルの音楽録音を行った。また、スタジオでの録音だけではなく、学外のホールでおこなわれた本学オーケストラのコンサートのライブレコーディングの体験を通じ、演奏する場所のアコースティックが録音作品に与える影響について学生が体感することができるように工夫した。</p> <p>本学サウンドメディアコースと碧南市芸術文化ホールが共催し、ベルリンより、トーンマイスター、エバハート・ヒンツ氏を特別客員教授として招聘し、クラシック音楽の音源制作に焦点を当てた特別講義を組織をした。テーマは、「ピアノのセッション録音」とし、7月2日は学生のための特別講義として行い、7月3日は公開講座として本学学生を始め、放送関係などのオーディオプロフェSSIONALの方やピアノ調律師の方、音楽愛好家の方などの多数の参加をいただいた。</p>
<p>◎作成した教科書・教材 録音技法授業用プリント</p>		<p>音楽録音の録音技術についてまとめたプリントを作成し、各授業で活用した。</p>
<p>◎その他 受託研究</p>		<p>スタジオ、ホールでの録音技術を研究するため、学校、演奏団体、音楽系企業と受託研究契約を締結し、コース教員と、学生とともに音楽原盤制作を行った。</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>◎録音 CD マスターズ・プラス・ナゴヤ 祝典前奏曲</p> <p>マスターズ・プラス・ナゴヤ PHOENIX</p> <p>中部フィルハーモニー交響 楽団 第51回定期演奏会 (名古屋公演第9回) 指揮：秋山和慶氏</p> <p>テレビ番組 CBCテレビ 開局60周年記念番組 「伊勢神宮・命あふるる 神々の森 五十鈴川に行く」</p>		<p>2016. 4. 10 収録</p> <p>2017. 2. 8 発売</p> <p>2016. 6. 11 収録</p> <p>2016. 11. 3 放送</p>	<p>Music Office KATO Diskunion</p> <p>MBN1-2016 MBN1-2016</p> <p>三井住友海上 しらかわホール</p> <p>CBCテレビ</p>	<p>東海地区のオーケストラ奏者、音楽大学の講師、フリーランス奏者によって構成される吹奏楽団の愛知県芸術劇場コンサートホールでの第1回定期演奏会のコンサートライブレコーディングを担当。</p> <p>R. シュトラウス 祝典前奏曲 op. 61 (編曲：鈴木英史 委嘱初演)</p> <p>J. バーンズ 交響曲 第5番「フェニックス」op. 110 他</p> <p>オーケストラの定期演奏会のCDプロダクションを行った。編集後CDとなり支援会員への配布と一般に発売された。 レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲 フランク：交響曲ニ短調</p> <p>伊勢神宮の神聖な森を貫く五十鈴川の一年を通じたドキュメンタリー番組の音楽録音を担当した。録音は、クラシック音楽にとってふさわしい残響を持った、碧南市 エメラルドホールにて行い、編集を経て、5.1chサラウンドでミキシングした。</p> <p>第41回JNNネットワーク協議会賞 番組部門・地域・環境番組 奨励賞 2017年シカゴ国際フィルムフェスティバル ノンフィクション番組部門 Certificate of Merit 受賞</p>
<p>◎寄稿 一般社団法人 日本オーディオ協会 JAS ジャーナル 欧州のトーンマイスター教育について(2)</p> <p>PROSOUND Europe 192kHz/24bit サラウンド・レコーディング 佐渡裕指揮 トーンキョンストラ管弦 楽団</p>		<p>2016. 5. 1</p> <p>2016. 5. 18</p>	<p>日本オーディオ協会 2016年5月号 (Vol. 56 No. 3) 通巻440号</p> <p>PROSOUND 2016年6月号 Vol. 193</p>	<p>欧州の音楽大学でのトーンマイスター養成についてオーストリア、ウィーン国立音楽大学とイギリス、サリー大学の概要と現状を、一般社団法人日本オーディオ協会の機関誌に寄稿した。</p> <p>2015年10月オーストリア・ウィーン近郊グラフィックで行なわれた、ベルリンの録音制作会社バガサス・ミュージック・プロダクションのトーンマイスター、フローリアン・B・シュミット氏とアキ・マトウツシュ氏による、佐渡裕氏指揮 トーンキョンストラ管弦楽団のセッションレコーディングについてレポートを寄稿した。</p>

PROSOUND Report トーンマイスター ワークショップ2016 セミナーレポート	2016. 9. 18	PROSOUND 2016年10月号 Vol. 195	本学サウンドメディアコースと碧南市芸術文化ホールが共催し、ベルリンより、トーンマイスター、エバハート・ヒンツ氏を特別客員教授として招聘し開催した「トーンマイスターワークショップ 2016」の詳細についてレポートを寄稿した。
ステレオサウンド ジャン＝マリー・ハイセン氏、ペンタトーンの音を紡ぎ出すバランスエンジニア	2016. 12. 12	ステレオサウンド No. 201 2017年 WINTER	フィリップス・レコーディングセンターが源流である、オランダの録音制作会社、ポリヒムニアのバランスエンジニア、ジャン＝マリー・ハイセン氏に、録音哲学や録音手法についてインタビューし、レポートとして寄稿した。
PROSOUND Europe トーンマイスターターゲ ング 2016 クラシック音楽の録音哲学 part 1	2016. 3. 18	PROSOUND 2017年 4月号 Vol. 198	2016年11月ドイツ・ケルンメッセで行なわれた、ドイツ・トーンマイスター協会主催、第29回トーンマイスターコンベンションでのクラシック音楽録音の録音哲学をテーマとした、プレゼンテーション、シュテファン・フロック氏による、「クラシック音楽の録音芸術」についてをまとめ、追加インタビューを行いレポートとして寄稿した。
◎講演 一般財団法人 カワイサウンド技術・ 音楽振興財団 第31回 研究助成講演会	2017. 1. 12	アクトシティ浜松 研修交流センター	2016年度に、カワイサウンド技術・音楽振興財団より研究助成を受けた、「名古屋芸術大学サウンドメディアコースとベルリン芸術大学トーンマイスターコースに置けるマイクアレンジ比較音源の開発」について、これまでの取り組みと、今回の助成で2018年1月にベルリン芸術大学と共同で行う主要オーケストラ楽器の比較収録について、概要を解説した。

准教授 キアラ ザンボルリン

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		・小テスト・レポートによる持続的教育、問題発見・課題解決型授業の実施 ・マルチメディア機器を利用した授業方法（コンピュータ、スライド等の視聴覚教材を活用し、理解を深める等の取り組み）
◎作成した教科書・教材		<i>Crescendo</i> イタリア語問題集 <i>Esercizi di Grammatica Italiana</i> 名古屋芸術大学におけるイタリア語I、II、IIIのための教材 (European Framework of Reference for Languages A1 Level)
◎その他	2017. 11. 13	“Stile d'apprendimento dello studente giapponese in una pluralità di contesti.” Osaka: Italian Cultural Institute. (Invited lecture) 名古屋芸術大学におけるイタリア語教育及び日本人学習者のための文法を中心とした学び方について

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>◎著書                      “The cognitive and sociopragmatic interface of intercultural humor: Watching Roberto Benigni’s movies in Japan”</p>	<p>単著</p>	<p>2016. 7</p>	<p><i>Pragmatic Issues in Specialized Communicative Contexts</i>, Edited by Francesca Bianchi &amp; Sara Gesuato Leiden and Boston: Brill/Rodopi, pp. 171-192.</p>	<p>In this paper I focused on verbal humor (VH) intended not as a conversational strategy but as a professionally produced art form, that is, the comic. The paper is divided in two parts. After describing the cognitive functioning of humor and its social repercussions, I reported on the findings of a qualitative study on intercultural communication. The pedagogical context from which the data were drawn was a one-semester class in Italian culture I teach at Nagoya University of Arts. The general objective of the class was to disclose the message Italian comedian and movie director Roberto Benigni intends to convey on the big screen in his latest production. A more specific target—the one pertinent to this study—was to analyze the comical techniques employed by Benigni from an intercultural-pragmatic angle. Toward the end of the semester I administered a questionnaire in Japanese consisting of two short-answer questions. The purpose of the inquiry was to track a set of values in students’ comments, and to find out if those values could be said to affect the perception of humor cross-culturally. The findings of my survey suggest that the ability to deal with VH is part of communication competence. Engaging in humor is a risky choice, as humor always retains its power to injure.</p>
<p>“I Giapponesi, parlanti obliqui e vaghi per la salvaguardia di <i>wa</i> : quanto c’è di vero nel luogo comune?”</p>	<p>単著</p>	<p>2016. 12</p>	<p><i>Lingue Culture Mediazioni / Languages Cultures Mediation - 3/2</i>, Edited by Virginia Sica &amp; Junji Tsuchiya University of Milan pp. 155-171.</p>	<p>Japanese communication style is often described as characterized by indirectness and vagueness. How much truth is there in this cliché? In trying answering this question, in this paper I first reviewed some of the major theoretical ethnographic studies on Japanese language and culture that intended to explain from different angles the recurrent use of indirectness and vagueness in the Japanese discourse system. In this connection, I pointed out that it is often difficult to determine to what extent many scholars’ accounts can be viewed as non-stereotypical and bias-free, and from which viewpoint their descriptions is to be considered unnatural or fragmentary. I then analyzed the Japanese communication style focusing on a sort of ambiguity that indeed appears to characterize the way many Japanese communicate verbally. My analysis was based on authentic segments extracted from email messages written by native speakers of Japanese.</p>

<p>詩的感覚、想像力プラスα —ベニーニの『人生は奇跡 の詩うた』についての解説— Poetic Sensibility, Imagination, Plus Alpha: Some Thoughts on Benigni's <i>The Tiger and The Snow</i></p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>名古屋芸術大学教職セン ター紀要 第5号 pp. 97-113</p>	<p>筆者は本学で担当する「異文化入門」の講義 で、この数年間イタリア人映画監督、俳優、 風刺コメディアンであるロベルト・ベニーニ による3名作『ライフ・イズ・ビューティフ ル (<i>La vita è bella</i>, 1999年)』、『ピノッキオ (<i>Pinocchio</i>, 2002年)』と『人生は奇跡の詩 (<i>La tigre e la neve</i>, 2005年)』を教材として 使用している。授業ではこれらの作品に込め られたメッセージやベニーニ独特のユーモア の作法を探ると共に、学習者の異文化理解を 高めることを目指した。本論では、主人公の 独特な逆境との闘い方に注目し、ベニーニの 最新作 <i>La tigre e la neve</i> について考察した。</p>
--	-----------	----------------	--	---



## 芸術学部 芸術学科 美術領域

教授 杉浦 尚史

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎作品タイトル 「ワンダフルデイズ」		2016. 4. 13～25 5. 17～22 5. 31～5. 5	国立新美術館 愛知県美術館ギャラリー 大阪市立美術館	東京展 F130号 油彩画 名古屋展 大阪展
「樹上読書」		2016. 6. 10 ～15	名古屋芸術大学 Art & Design Center	F80号 油彩画
「新たな航海」		2016. 6. 24 ～29	名古屋芸術大学 Art & Design Center	F15号 油彩画
「イタドリ」		2016. 11. 14 ～20	名古屋市博物館	F50号 油彩画
「水上散歩」		2016. 11. 15 ～27	安城市中央図書館	F12号 油彩画 他 油彩画、ペン画計8点
「スジャータ」		2016. 12. 7 ～11. 14	ギャラリー彩（名古屋・ 栄）	F4号 油彩画

教授 須田 真弘

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 他大学と連携しての共同展覧 会の開催	2015. 8. 27～2016. 10. 23	愛知県が主催する「あいちトリエンナーレ2016」開催に伴い、あいちトリエンナーレ実行委員会国際芸術祭推進室からの依頼により、地元3芸大の代表での連携会議を定期的に行いながら、展覧会を数回企画した。地域の美術教育の発展や文化芸術の振興を図った。
学習効果促進のため、名古屋 ボストン美術館での授業展開 や美術館を活用しての現場研 修	2016. 11. 13	本物の美術を多く学ぶために、学外の美術館を実際に訪問して授業を展開している。現場で直接自らの眼で学ぶことで作品の理解を深め、体験を通じて、より充実した作品鑑賞に努めている。
◎作成した教科書・教材 展覧会カタログなど	2016年度～現在	美術館やギャラリーが出版した展覧会図録やカタログ資料を教材として活用している。また授業内容の理解に対して事前にオリジナルのプリントを作成し、独自の資料を用意している。またインターネットやその他情報誌からまとめた資料の配布などを行っている。
◎当該教員の教育上の能力に 関する大学の評価 学生による授業評価結果	2016年度	大学の自己点検の一環として、学生からの授業評価を毎年行っている。授業に対して高い評価を受けている。

職務上の実績に 関する事項	年 月 日	概 要
特別講義 アートとテクノロジー 表現 の行方	2016. 5. 23	古代から人は様々な表現を行いながら今日に至っています。アート（芸術）、とりわけビジュアルアート（視覚芸術/絵画・彫刻・版画・写真など）の中から、いくつかの作品を例に挙げ、その作品の意味や内容とテクノロジー（技術）との関係について広島国際学院大学で講義した。
特別講義 海外美術大学との交流プロ グラムとその先にある国境を越 えた活動の可能性	2016. 5. 24	今日の大学にとって国際交流は重要な役割や意味を持っています。海外の大学との交流に伴う姉妹校提携、教員の研究活動のグローバル化、また学生の留学など、その内容は多義にわたります。大学の国際的競争力や評価にも大きく関係する国際交流と自らの海外での活動について、また名古屋芸術大学の国際交流について尾道市立大学で講義した。
教員作品展	2016. 6. 10～15	本学のオープンキャンパスに合わせて名古屋芸術大学の西キャンパス Art & Design Centerにて開催される教員作品展に油彩作品を出展した。
作品講評と指導 KNIT展	2016. 7. 27	三重県名張市の福祉センターふれあい会館で行われた、名張、桔梗丘、上野工業、上野商業、伊賀白鳳、上野の6高等学校が参加しての美術展覧会KNIT展のゲスト講師として招聘され、作品講評と学生指導を行った。
展覧会企画 SKY OVER III	2016. 8. 10～10. 23	あいちトリエンナーレ2016と連携して、地元3芸大で芸術大学連携プロジェクトの展覧会を企画した。若手アーティストを紹介するシリーズの3回目として「SKY OVER III」展をアトラボあいちで開催した。また長者町会場では担当教員として小作品を出展した。
絵画コンクール審査員 長久手市文化の家	2016. 8. 23	長久手市主催の長久手市文化の家にて開催される絵画コンクール、小学生/中学生の部での審査員を務めた。また9月10日に行われた表彰式にて挨拶と受賞者への授与を行った。
展覧会企画 アラムナイ・コレクション	2016. 10. 7～12	本学を卒業後にアーティストで活躍する方の作品を理事長が近年コレクションしている。その作品を通じて卒業生の活動や評価を感じてもらうため、作品展覧会を企画して、名古屋芸術大学西キャンパス Art & Design Centerにて開催した。
展覧会企画 Dialogue between Brighton & Nagoya 名古屋芸術大学 ブライトン 大学 姉妹校提携 20th anniversary	2016. 12. 9～14	名古屋芸術大学と英国のブライトン大学との姉妹校提携20周年を記念して、名古屋芸術大学の西キャンパス Art & Design Centerにて展覧会を企画開催した。ブライトン大学の教員5名と本学教員5名が2人1組になって、対話形式でのドローイング交流制作を試みタイトル「Drawing via Dialogue Project」としてドローイングの作品出展と作品展を開催した。
作品講評と指導 伊賀白鳳高等学校卒業制作展	2017. 2. 28	三重県伊賀白鳳高等学校工芸デザイン科デザインコースの卒業制作展にゲスト講師として作品講評指導を行った。

教授 田口 貴久

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2015～2016	<p>実技教育上有用な先例となる作品をパソコン上にスキャンしてスライドを作成しそれを見せながら美術史の上での絵画技術の変遷や、その裏付けとなる思想や世界観を、理解を立体的で系統だったものにさせるように努めた。</p> <p>卒業制作の先例となる作品をスライドとして製作し、卒業制作の制作過程なども踏まえて解説し具体的なイメージを持たせることで卒業制作への導入をした。</p>
◎作成した教科書・教材	2015～2016	<p>「中世の美術」「ニコラ・ブッサン」「グリユネバルト」「ボッス」「ターナー」「モロー」「セザンヌ」「マチス」「ピカソ」「レジェー」「ブラック」「ジャコメティ」「ルオー」等それぞれ10数枚から数十枚のスライドを作成して歴史の流れや影響関係などを実作者の立場から解説し学生の技術や思想の深まりや向上に努めた。</p> <p>また、作品制作の研究のための自由模写等を勧め、たとえば「マチスのシャルウダンにおける自由模写・ピカソのゲルニカとブッサンの作品の関係・アビニオンの娘とセザンヌの水浴図の影響関係等」に具体的に解説し作画上の工夫が歴史的な蓄積の上に成り立っている事実を制作の実態の中で体感させた。</p> <p>西洋絵画のみならず、東洋とりわけ日本美術にも着目するように指導し、「雪舟等の水墨画」とセザンヌやキュビズムの作品の近縁関係をスライドと実作の指導を通し理解させるように努めた。</p> <p>北斎・写楽などの作品がフランス近代絵画にあたえた影響を解説し日本絵画の先進性に気が付くように指導した。</p> <p>明治期以降の日本画「速水御舟」「徳岡神泉」などのスライドを作成し、彼らの作品にも目を向けさせ今日の洋画が西洋絵画の影響下にあるだけでなく日本人の美意識に裏打ちされることの重要性に気付かせるように努力した。</p>
◎その他	上野の森美術館	<p>卒業生に関しても、ベロン会等のグループ展を通して積極的にフォローした。</p> <p>上野の森絵画大賞展 日本放送賞佳作</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 素描展		2016. 7	銀座高輪画廊主催	素描 1 点出品
傘の会		2016. 8	松坂屋本店	笠井誠一先生を中心にした研究を目的とした作品展。油彩20号・10号出品
第68回立軌会展		2016. 10	東京都美術館	100号・50号ベロンに取材した油彩
田口貴久個展		2016. 10	銀座高輪画廊主催	高輪画廊の企画による個人展80号50号40号等の大作中心に30点ほど出品

第8回赤兎馬	2016. 10	銀座高輪画廊主催	油彩20号・10号出品
第16回私のマチエール展	2016. 12	ギャラリー綾主催	名古屋芸術大学、名古屋造形大学、愛知県立芸術大学の教員と卒業生による人材育成を目的とした展覧会。発起人
ペロン会東京展	2016. 12	銀座高輪画廊主催	20号・10号製作用品
第2回ペロン会展	2017. 3	三岸節子記念美術館	油彩80号・50号12号・4号の作品を制作発表 本校の卒業の作家3名を含む研究を目的としたグループ展
私たちの選ぶ郷土の作家たち	2017. 3	豊川桜ヶ丘ミュージアム「みわ」の会主催	豊川市の美術愛好家のグループ主催による選抜展。油彩80号・50号出品

教授 中澤 英明

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		・優れた教育法の実例（一般的実技指導と技法材料学的指導の融合、カリキュラムに沿った参考図版の展示 等） ・学生のニーズに併せた教育（油絵の具練り実習の追加 等）
◎作成した教科書・教材	2016. 5. 25 2016. 6. 7 2016. 6. 15 2016. 9. 8 2016. 9. 9 2016. 9. 22 2016. 9. 28 2016. 10. 5 2016. 11. 3 2016. 11. 29 2016. 11. 30 2016. 11. 30	・配付資料の作成または改訂 「テンペラ入門」 「キャンヴァス・パネル作り」 「時代・地域別使用顔料表」 「卵テンペラと油彩による混合技法実習」 「混合技法溶材」 「油彩画の特性を考える（油彩画と水彩画の比較）」 「油絵具の製造工程」 「油絵具の組成」 「溶き油の成分」 「支持体」 「支持体（木板と布）」 「板から布へ（油彩画の支持体の変遷）」

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
第67回三重県展審査委員	2016. 4. 21	洋画部門審査員
平成28年度 愛知高文連美術・工芸部門 名古屋支部講評会	2017. 1. 16	講評会講師

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 「教員展」		2016. 6. 10 ～6. 15	名古屋芸術大学 Art & Design Center	オープンキャンパスに併せた大学の企画展 「子供の顔—弥勒」テンペラ・油彩・白亜地・綿布・木板 409×317

<p>「日本で洋画、どこまで洋画」</p>	<p>2016. 11. 18 ～12. 18</p>	<p>愛知県美術館</p>	<p>愛知県美術館の企画展 明治の半ばに「日本画」と対になるようにして「洋画」が生まれた。洋画はその後、西洋の新しい動向の影響を強く受けながらも、日本独自性を追求する等、複雑な展開を見せる。一方、近年では若手作家達が油彩で描いた作品が「現代アート」として高く評価されている。このような作品は「洋画」とはどのように違うのか。近代日本画における油彩画による具象絵画に焦点を当てて、「洋画」の世界に迫る展覧会。 「子供の顔ー寝ぐせ」 テンペラ・油彩・白亜地・綿布・木板 454×380</p>
-----------------------	---------------------------------	---------------	---

教授 大崎 正裕

<p>教育上の能力に関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>◎教育方法の実践例 集団表現・アールラジオ 2016</p>	<p>2016. 10. 10・11・12 (放送本番)</p>	<p>三日間限定FM放送 全体統括者は大崎正裕が担当(村田仁氏、横山豊蘭氏、浅井雅弘氏が共同指導) 番組表製作(A3サイズ) 仮設スタジオはA&amp;Dセンター中2F。学生(卒業生)やゲストがチームに分かれて協働することは個人で活動する以上に大きなエネルギーとクオリティーの高さを必要とする。チームやグループに分かれてアクティブラーニング形式で学生達に指導する事で一人一人の能力を開花させる。学生達はマルチメディア機器を利用して実践的に学ぶ。</p>
<p>2校による大学院レベルの展覧会 〈名古屋芸術大学と東京造形大学の交流展〉</p>	<p>2016. 10. 7～12</p>	<p>仮設本学西キャンパスA&amp;Dセンター内ギャラリーBEで名古屋芸術大学院生と東京造形大学院生による「4対4」の交流展。アール！ラジオ番組の一つとして、名古屋芸術大学同時代表現研究生生代表と東京造形大学院生代表のクロストーク番組「名芸×東造」を生放送で発信した。</p>
<p>アートラボあいち本学独自企画 「グループワーク and コラボレーション」</p>	<p>2016. 6. 12～7. 3</p>	<p>中部地域3芸大関連企画事業の一つである本学独自企画に携わり、グループワークとコラボレーションワークを大崎正裕が立案する。村田仁氏を募り、一緒に共同企画を進める。大津橋会場3Fでは名古屋芸術大学卒業生(西松秀祐氏 山田なつ実氏 大島歩氏)3名によるグループワーク展。 長者町会場4-5Fでは2人ユニット「ブルーマヨネーズ(村田仁&amp;小松亮一)」によるコラボレーション展を催した。 愛知芸術文化センター・中村史子氏が一筆のこの展覧会についてコメントがあった。アール！ラジオ活動スピンオフ企画として企画者や参加作家達の話を全国に発信した。 スカイプや映像機器などを駆使した作品展示(インスタレーション)が行われた。</p>
<p>AMR(伏見長者町トランジットビル)を会場に2期に分けて洋画2コース3年生展を開いた。</p>	<p>2017. 2. 21～26 (1期) 2017. 2. 28～3. 5 (2期)</p>	<p>大崎正裕が計画・立案した後、ディレクター(プランナー)の立場で横山豊蘭氏が進行した共同企画授業。また、展覧会会期中にアール！ラジオスピンオフ企画ラジオ放送を横山豊蘭氏と浅井雅弘氏が実施した。</p>

<p>Under 29 Artists Exhibition 2016展</p> <p>アートビジネス講座を実施</p>	<p>2016. 8. 16~27</p>	<p>ギャラリーMoMo Ryogoku（東京・両国）で催した。大崎正裕にも企画初頭から話があり、推薦者の一人として加わった。この展覧会は名古屋芸術大学と東京藝術大学（東北芸術工科大学 多摩美術大学）と東京造形芸術大学と武蔵野芸術大学の関係者に企画者から話があって実現した。そうそうたる美大・芸大ばかりである。29才以下の才能ある若い作家達を発掘するために、上記大学の関係者が総数11名の卒業生や院生を推薦している。企画者がこの展覧会をまとめるため、A5サイズで26ページのカatalogを作成した。</p> <p>社会の第一線で活躍しているアーティスト以外の美術関係者を招いて、側面から支援してもらうための講座を積極的に開いている。作家を産むためには、単なる技術の習得だけではなく、作家として厳しい社会で生き抜くために気力と知識（知恵）が必要であると考えている。学生や卒業生達にとってより実践・実学的な教育を心がけて作家を育成する。</p>
<p>◎作成した教科書・教材 A&amp;Dセンター発行誌Ble</p> <p>文化をつなぐ地域総合雑誌 C&amp;D執筆</p> <p>文化をつなぐ地域総合雑誌 C&amp;D記事</p>		<p>A&amp;Dセンター発行誌Ble Vol. 46特集「行くべし！観るべし。」原稿執筆・掲載</p> <p>集団表現ア―ッ！ラジオについて執筆・掲載。タイトル「大学発放送としてのア―ッ！ラジオ」（No. 167 2016年-夏 Vol. 47 A4サイズ 掲載記事2ページ）</p> <p>16p, 17p 集団表現。グループワーク&amp;コラボレーションワーク展について記事掲載。タイトル「グループワーク and コラボレーション」（No. 167 2016年-秋 Vol. 47 A4サイズ 掲載記事2ページ）</p> <p>中部地域3芸術大学（愛知県立芸術大学 名古屋芸術大学 名古屋造形大学）連携プロジェクト事業で名古屋芸術大学独自企画の企画者として関わり、村田仁氏も共同企画者として紹介される。会場は天津橋会場と長者町会場の2ヶ所。</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎展覧会				
萌月のアート展	ギャラリー企画	2017. 1. 9~20	ウェストベスコズカギャラリー（名古屋）	出品作品（写真作品）1点
ブライトン大学と名古屋芸術大学との20周年交流記念事業展 Dialogue between Brighton and Nagoya	本学&ブライトン大学両校企画	2016. 12. 9~14	名古屋芸術大学 Art & Design Center内 ギャラリーBE	出品作品2点（ドローイング作品）
名古屋芸大教員展	本学企画	2016. 6. 11~15	名古屋芸術大学 Art & Design Center内 ギャラリーBE	出品作品1点（パフォーマンス&写真作品）

“場を作る”		2016. 4. 3～30	GALLERY MoMo Projects (roppongi)	<p>“場を作る”をコンセプトに、積極的に活動の場を各地に拡げている。その一環として、ギャラリー（東京）オーナーを本学卒展に大崎が招いた折に企画展の相談があり、当時本学卒業予定の洋画2コース4年生6名のGALLERY MoMo Projects (roppongi)での発表展が実現した。GALLERY MoMo Projects (roppongi)は六本木ヒルズにある森美術情の傍にあるコマースシャルギャラリー。また、公験“場を作る”活動は外部のパートナー作りと関連している。</p> <p>選出作家：奥村岳史 近藤夕琴 杉浦光 濱口綾子 船戸彩子 山口諒</p>
--------	--	---------------	----------------------------------	--

教授 岩井 義尚

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
6月オープンキャンパスワークショップ	2016. 6. 11	彫刻講座「木・・球をつくらう」
9月オープンキャンパスワークショップ	2016. 9. 24	彫刻講座「木の壁掛けをつくらう」
名古屋芸術大学第27回公開講座	2016. 9～12	講座名「木彫を楽しむ part XVIII」8回開講
東邦高校ワークショップ	2017. 2. 7	講座名「木で壁掛けレリーフをつくる」

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 木彫による造形研究 2015 クロッキー&ドローイング	単著	2017. 3発行	名古屋芸術大学研究紀要第38巻 別冊（作品集）	岩井義尚が平成27年度（2015年度）に制作した木彫作品と様々な描画材でのクロッキーとペン画によるドローイング作品集
◎その他 【企画と展示指導】 ちゅうしんアートギャラリー 第20回目		2016. 4	中日信用金庫名古屋支店 ちゅうしんアートギャラリー	作品セレクト及び展示計画・指導
木彫を楽しむpartXVII 作品展		2016. 5. 1～5. 8	北名古屋市文化勤労会館 1F 展示室	名古屋芸術大学第26回公開講座「木彫を楽しむ part XVII」においての授業成果の作品展の企画
ちゅうしんアートギャラリー 第21回目		2016. 10	中日信用金庫名古屋支店 ちゅうしんアートギャラリー	作品セレクト及び展示計画・指導
【作品展示指導】 「Art of 20歩」クロッキー&デッサン 作品展		2016. 12. 4	北名古屋市文化勤労会館 1Fエントランス・展示室	名古屋芸術大学公開講座からのサークル「Art of 20歩」の作品展示指導

【審査】 第43回 岩倉市美術展		2016. 11. 2	岩倉市総合体育文化センター アリーナ	岩倉市美術展、彫刻・工芸部門の審査（展示計画） 会期：11. 3-6 委嘱出品；Form 1604
【審査と展示指導】 第39回 中部二元会展		2017. 3. 13 会期 3. 14～3. 20	愛知県立美術館 8F ギャラリー-G2・H・I室	絵画及び立体作品審査と立体作品展示指導
【作品制作】 Form 1507	単	2016. 4～10	ちゅうしんアートギャラリー りー第20回目 中日信用金庫名古屋支店	組木によるレリーフ H55×W25×D7 (cm) クス+ケヤキ+イチイ
Form 1509	単	〃	〃	組木によるレリーフ H20×W41×D5 (cm) クワ+サクラ+イチイ
2015.9.03	単	〃	〃	ペン画によるドローイング 八つサイズ
Form 1602	単	2016. 5. 1～ 5. 8	木彫を楽しむ part XVII 作品展 北名古屋市文化勤労会館 1F 展示室	木彫 H78×D68×D50 (cm) チーク+クス
Form 1603	単	〃	〃	木彫 H40×D44×D24 (cm) ケヤキ
Form 1604	単	2016. 10. 4 ～10. 9	中部二元会研究展 名古屋市民ギャラリー栄	木彫 H45×W45×D25 (cm) イチイ+ケヤキ
2016.5.15	単	〃	〃	クロッキー
2016.8.13	単	〃	〃	クロッキー
2015.9.22	単	2016. 10～ 2017. 4	ちゅうしんアートギャラリー りー第21回目 中日信用金庫名古屋支店	ペン画によるドローイング
2015.10.12	単	〃	〃	ペン画によるドローイング
2015.12.26	単	〃	〃	ペン画によるドローイング
2016.1.21	単	〃	〃	ペン画によるドローイング
2016.2.12	単	〃	〃	ペン画によるドローイング 他 旧作木彫レリーフ1点 テラコッタ1点
2016.1.21	単	2016. 12. 4 ～12. 10	「Art of 20歩」クロッキー &デッサン2016作品展 北名古屋市文化勤労会館 1Fエントランス・展示室	クロッキー
2017.2～3	単	〃	〃	ドローイング6枚（F3サイズ）
Form 1701	単	2017. 3. 14 ～3. 20	第39回 中部二元会展 愛知県立美術館 8F ギャラリー-G2・H・I室	木彫 H180×D195×D205 (cm) ケヤキ+ヒメコマツ+イチイ他



Form 1702	単	〃	〃	木彫 H142×D227×D84 (cm) ヒメコマツ+ケヤキ+クス+イチイ 他 旧作1点
-----------	---	---	---	---

教授 三枝 優

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	現在のカリキュラムが充分時間をかけて研究、制作するのが難しくなっている。いかに集中して取り組めるように指導するかが重要である。 授業外での取り組みとして、展覧会を見る機会を持つ事、公募展への挑戦など勧めている。
◎作成した教科書・教材	2016. 4～2017. 3	各学年のカリキュラムと課題説明のためのプリント作成。 参考とするために、作品集を紹介。 学生の制作した参考作品の提示。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2016年度	学生による授業評価結果は、おおむね良いと考える。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
展覧会企画	①2016. 8 ②2016. 12 ③2017. 3	尾張旭市立スカイワードあさひ4Fギャラリーでの展覧会企画を依頼され実行している。 2016年度は3件実施。
守山美術振興会	2016. 5	会員として美術活動の促進とその文化を広めるため、展覧会へも参加。
愛知芸術文化協会	2016年度	協会会員として、県内の芸術分野の会員による情報交換を通じて、芸術文化の活性化をはかる。
北名古屋市 男女共同参画	2016. 4～2017. 3	北名古屋市から相談員委嘱。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 「童」 石膏着色 首像		2016. 4. 19 ～4. 30 2016. 5. 31 ～6. 5	第46回 日彫展 第46回 東海日彫展	東京都美術館 愛知芸術文化センター
「Boss.2」 テラコッタ作品		2016. 5. 13 ～5. 16	守山美術振興展	守山区役所講堂 特設会場（美術振興会会員による展覧会）
「眠」 テラコッタ作品		2016. 6. 10 ～6. 15	名古屋芸術大学 教員作品展	名古屋芸術大学 Art & Design Center
「Boss.1」 テラコッタ作品		2016. 11. 22 ～11. 27	尾張旭市 芸術祭（彫刻・工芸部門）	尾張旭市文化会館 ギャラリー

「CHOPINのふるさとから」 「オウム」 「torso」 テラコッタ作品 3点	2016. 12. 4 ～12. 18	Groupe14e展	尾張旭市 スカイワードあさひ4F ギャラリーあさひ
「オウム」 テラコッタ作品	2017. 2. 8～ 2. 12	アートクリエイターコース 「レビュー2017展」	名古屋市民ギャラリー矢田

教授 高橋 綾子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		学芸員資格取得希望者が受講する授業「博物館概論」「博物館情報・メディア論」「博物館経営論」では、パワーポイントを用いた授業スタイルで、要点を明示し、実例の画像や映像も適宜示している。 演習事業ではグループワークでの討議や、発表形式を取り入れている。 美術文化クラスでの演習授業では、実際に展覧会を実施し、印刷媒体の制作を導入している。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎著書				2002年に創刊した芸術批評誌『REAR（リア）』において企画編集、執筆、制作を継続的に行っている。現代における芸術に対して、批評・ドキュメントを介して多様な視座を生み出すことを目的とした雑誌を有志で創刊、以来すべての編集企画作業を遂行している。
芸術批評誌『REAR』37号	共著	2016. 6. 25	リア制作室	37号の特集は「詩歌句のしかく」 「コトバという函をめぐって 対談：野口あや子×天野天街」はじめとした全編編集
芸術批評誌『REAR』38号	共著	2016. 11. 20	リア制作室	38号の特集は「障害と創造—当事者として向きあうために—」 「障害と創造をめぐって 対談：立岩真也×広瀬浩二郎」のまとめ等全編編集
◎批評誌記名執筆 インタビュー&レポート ポパイとたけしを訪ねて— 認定NPO法人ポパイ（名古屋）と認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ（浜松）の挑戦—	単著	2016. 11. 20	リア制作室 芸術批評誌『REAR』38号	中部圏の特色ある障害者福祉施設（NPO法人）を取材してその意義を考察した記事を執筆。
◎寄稿記事執筆 「闇に触れる—岡部昌生ノヒカリー—」	単著	2016. 5	せりか書房	岡部昌生の伊江島のフロッタージュ作品を核とした作家論を執筆。 (入稿はしたが、出版が延期)

「人間と物質のあいだ」の向こう側」	単著	2016. 7	名古屋画廊	名古屋画廊での庄司達（造形作家）の新作個展に寄せて、案内DMに小文を寄稿。
「残波岬へ一時の襲を見渡してー」	単著	2016. 8	七ツ寺共同スタジオ あいちトリエンナーレ2016特別連携事業「往還Ⅱー原初の岬からー」広報誌二	沖縄の作家、崎山多美さんの「ホタラ余滴」の朗読劇に際しての広報誌への寄稿。沖縄戦を描いた丸木位里・俊夫妻の三部作「チビチリガマ」「シムクガマ」そして「残波大獅子」に触れて、当事者と非当事者（旅人）の意識に言及。
◎コラム執筆 「伊江島「ヌチドゥタカラの家」」	単著	2016. 4. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 406（5月号）	伊江島の戦跡を廻る旅をレポート。特に「沖縄のガンジー」と呼ばれた阿波根昌鴻と反戦平和資料館「ヌチドゥタカラの家」について紹介。
「没後40年 高島野十郎 光と闇、魂の軌跡」		2016. 5. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 407（6月号）	福岡県立美術館で開催中の高島野十郎の回顧展を紹介。圧巻だった暗い壁面に並ぶ「月」と「蠟燭」のシリーズに、「寫実の極致」が得心できる展観だと言及。
「良寛さん」		2016. 6. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 408（7月号）	新潟の出雲崎にある「良寛記念館」を紹介、安田鞆彦が贈ったという作者不詳の小さな乾漆像に触れた。
「無視覚流鑑賞の極意」		2016. 7. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 409（8月号）	兵庫県立美術館による「美術の中のかたちー手で見える造形」展を紹介。全盲の文化人類学者・広瀬浩二郎さんのプロデュースで「つなが×つつむ×つかむ：無視覚流鑑賞の極意」と題された企画の意義を記述。
「夏焼トンネル」		2016. 8. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 410（9月号）	「あいちトリエンナーレ2016」参加の岡部昌生さんの新作制作のレポート。天竜川沿いの愛知県豊根村と静岡県水窪町の境界に位置する「夏焼（なつやけ）第二隧道」でのプロタージュを紹介。
「トヨタ鞍ヶ池記念館」		2016. 9. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 411（10月号）	トヨタ鞍ヶ池記念館を紹介、「紡織機から自動車へ」と向けられた情熱と先見性を示す創業展示室の見応えに、「ラジオラマ」と呼ばれる1/30縮尺の模型に触れた。
「エコミュージアムおさしまセンター BIKKYアトリエ3モア」		2016. 10. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 412（11月号）	北海道音威子府の砂澤ビッキの旧アトリエを再生した「エコミュージアムおさしまセンター」を紹介。ビッキの墓でもある木についても言及。
「THE PLAY since 1967 まだ見ぬ流れの彼方へ」		2016. 11. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 413（12月号）	国立国際美術館でのTHE PLAY初の回顧展を紹介。《La Seine 現代美術の流れ》を目撃する縁を得たことや、記録の位置づけにも言及。
「遅咲きレボリューション！」		2017. 12. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 414（1月号）	広島県福山市にあるアートのスペース「クシノテラス」での企画展を紹介。糸井貫二さんことダダカンによる貴重な日記や、秘儀の映像に触れた。

「追悼特別展 高倉健」	2017. 1. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 415（2月号）	東京ステーションギャラリーでの「追悼特別展 高倉健」を紹介。映画俳優の展覧会における映像展示について言及。
「室伏鴻アーカイブカフェ “Shy”」		ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 416（3月号）	舞踏家・室伏鴻の資料を公開している早稲田にあるアーカイブカフェ “Shy” を紹介。その尽力とアーカイブの意義に言及。
「パロディ、二重の声 —日本の一九七〇年代前後 左右—」	2017. 3. 11	ナゴヤシネアスト 名古屋シネマテーク通信 no. 417（4月号）	東京ステーションギャラリーでの70年代のパロディ展を紹介。名古屋の「ぶろだくしょん 我S」と、伊丹十三が制作出演した画期的なテレビ番組に触れた。
◎インタビュー記事 あいちトリエンナーレの独自性	2016. 10 (8. 17取材)	同人誌『C&D』 特集	あいちトリエンナーレ開催前に、その見どころや中部の芸術における期待等の質問をうけて、インタビュー記事として掲載。
◎シンポジウム発表 シンポジウム「言葉の記録 日本現代美術のオーラル・ ヒストリー—80年代後半から 90年代前半の名古屋の アートシーンをめぐって—」	2016. 8. 21	あいちトリエンナーレ 名古屋市美術館講堂	東京大学の加治屋健司さん、造形作家の庄司達さん、愛知県美術館館長の鳥谷彦さんとのシンポジウム。進行役を担いつつ、庄司さんの関連年表を作成して配布した。
◎レクチャー 特別講演会「庄司 達 空間 と造形」	2016. 9. 4	アート倶楽部 カルチュ・ ラタン	名古屋画廊で開催中の「庄司 達」展に関連して、その空間と造形の軌跡を70年代から現在にいたるまでを解説。
◎社会活動：委員	2002～ 2008～ 2011～ 2013～2016 2014～ 2015～ 2016～	名古屋市土木部堀川整備調整委員 かすがい文化振興財団評議委員／豊田市美術館運営協議会委員 岐阜市屋外広告物審議会委員 春日井市文芸館ギャラリー利用調整会議委員 岐阜県現代陶芸美術館プロポーザル審査会委員 岐阜県美術館プロポーザル審査会委員／新岐阜県美術展（AAIC）企画委員／（仮称）津市久居ホール設計業務及び管理運営計画策定業務プロポーザル方式審査委員 名古屋市美術館運営協議会委員／豊田市教育行政会議委員	

教授 西村 正幸

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 『版の方法論50×50=75』展		2016. 7. 15 ～27	名古屋芸術大学 Art & Design Center	50×50cmの版画（木版画、スクリーンプリント）1点出品。姉妹校のキングモンクット工科大学（KMITL）とプライトン大学（UoB）との国際交流展を、本学ADセンター企画として実施。まずは、KMITLとUoBの教員たちが本学に来校し、ワークショップ、シンポジウム「教育機関にとっての版画教育のこれから」なども実施。

『版の方法論50×50=75』展	2016. 8. 26 ～30	キングモンクット工科大学 学内ギャラリー	KMITLとUoBの教員が集まり、盛大なオープニング・レセプションや今後の交流のことなどについても話し合う場を持つ。
『K-109展:名古屋芸術大学版画研究室』展	2017. 2. 8～ 12	名古屋市民ギャラリー矢田	版画コース開設前から35年近く続いている本学版画コース学生・教職員による版画展。
アートクリエイターコース、 レビュー2016	2017. 2. 8～ 12	名古屋市民ギャラリー矢田	アートクリエイターコース開設以来、毎年開催している1～3年の一年間の成果を披露する展覧会。教職員も出品。
『版の方法論50×50=75』展	2017. 3. 14 ～4. 20	ブライトン大学 学内ギャラリー	KMITLとUoBとの3大学交流巡回展の最終展示。3大学の教員、OB、学生75名分の50×50cmの版画を各作家3部ずつ提供し、各大学に1セットずつ桐箱に入った版画集が所蔵された。
◎企画した展覧会、他 2016年度ファン・デ・なごや 美術展審査委員	2016	名古屋市文化振興事業団	2016年度入賞者3組を選出、約1年後の展覧会までに、何度かプレゼンテーションを受け、展覧会実施まで関わる。審査委員は愛知県芸大、名古屋造形大、本学から1名ずつ選出され、委員長は山脇一夫氏。
『高木志保展』の企画	2016. 3. 24 ～11. 24	清須市図書館量ギャラリー	清須市図書館と本学アートクリエイターコースによる継続的な関学連携事業。直前の卒業制作の一部を組み替えて展示。作者が制作に関連した図書を紹介し、図書館を訪れた子どもたちが図書にも興味を持つように関連づけている。
『高校生のチカラ—芸術への招待—』展の企画	2016. 5. 6～ 11	名古屋芸術大学 Art & Design Center	尾張地区の高校美術部を対象に、美術学部出前サポート事業として、展覧会とワークショップを開催。ワークショップはファン・デ・なごや美術展2016で「家をはがす」プロジェクトを行った版画の非常勤講師阿部大介先生に「名古屋芸大をはがす」ワークショップを依頼。ADセンターに展示した高校生の作品を学部・院生が講評する。
ワークショップ 『名古屋芸大をはがす』の 企画	2016. 5. 7、 8	西キャンパス	
高校生作品講評会の企画	2016. 5. 8	名古屋芸術大学 Art & Design Center スタジオ	
『peace nine 2016』展の企画	2016. 5. 13 ～18	名古屋芸術大学 Art & Design Center	5.14(土)に特別講座『アートで平和について考えよう』(Eテレ『沖繩でコルヴィッツに出会う』上映) 5.16(月)に平和についての学習会でリサ・モリモト監督の『特攻』上映。
『アートクリエイターコースのコレクション』展の企画	2016. 5. 13 ～18	名古屋芸術大学 Art & Design Center	アートクリエイターコースの卒展買上作品や、海外からアーティスト・イン・レジデンスのため来日した作家の購入作品などを展示し、学生たちへの刺激とする企画。

『FROM DENMARK 2016: Marianne Thingholm、Julie Bach、鈴木恵実、竹内麻』展の企画	2016. 6. 3～8	名古屋芸術大学 Art & Design Center	デンマークのグルステッド村との交流で隔年ごとに開催している交流プロジェクト。今回はMarianne ThingholmとJulie Bachの2名が来日し、7月にデンマークに招待される本学卒業生作家鈴木恵実、竹内麻が加わり、公開制作と展覧会を開催。
キングモンクット工科大学 教員によるワークショップ 「リトグラフ」の企画	2016. 7. 16	西キャンパス K104リトグラフ工房	「版の方法論50×50=75」展関連行事。
本学による高校生対象 ワークショップ「モノプリ ントとドライポイント」の 企画	2016. 7. 17	西キャンパス K103エッチング工房	オープンキャンパスのワークショップとして開催。
本学によるワークショップ 「紙すき」の企画	2016. 7. 19	西キャンパス 紙すき工房	ブライトン大学教員や留学生も参加した日本ならではのワークショップ。
ブライトン大学教員による ワークショップ「エッチン グ」の企画	2016. 7. 20	西キャンパス K103エッチング工房	ブライトン大学教員によるエッチングのワークショップ
高校生向けワークショップ 「リトグラフ」「紙すき」の 企画	2016. 7. 25	西キャンパス K104、紙すき工房	版画コース担当で高校生向けに開講した「リトグラフ」と「紙すき」のワークショップ
『わんぱく制作隊』の企画	2016. 8. 23	上飯田児童館	小学生向けのオブジェ作りなどのワークショップ
オープンカレッジin飛騨 『芸術と癒しⅡ』全7回の 企画	2016. 9. 3～ 12. 4	飛騨・世界生活文化セン ター	第1回：西村正幸、第2回：森裕介（臨床美術）、第3回：荒木紀江（日本画）、第4回：伊藤孝子（音楽療法）、第5回：渡邊正（緩和ケア医、東海中央病院名誉院長）、第6回：駒井貞治（建築）、第7回：新實広記（ガラス）
オープンカレッジin飛騨 『芸術と癒しⅡ』第1回 「身近なキャラクターと 音楽から」の講師	2016. 9. 3	飛騨・世界生活文化セン ター	第1回目は西村自身のレクチャー。
クリエ幼稚園年長園児 『造形クラス』ワークショッ プの企画と講師	2016. 9. 6～ 9	西キャンパス (K103, K104, G202, 紙すき工房)	1999年より毎年継続して実施している附属クリエ幼稚園年長園児向けの恒例のワークショップ。
清須市はるひ美術館 『ゲイタイでリトグラフ体 験』の企画と講師	2016. 8. 6	西キャンパスK104	はるひ美術館の夏の企画展「アルフォンス・ミュシャ デザインの仕事」展にあわせて、親子で多色刷りリトグラフを制作。

<p>バンドーラ制作 ワークショップのサポート</p>	<p>2016. 8. 8～ 12</p>	<p>木祖村こだまの森</p>	<p>窓口：木祖村役場商工観光課 主催：NPO法人木曾ユネスコ協会 協賛：木祖村、木曾観光連盟、日野製菓、他 東日本大震災の被災地の小学生約20名を木祖村に招き、中澤準一さん（元小学校教諭の彫刻家）の指導のもと楽器バンドーラを制作。（震災以降毎年開催） 学生が木祖セミナーハウスに宿泊し、アシスタントを行う。セミナーハウス閉鎖で実施が危ぶまれている。（2017年度は中止） 学生6名がワークショップ・アシスタントとして参加。</p>
<p>清須キッズ・アトラボ 『紙版画をつくろう』の企画と講師</p> <p>こどもお絵かきコンテスト 2016の講師</p>	<p>2016. 9. 10</p> <p>2016. 10. 8</p>	<p>西キャンパスK103</p>	<p>清須市在住の小学4年生対象の毎年恒例のワークショップ</p> <p>ファーバーカステルの水性色鉛筆の普及目的で、代理店シャチハタと企画のピアズとアートクリエイターコースの連携事業。お絵かき教室は学生たちが担当。Net上での審査は西村担当。</p>
<p>Project “The Kunsthalle and the Villages” 《Word and Picture— Japanese (Kanji, Katakana, Hiragana) + Picture + Denish》</p>	<p>2016. 10. 9 ～16</p>	<p>Bråskovgård Efterskole, Denmark</p>	<p>本学から西村と助手、学生ら6名が招かれ、デンマークのプロスコにある農業学校（寄宿学校）の生徒120名に「平和」をテーマに木の家を作るワークショップを実施。初日にホールで生徒たちと教師たちに向けて「Memories I did not know “Word and Picture”—Japanese (Kanji, Katakana, Hiragana) + Picture + Denish」をテーマに講義を実施した後、書道、造形のワークショップを経て20個近い木の家の作品をグループ制作し、敷地内に設置。本企画は、“Aarhus is European Capital of Culture in 2017”のofficial programで、2017年度の日本～デンマーク国交150年プレ企画として、プロジェクト・マネージャーのSteen Rasmussen（造形作家）より招聘される。第24回EU・ジャパンフェスト公式報告書（pp. 160-161）に掲載される。</p>
<p>『幼稚園児たちのゲイジツ』 展の企画</p>	<p>2016. 11. 4 ～9</p>	<p>名古屋芸術大学 Art &amp; Design Center</p>	<p>9月に版画工房等で実施したワークショップで制作したクリエイティブ幼稚園年長園児たちの版画などを展示。</p>
<p>『Handospeace: 医療と美術』展の企画</p>	<p>2016. 11. 4 ～9</p>	<p>名古屋芸術大学 Art &amp; Design Center</p>	<p>アートクリエイターコース3年生の「医療と美術」でホスピス・緩和ケア病棟の患者さんのために制作した作品や提案を展示する毎年恒例の展覧会。</p>
<p>『旧加藤邸アートプロジェクト2016《記憶の庭で遊ぶ》』展の企画</p>	<p>2016. 11. 12 ～20</p>	<p>旧加藤家住宅</p>	<p>毎年恒例の北名古屋市にある文化財「旧加藤家住宅」で開催する本学4学部の学生・教員が関わる展覧会と音楽パフォーマンス。</p>

『版の神髄：マルメと名古屋から』展の企画	2016. 11. 18 ～23	名古屋芸術大学 Art & Design Center	スウェーデンのマルメにある版画工房との交流をスタート。本学の版画作家（教職員）2名を派遣し、スウェーデンから2名を招聘し、版画の公開制作やレクチャー、展覧会を開催。
『木下千穂展』の企画	2016. 11. 24 ～2017. 7. 26	清須市図書館畳ギャラリー	彫刻クラス3年木下千穂のソフトスカルプチャーを展示。
北欧のクリスマス・リース作り 親子ワークショップ	2016. 12. 3	上飯田児童館	上飯田児童館の利用者親子を対象としたワークショップを依頼され、10月にデンマークの寄宿学校でのワークショップに出かけた際に仕入れた北欧の螺旋型クリスマス・オーナメントを作るワークショップを実施。
2017年度ファン・デ・なごや美術展審査委員	2017	名古屋市文化振興事業団	2017年度入賞者3組を選出、今年12月の展覧会までに、何度かプレゼンテーションを受け、展覧会実施まで関わる。審査委員は愛知県芸大、名古屋造形大、名古屋学芸大、本学から1名ずつ選出され、4月より西村が委員長を務める。

教授 萩原 清作

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 1年生美術実技1-5、彫刻集中、骸骨（頭部）を利用した頭像の制作	2017. 4～7 8月（集中）	彫刻を構成している要素（量、塊、面、質 等）の内、特に「形の組立」について理解させるための指導法。
◎作成した教科書・教材 ・清水多嘉示、資料、論集Ⅰ（武蔵野美大彫刻研究室による） ・DVD ミケランジェロ（彫刻家） ベルニーニ（彫刻家）		彫刻とは何か、又彫刻の本質とは何かを理解させ、表現させるため。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
名古屋芸大教員作品展	2016. 6. 10～15 名古屋芸術大学 Art & Design Center	裸婦クロッキー 1点
アートクリエイターコース レビュー展	2017. 2. 8～12 名古屋市民ギャラリー矢田	裸婦小像 1点



准教授 松岡 徹

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 レビュー展、k109展での作品展示	2009～ 毎年開催	学生たちの一年の成果として名古屋市市民ギャラリー矢田において、制作された作品を学内ではなく、一般の方に見ていただき意見を聞き、今後の糧とする。
アニメーションのWeb公開	2012～ 毎年公開	学生の制作したアニメーションをYoutube等で期間限定で作品を公開することで見せる意識も育てる。
◎作成した教科書・教材 名古屋ギャラリーマップ	毎年制作し、学生に配布	学生が積極的に美術作品に触れるために名古屋近郊の主だった画廊、ギャラリーの場所等を記載した地図ガイドを制作
◎その他 クリエイ幼稚園のワークショップ	2002～ 毎年開催 9月の第1週	幼児に大学でしか体験できない制作をするのが目的ではあるが、その指導を通して学生たちに作品を作る喜びや作ることの意義について考える。
誠信高校の卒業サプライズで壁面を飾り付け	2017. 3. 1	高校からの依頼で卒業サプライズで高校の壁の飾り付けの制作を行い、卒業式前日に設置しました。高校からの要望を聞き、できるだけ高校生が喜んでくれるように制作した。
その他ワークショップ、多数		

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
展覧会 「美術三湯芸術温度」		2016. 3. 20 ～6. 30	岡山東部の美術三湯（湯郷温泉・奥津温泉・湯原温泉）	岡山東部湯原温泉の温泉宿等22カ所に、県内外の作家16名が作品を制作・展示
個展 紙のお仕事/松岡徹展		2016. 5. 7～ 6. 5	織部亭（一宮市・愛知）	立体作品を展示 11時～16時/火曜定休 初日18時よりオープニングパーティ 19時よりアーティストトーク
個展 『佐久島のお庭と王様のイスと北のテーブル』		2016. 10. 1 ～11. 30	愛知県西尾市佐久島	野外 パーマネント作品 ・大島『佐久島のお庭』（東渡船場下船徒歩10分） ・ひだまりの広場『王様のイス』（東渡船場下船徒歩25分） ・『北のテーブル』（ひだまりの広場から西へ徒歩5分）
ワークショップ 「うれしい顔をみんなで作ろう！」		2016. 11. 19	岡崎市図書館交流プラザリブラ2階創作室	岡崎市図書館交流プラザ自主事業「Libraあかりワークショップ」毎年開催
グループ展 「あいちからの発信/発進—あいちから世界へ—」		2016. 10. 4 ～10	名古屋市民ギャラリー矢田第1展示室	名古屋市内のギャラリーを中心にそれぞれのギャラリーから作家を選出し、作品展示 ◆シンポジウム あいちから世界へ—いま何を発進すべきか— 日時：10月9日 14：00～17：00
個展 松岡徹展 モノタマシキ		2016. 10. 26 ～11. 20	ギャラリーAPA	立体作品を展示 11：00～19：00 月曜定休

個展 松岡徹展 trayectoria—軌跡—	2016. 11. 9 ～11. 18	名古屋芸術大学G棟102教室	立体作品を展示 12：30～17：00 ※13(日)は休館日
グループ展 「美つくりの里 旅するアート『現代アートin津山の城』」	2016. 11. 12 ～11. 23	津山城跡（鶴山公園）/津山文化センター・岡山區	津山城跡で行われた野外展 紅葉祭に合わせて行われた。2015年度に引き続き出品
ワークショップ 紙貼りランプ制作1	2016. 11. 25	三重県立特別支援学校玉城わかば学園	高等部1年 普通コース 生徒45名による 紙貼りランプ 10：35-12：25
ステンドグラス制作	2016. 12. 8	三重県立特別支援学校西日野にじ学園	高等部1年 生徒46名による 10：00～14：45
紙貼りランプ制作2	2016. 12. 9	三重県立特別支援学校玉城わかば学園	高等部1年 普通コース 生徒45名による 紙貼りランプ 10：35～12：25
展覧会 玉城わかば学園 西日野にじ学園 ワークショップ成果展示	2017. 2. 14 ～3. 12	三重県立美術館	三重県立美術館からの依頼で、特別支援学校内外の交流を促進し、生徒の自尊感情を向上させたりするために、「アートでつなぐ・特別支援学校と地域との連携事業」の一環としてワークショップを行った。学生たちに手伝いをお願いした。
グループ展 「レヴェー。」 「K109展」	2017. 2. 8～ 12	名古屋市民ギャラリー矢田	学生、教員と作品展示 10：00～19：00 ※最終日17：00まで

## 芸術学部 芸術学科 デザイン領域

教授 扇 千花

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎教育方法の実践例 デザイン演習Ⅱ-2 産業テキスタイル</p>	2016. 4～7	<p>大学近郊のテキスタイル関連工場の見学や、デザイナーによるレクチャーの聴講から、持続が難しくなっているテキスタイル産地の問題点を知り、デザインの力によって産地を活性化するにはどうすれば良いかを考察する。</p> <p>名古屋帽子：名古屋帽子協同組合からの依頼で、9月に行われる「尾張名古屋の職人展」帽子ファッションショーに出品する帽子のデザインと布の作成を行い、ファッションショーには学生が自作を被って出演し、名古屋帽子を市民にアピールする。</p>
<p>デザイン実技Ⅲ-3 産学連携有松絞り産地・名古屋帽子</p>	2016. 9～2017. 1	<p>産業テキスタイルの授業に引き続き、テキスタイル産地の活性化を実技を伴って考察する。</p> <p>有松絞り産地：次年度6月に行われる有松絞りまつりに向けて、産地で学生自身がデザイン～生産～販売までを一貫して体験する。販売ではエンドユーザーと交流することから自分の商品についての意見を聞き、デザイン力の向上を目指す。</p> <p>名古屋帽子：「着物に似合う帽子」をデザイン、工場で生産、SOU・SOU若林剛之氏による講評を受け、最終的にはSOU・SOUでの商品化を目指す。</p>
<p>◎作成した教科書・教材 デザイン演習Ⅱ-2 産業テキスタイル</p>		<p>学生が産業テキスタイルの専門家の話を聞き、産業の現場に身を置くこと自体を教材とする。</p> <p>林八百吉(株)デザイナー 松井朱美氏 瀧定名古屋(株)デザイナー 木佛寺望氏 ファッションキュレーター 宮浦晋哉氏 帽子工場 (有)森安、(株)ワールドハット 名古屋帽子協同組合 有松・鳴海絞り会館 有松絞り工場 (株)張正、(有)久野染工場 尾州工場 岩正毛織 (有)カナレ テキスタイル・マテリアルセンター</p>
<p>・デザイン実技Ⅲ-3 産学連携有松絞り産地・名古屋帽子</p>		<p>学生が書いた指示書をもとに、工場で専門家とのやりとり自体を教材とする。</p>
<p>◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価</p>		<p>有松絞り「エンドユーザーに直接販売することで、自分の制作の実感が得られ、意見が役に立った。」学生による授業評価結果</p> <p>名古屋帽子協同組合との取り組みは5年目となり、「お互いの歩み寄りにより、より良く継続している」との評価があった。「着物に似合う帽子」では、16点中1点が商品化決定。このプロジェクトで5点目の商品化となる。</p>

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
Artist in residence		2016. 9. 1～ 13	オーストラリア ウーロン ゴン大学	ウーロンゴン大学テキスタイルコースから招聘され、大学ギャラリーでの作品展示とギャラリートーク、レクチャーを行う。
個展 “many little things”		2016. 9. 7～ 13	オーストラリア ウーロン ゴン大学	枕草子 第144章「うつくしきもの」から着想を得た作品。日本の文化では小さいものをかわいと感じる感受性が平安時代からあり、その感覚をインスタレーション作品で表現した。
レクチャー “Exploring Traditional Textiles for Innovation”		2016. 9. 7	オーストラリア ウーロン ゴン大学	私の作品は、伝統的な紙漉きの技術・素材・文化を現代的に解釈し直し、テキスタイルアートに形式にあてはめたものである。また私は名古屋芸術大学で、大学近郊の伝統的テキスタイルの産地での活性化プロジェクトを進めている。 テキスタイルアートと産地活性化プロジェクト。それは一見違った活動のように見えるかもしれない。しかしそれは、「伝統を現代に生かす」というひとつの考えに基づいている。もともと伝統技術は発明されたときは当時の最新技術だった。それらは人々の生活の中から生み出され、育まれ、伝えられてきた。しかし、現代生活の中ではその価値を失い、消え去ったものも少なくない。時代が変わり、それを失うことは人類の文化損失であり、一度消え去った伝統技術を復興するのは容易ではない。伝統的紙漉き技法を使った現代的なテキスタイルアートを作ることは革新であり、伝統テキスタイルを現代生活に合うように変えて、地域を活性化することもまた革新である。 ここでは手工芸である日本伝統のテキスタイル技法、素材、文化を、現代の視点から解釈し直そうとするチャレンジを示した。伝統を持続しようとするとき、それをそのまま守るのではなく、時代に合わせてイノベーションすることによって、新しい価値を生み出すことが出来るのである。

教授 萩原 雄一

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	漱石文学の解析において、まったく新しい視点と構図を使って全作品の全解釈に挑み、学会を騒然とさせた論文について、DVDなどビジュアルなマルチメディア機器を使用して解りやすく講義した。
◎作成した教科書・教材		以上の論文が学会・社会でどう評価されているかを10社以上の新聞の書評をコピーして配った。また自身が「愛媛新聞」に寄稿した漱石に関する新発見の記事もコピーして配布した。

◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		どう評価されているかは直接言われた覚えがないから、不明だ。ただこの法人に就職したときには、「近代文学の研究者」としての評価である。それが今「教養」「全学共通科目」を担当するときに活かしている。しかし、平成29年度から「文芸・ライティングコース」も受け持つが、文芸で採用されたわけではないので、大学の評価、つまり内部評価がどうなのか心配である。
-----------------------	--	---

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎著書 映画で描かれた三島由紀夫、その実像と虚像 憂國	単著	2016. 7. 25	衝撃の「実録映画」大全 (洋泉社)	『憂國』『Mishima : A Life In Four Chapters』『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』の3本の映画を取り上げて、三島由紀夫ワールドの本質に迫った。本のトりに収められた。

教授 片岡 祐司

教育上の能力に関する事項	年月日	概要
◎教育方法の実践例	2016年度	<p>・産学プロジェクトを授業に取り込み、プロの現場目線でデザイン教育</p> <p>1) トヨタ車体株式会社からの受託研究。トヨタ車体の生産する小型モビリティをテーマとし、IDコースの2年生、3年生が実技および演習授業の中で開発し、これに教員および、現職のデザイナーがアドバイスをを行うことによりデザインレベルを高めた。共同研究者：高次教授</p> <p>2) ナガサキ工業株式会社（アイアンラボブランド）受託研究。同社で生産することを前提とした金属素材を用いた家庭用品および雑貨デザインの提案。デザイン案はIDコースの4年生が実技授業の中で開発し、これに教員および、研究員がアドバイスをを行うことによりデザインレベルを高めた。これにより開発された作品のうち優秀なものは商品化され実際に販売されている。共同研究者：小塚講師</p> <p>3) つばめタクシー受託研究『次世代タクシー』を実技Ⅳの授業内で学生と開発した。デザイン開発プロジェクトは、トヨタ自動車からのコンセプトデザイン車両『JPN TAXI』をベースとして、ユーザーの視点、タクシー会社の視点などからタクシーを取り巻く環境を調査、分析することにより新たなコンセプトを導き出し、外装および内装のデザインを提案した。作品はIDコースの学生が実技授業の中で開発し、コンペ形式にてつばめ自動車会社に対しプレゼンテーションした。共同研究者：三枝樹講師</p>
	2016. 11. 17	<p>・クレイモデルについての特別講義 マツダ株式会社のクレイモデラーにデザインと文化における特別講義を依頼。特に低学年に向けて立体をデザインすること、進路のひとつとしてのクレイモデラーという職業について講義を行った。</p>

2016. 9. 29	<p>・学外授業での自動車博物館見学、講義 自動車およびカーデザインの歴史を学ぶためトヨタ博物館を見学、博物館内で過去の名車をスケッチすることによりその成り立ち、構成を研究した。さらに博物館館長に特別講義を受け、自動車の初期モデルの実走見学を行った。</p>
2016. 7. 8	<p>・カラーデザイン特別講義 マツダ株式会社のカラーデザイナーに製品企画論Aでの特別講義を依頼、企業におけるカラーデザインの仕事について紹介した。特にテキストイル、ヴィジュアルの分野についての講義まで範囲を広げ、進路のひとつとしてのカラーデザイナーという職業について説明した。</p>
2016. 11. 3 (トヨタ車体) 2017. 1. 20 (マツダ)	<p>・プロデザイナーによるデジタルスケッチ特別講義（2回開講） カーメーカーのスケッチ開発はデジタル化しつつあるが、学内では最先端のテクニックに触れることができないため、トヨタ車体、マツダ株式会社の現役デザイナーによる、デジタルスケッチについて最新のテクニックの指導を実施した。</p>
2016. 10. 13	<p>・プロデザイナーによるレンダリング特別講義 トヨタ車体デザイナーによる手描きスケッチ、レンダリングの特別講義を開催、実際の現場で描かれるスケッチのプロセス、テクニックを学んだ。</p>
2016. 9. 29	<p>・学外授業での工場見学、デザインスタジオ見学 トヨタ車体の工場およびデザインセンターを見学し現場の生産方法を学びながらデザインを研究、デザインの現場も見学し開発プロセスやその環境を知った。これにより進路選択の参考にもした。</p>
随時	<p>・キャリア支援のための企業説明会 カーデザインコースに向けて自動車メーカー、自動車部品、デザイン開発支援会社などに実技授業と連携するかたちで会社説明会を依頼、同時にデザイン開発についての講義を依頼し、キャリア支援と現場でのデザインプロセスを学ぶ機会とした。平成28年度はトヨタ自動車、マツダ株式会社、本田技術研究所、三菱自動車、ダイハツ、スバル、林テレンプなど10社ほどが実施した。また、ほとんどの企業がインターンシップも開催しているためこの参加も促進した。</p>
2016年度	<p>・インターンシップ、インターンシップ演習 企業等において一定期間実務を体験することを通じて、職業的スキルを身につけるとともに、社会人として働くことの意義を感じ取り、将来の職業選択や職業意識の育成に役立てる目的で平成22年より前後期に開講。授業としては実習に加えて、実習前の事前授業と実習後のフォローアップ授業を行ない、事前授業では、志望する業種・職種・企業等の研究、実習エントリーシートの作成、ビジネスマナーの講習などを行なう。フォローアップ授業では、実習報告レポートを作成し、担当教員に実習成果を報告するものとし、条件を満たした学生には単位を付与する。</p>

◎作成した教科書・教材	2016. 4	・スケッチの教科書（40ページ） カーデザイン、インダストリアル&セラミックデザインコース2、3年生用のテキストとしてスケッチの基本から応用までテクニックについてまとめ配布し、これを使用してスケッチの実技を行った。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		学生による授業評価アンケートにおいてはほぼ全ての項目で平均を上回った。
◎その他 カーデザインコース開設		平成27年にカーデザインコースを開設した。この計画から立ち上げ、カリキュラムの設定、教員の配置などの業務を担当。合わせてインダストリアル&セラミックコースの開設に伴うカリキュラム、授業科目の住み分けや同時開講科目の設定なども担当した。これに伴う特別講座や雑誌広告などの広報活動、イベントなどを開催、認知度も上がってきており、カーデザインコースは順調にスタートした。本格的なカーデザインコースの開設は日本国内では初めて、全国的に本学の知名度を高め、特に東海地区においては圧倒的な存在感を示すことができた。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
日本カーデザイン大賞 選考委員	2016. 12～2017. 1	日本カーデザイン大賞（ゴールデンマーカートロフィー）選考委員 1984年以来、カーデザイン界に支持され、継続されてきた、日本および世界でも特に価値のあるデザイン賞。この選考委員を委嘱され2016年度の審査を行い、表彰式に参列した。また選考委員会の審議内容はカースタイル誌011号（2017年2月号）にて詳細が発表された。
第22回地域フォーラム 「A&D2016 愛知」 —おわりのはじまりそして MIRAI— 第二部 シンポジウム「エゴ からエコへ、そしてエネに向 う自動車デザイン」の講演お よびパネラーとして参加	2016. 7. 2	主催：武蔵野美術大学、武蔵野美術大学校友会、 後援：愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、CBCテレビ、NHK名古屋放送局、中京テレビ、東海テレビ、名古屋テレビ、朝日新聞、中日新聞、中部経済新聞、毎日新聞、読売新聞河合塾美術研究所、トヨタ自動車、三菱自動車工業 会場：名古屋能楽堂 対象：一般 学生 定員250名 趣旨：伝統と革新が共存する愛知ならではの「モノづくり」から見えてくるMIRAIを、名古屋城（公園内）に建つ能楽堂を舞台に、建築、デザイン各々専門家の立場から、城と車をテーマに実体験をもとに語り、未来が求めるモノづくり、カタチを創造する機会とした。
自動車技術会デザイン部門委員会主催『カーデザインに挑戦』カーデザインコンテスト開催 ウェブサイト『カーデザインに挑戦』運営	2016年度	本イベントは、自動車技術会の育成事業として2012年度より開始し、中高生に向けて、カーデザインを通じたものづくりの魅力に気付いてもらい、プロを目指す道筋をガイドし、将来性のある人材の発掘・育成に取り組もうと始めたもの。カーデザインコンテストはこのイベントとして開催、本年度で5回目。

<p>受託研究 ナガサキ工業株式会社 (チームエコラボ) 新製品デザイン開発プロジェクト</p>	<p>2016. 4～2017. 3</p>	<p>平成27年に引き続き、名古屋芸術大学デザイン学部デザイン研究所プロダクト&amp;スペースブロック分野、及び、デザイン学部インダストリアルデザインコースは、東海地区の地元中小企業による地域産業活性化のための研究組織『チームエコラボ』に所属するナガサキ工業株式会社の依頼により『新製品デザイン開発プロジェクト』を受託、新製品のデザイン開発を行い地域の活性化に貢献した。共同研究者：小塚講師</p>
<p>受託研究 つばめタクシー</p>	<p>2016. 9～2017. 3</p>	<p>つばめタクシー受託研究『次世代タクシー』を実技Ⅳの授業内で学生と開発した。デザイン開発プロジェクトは、トヨタ自動車からのコンセプトデザイン車両『JPN TAXI』をベースとして、ユーザーの視点、タクシー会社の視点などからタクシーを取り巻く環境を調査、分析することにより新たなコンセプトを導き出し、外装および内装のデザインを提案した。作品はIDコースの学生が実技授業の中で開発し、コンペ形式にてつばめ自動車会社に対しプレゼンテーションした。共同研究者：三枝樹講師</p>
<p>受託研究 トヨタ車体株式会社</p>	<p>2016. 7～2017. 3</p>	<p>トヨタ車体株式会社からの受託研究。トヨタ車体の生産する小型モビリティをテーマとし、IDコースの2年生、3年生が実技および演習授業の中で開発し、これに教員および、現職のデザイナーがアドバイスをを行うことによりデザインレベルを高めた。共同研究者：高次教授</p>
<p>1日芸大生</p>	<p>2016. 7. 31</p>	<p>小学生のためにデザインの実体験をとおして、その楽しさを理解してもらうイベント。 IDコースでは、真空成型の実体験とこれにより出来上がるトレイを使ったゼリー作りを行い、これに講師として参加した。</p>
<p>日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA) 主催 『卒業制作展訪問』</p>	<p>2017. 2～3</p>	<p>会場：中部地区各デザイン系大学卒業制作展会場 主催：日本インダストリアルデザイナー協会 中部ブロック委員としてデザイン系大学、専門学校の卒業制作展を訪問、学生のプレゼンテーションを受け作品を評価。JIDA賞を授与した。</p>
<p>(社)自動車技術会での活動</p>	<p>2002～ 2002～2005 幹事 2012～2013 幹事</p>	<p>活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりの源流にたずさわるカーデザイナーが広く自信と存在感を示すための環境作り。</li> <li>・未来を担う若年層に向けてカーデザインの意味や重要性を伝えカーデザイナーへの動機付け。</li> <li>・日本の自動車産業におけるカーデザインの重要性をアピールし、カーデザイナーの社会的地位の向上。</li> <li>・カーデザイナーだからこそ実現可能なユーザーと技術者のパイプ役。</li> </ul> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム、フォーラム、オーガナイズ度セッションの開催</li> <li>・デザイン講習会開催</li> <li>・異業種技術者との交流事業</li> <li>・研究委員会、</li> <li>・キッズエンジニア デザインイベント主催</li> <li>・中高生向けデザインコンテスト『カーデザインに挑戦』主催</li> </ul>



日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)	2006～	中部ブロック委員として総会、セミナーなどの開催、次世代委員会委員として若手や学生の育成を目的としたイベントへの参加
--------------------------	-------	---

教授 久野 利博

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 デザイン実技Ⅲ-1	2016. 4～7	「場・サイト」による環境造形 金属の溶断、溶接技術を取得しながら、独自のフォルムを見つけたす眼を養う。学内の建物のディテールから気になる場所のカタチを見つけ、その「場」から発想した造形をする。キャンパス内の特定の「場」に作品を設置することで、場所と造形空間との関係から環境造形が生まれる。又、設置した作品を写真撮影し、B2パネルにまとめ視覚化する。 ①課題説明、場のリサーチ、撮影 ②イメージドロウイング ③模型制作 ④金属制作 ⑤制作 ⑥制作（金属に彩色） ⑦作品設置 ⑧写真撮影 ⑨パネル制作 ⑩講評
デザイン演習Ⅱ-2	2016. 9～12	創作現場（空間・インスタレーション）について美術家たちが、どのようにして作品を生み出して来たか。創作における「素材」と「空間」について考察し表現者たちの現場をDVDなどで具体的に詳しく取り上げ、その特徴、作家、時代背景などを講義する。各自が理解した上で、ミニ演習（インスタレーション1/20の模型とB2パネル展示）を体験する。 ・主な講義内容 ①建築の色とデザイン ②2つの礼拝堂 ③インスタレーションアート ④フィンランドデザイン ⑤日本と韓国の建築 ⑥クラフトの世界 ⑦国際展について ⑧世界の美術館 ⑨自然について ⑩ミニ演習 ⑪総評
デザイン実技Ⅱ-3	2016. 9～12	手仕事から“物づくりの表現”を考える。鉄の溶断、電気溶接技術を習得しながら、金属を切ったり、たたいたりする作業の中で、美しいフォルムを見つけたす体験をする。素材と向き合うことから、自己表現へと高めていく。 テーマ① 小石制作（実物の小石を参考） イメージドロウイングする 鉄板を溶断し、ハンマーで鉄を叩き、溶接しながら「小石」のカタチにする。 テーマ② スプーン制作 金属、その他の素材を使い、制作したスプーンを額の中に入れ、平面構成する。 テーマ③ キャンドルスタンド制作 鉄板をプレス機などを利用し、幾何形態などに仕上げる。 総評（DVD参考にしながら、創作について考える）

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
名古屋芸術大学 教員展	2016. 6. 10～6. 15	名古屋芸術大学 Art & Design Center（北名古屋市） 毎年6月のオープンキャンパスに学内外の学生に、名古屋芸術大学美術学部、デザイン学部教員作品を観てもらおう企画展。

デザイン学部 クラフトブロック企画 「素材」展	2016. 7. 29～8. 10	メタル&ジュエリーコース、テキスタイルコースの前期課題作品を展示。又、クラフトブロック教員作品を同時開催する。
-------------------------------	-------------------	---

教授 高次 信也

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016年度前期  2016. 6  2016年度後期  2016. 10	パワーポイント、DVDによるスライド、動画を用いた講義、車輛形態の講義とテスト実施、測定技術図学指導、造形モデリング指導、グループディスカッション、立体のマルチアングル評価、プレゼンテーションロールプレイ  学外授業 ウェルフェア（福祉機器展）、防災フェア視察  パワーポイント、DVDによるスライド、動画を用いた講義、造形モデリング指導、グループディスカッション、プレゼンテーションロールプレイ 企業とのコラボレーションワーク実施  学外授業 トヨタ博物館視察
◎作成した教科書・教材		パワーポイントデータによるスライド、動画資料 車輛形態講座資料、試験問題、測定技術、図学指導資料
◎その他	2016. 5. 28 2016. 8. 29・30	自動車技術会主催「人と車のテクノロジー展」でフォーラム「未来のパーソナルモビリティ」を企画。運営 自動車技術会デザイン部門委員会主催 二輪デザイン公開講座（大学1、2年生対象）を企画、運営

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
	2016年度後期	トヨタ車体株式会社との産学共同プロジェクト 「小型EV車輛のデザイン提案」を実施

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
自動車技術会活動レポート 2016年度春季大会 デザイン部門委員会企画 フォーラム 「出かけよう！未来のパーソナルモビリティで」その他	共著	2016. 10	自動車技術会発行 「自動車技術」誌Vol. 16 pp. 98-102	これからの時代の交通システム、街づくりの方向性と課題は超小型モビリティの価値を認識し高齢者や交通弱者のためにも、既存の乗用車と公共交通の間を取り持つ乗り物が必要。パーソナルモビリティはシェアリングエコノミーとの関係を深め、行政や経済界、IT業界などと有機的に連携し、共存共栄を目指さないと実現できない。新しい乗り物として、制度設計、街づくり、道路整備、安全安心の確保、楽しさの追求、新しいライフスタイルを作ってゆくという観点で、社会受容性を確保したエコシステムの構築が必要。トヨタ、ホンダの事例紹介。（共著者） 高嶋晋治、内藤功一、石橋豊、菅原重昭、高次信也、難波治、服部守悦

				<p>(本人分担)</p> <p>福祉機器を特殊なプロダクトではなく、ライフスタイルに寄り添う商品としてアピール。「バリアフリーのバリアはハードウェアではなく、人々の意識のほうにあるのではないか。この“意識のバリア”をどう壊し、ポジティブに創造的に混ざり合っているのかを考え、「車椅子に乗るといシーンに人々が憧れるということはないだろうけれども、“車椅子に乗るのも、別に悪くないかもね”と思える未来にしたい」</p>
--	--	--	--	--

教授 萩原 周

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 学内サーバの活用	2016. 4~7	実技授業の課題制作において、出題主旨、スケジュール、制作TIP等を講義・解説後でも振り返って個人で常時チェックできるよう、それらの内容をペーパーにし、学内サーバに公開した。
◎作成した教科書・教材 ポートフォリオ制作チェックリスト	2017. 1	3年生までの制作・研究を取りまとめたポートフォリオの編集課題を課すにあたり、全体構成、情報内容、表示方法等、編集にあたって留意すべき項目をチェックリストを作成・配布し、ポートフォリオの完成度を上げる参考とさせた。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 2016年度 後期 授業アンケート結果	2017. 3	2016年度後期に実施された授業アンケート集計結果では、いずれの設問項目においても学部の平均レベルをほぼ満たしているとする結果を得た。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
学会発表： 日本における初年度共通デザイン基礎教育の実態調査・検証—デザインファンデーションプログラムの可能性と課題からその将来を展望する	2016. 7. 2 第63回日本デザイン学会研究発表大会（春季） 於：長野大学 セッションID「A7-05」	デザイン教育における初年度教育について国内での実施校を訪れ実地調査した結果をとりまとめ、プロジェクションによる解説データを作成し発表を行なった。（・概要文書は学術論文として後に再掲）
学外企画参加： SAKAE KAWAII HALLOWEEN	2016. 10. 29	名古屋市の栄中心に位置で企画されたハロウィンイベントにあたり、メイン会場にての有料区画に設置するオブジェの制作依頼があり、美術、デザインの有志コースを募り、設置物の制作指針、スケジュール管理等、名芸大のオブジェ制作全体のコーディネイト、ディレクションを行なった。 （主催：総務省東海総合通信局、EMPLEX、サンダーフォークプロモーション、CBCテレビ/後援：愛知県、名古屋市、南大津通商店街振興組合）

講習会講師： 豊橋市屋外広告物講習会	2016. 11. 25	豊橋市の要請により、市が実施する屋外広告物の制作・設置業者を対象にした広告物の表示方法に関する講義を実施した。講習にはプロジェクターを使用し、事前にリサーチした東海圏の実例をあげ、広告物制作・設置にあたり留意するべき点を具体的に解説した。
-----------------------	--------------	---

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 日本における初年度共通デザイン基礎教育の実態調査・検証—デザインファンデーションプログラムの可能性と課題からその将来を展望する—	共著	概要集： 63(0),34,2016 公開日： 2016. 6. 30 (J-STAGE)	日本デザイン学会研究発表大会概要集 発行：日本デザイン学会	本学でも実績のあるデザイン教育における初年度教育プログラムについて、現代のデザイン分野、社会情勢に照らし新たな指針とその具体的実施に関する研究を行なった。国内での実施大学をリストアップし、その中から選考した大学を訪れ実地調査した結果をとりまとめた。デザイン基礎教育の実施は未だ手探り状態の事例が多く、実施責任者等の連携による総合的な研究による評価と提案が待たれることが明らかになった。

教授 櫃田 珠実

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 デザイン実技Ⅱ他	2015. 11～2016. 5	<p>メディアコミュニケーションデザインコースの教育は課題に対して学生個々が目指すテーマや手法（メディア）で、社会と関わっていくためのアイデアを形にしていく制作と、グループで考え協働し作り上げていくプロジェクトワークを並行して行っている。</p> <p>授業の中で産学連携プロジェクト実施する。各学年で主となる授業（デザイン実技）の中で全員が同じモチベーションで協働し成果を上げている。産官学の共同プロジェクトの場合、相手側とのコミュニケーションが重要で要求するものに対して目的と手法、経緯を明確にしてスタートさせなければならない。</p> <p>これまで多くのプロジェクトを実施し、双方が十分な成果を得ている。</p> <p>前年度より継続しているNPO法人高齢者住まいの研究会からの依頼で『防災教育ゲーム』の制作。（防災教育チャレンジプラン 内閣府から）2年生5グループによる5種類の防災教育ツール。多人数参加型双六ゲームとビンゴゲーム、防災知識をわかりやすく理解するための大型絵本3種類。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中日新聞 3月11日（岐阜版）3月28日夕刊（総合版）</li> <li>・NHK 5月30日（月）『ほっとイブニング』生放送、コースの教室で紹介</li> <li>・NHKラジオ放送 6月2日「夕刊ゴジらじ」（愛知・岐阜・三重県域）で学生が2名が出演し紹介</li> </ul> <p>NPO法人高齢者住まいの研究会からの依頼で新たなでキャラクターをつくり、販売用神経衰弱ゲームを制作する。</p>

<p>デザイン実技Ⅲ 写真演習</p> <p>大学院科目 ・コミュニケーションデザイン&amp;アート演習</p> <p>・現代美術とメディア</p>	<p>2016 前期</p> <p>2016 後期</p>	<p>2年次のブックデザインの文字組など学んだ後の企画、取材、リサーチ、編集デザインなど全て個人で行う。オリジナル本と写真集執筆・撮影の制作を行う。完成したものはTOKYO ART BOOK FAIRに出品し、学生が自身の作品の検証をした。</p> <p>前期 演習：美術、デザイン両研究科の学生が履修し通常の個々の制作とは違う形式で作品を制作し展示発表する。(2016.7.1～6 A&amp;Dセンター)</p> <p>後期 講義：美術、写真や映像、メディアアートなどを通して、身体的な拡張としてメディア展開した20C以降現代美術、未来志向のデザインなどについて講義する。</p>
<p>◎その他 産学連携 学内コンペの開催</p> <p>受託事業関連</p> <p>高校生へのワークショップ</p>	<p>2016. 5～7</p> <p>2016. 7～2017. 2</p> <p>2016年度 5回</p> <p>2016. 11. 25</p> <p>2015. 12. 22</p> <p>2016. 1. 24</p>	<p>「北名古屋市市政施行10周年記念事業 原付バイクのご当地プレートのデザイン提案」について デザイン学部全体に学内コンペを計画実施した。説明会、一次審査、最終審査へと進める。採択案に対してプライズを出すこととした。 産官学連携の案件がある場合、特定のコースで担当する形の連携プロジェクトだけでなく、学部やコースを超えた名芸生全体に向けてのコンペ形式のものを実施することで、学生の自主性、積極性を養い、外部からの実務制作に関わることで就職時に有効的な制作物として提示できる。また制作費やプライズを出すことも有効である。以下そのほかのコンペによる事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制10周年ロゴマーク</li> <li>・議会だより題字デザイン案の提案</li> <li>・北名古屋市制10周年記念のお酒ラベル</li> </ul> <p>株式会社CBCテレビ 60周年記念事業として ライブイベント、イメージムービー、友だちキャラクターデザインの依頼があり美術、デザイン両学部向けコンペとする。企業からのオリエンテーション（学生が自由参加）学生の学内プレゼンは9月20日 CBCテレビのWEBサイトで全てのキャラクターが公開され一般投票が行われた。</p> <p>北名古屋市議会だよりの表紙イラスト作成 1年間（5回発行）を通して担当できる学生に依頼。 2015年～継続中</p> <p>NHK『ほっとイブニング』11月25日(金) 北名古屋市の紹介として名古屋芸大との連携プロジェクト「原付バイクのご当地プレートのデザイン提案」と「北名古屋市議会だよりの表紙イラスト作成」が紹介される。</p> <p>小牧南高校写真部ワークショップ「ストーリーのあるポートレート」を実施。小塩校長よりの依頼で本学で開催。</p> <p>小牧南高校写真部展示会場で小牧南高校小塩校長、山田旭丘高校教諭と櫃田で公開講評会を実施。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
愛知県環境影響評価審査会委員	2016年度	2015年4月～ 環境影響評価に関する調査結果の評価検討をする会議に出席している。 「中部電力(株)武豊火力発電所、中部電力(株)碧南火力発電所」 「知多南部広域環境センター整備事業」 「名古屋港で発生する浚渫土砂の新たな処分場計画」 「トヨタ自動車田原工場風力発電所設置事業」等の評価
名古屋空港写真コンテスト審査員	2016. 6 2016. 11	名古屋空港を撮影した写真の公募が年2回実施されている。審査を行い賞の決定と各受賞者へのコメント（2014年～
青少年健全育成非行防止「標語・ポスター」審査	2016. 9. 23	青少年健全育成非行防止「標語・ポスター」の審査及び各賞の選定
デザイン学部関連	2016. 4発行 2016. 7発行	『名芸のデザイン』の発行（企画、編集、デザイン監修） 『文芸ライティングコース』パンフレットの制作（企画、編集、デザイン監修）
コース冊子	2017. 3. 30 発行	メディアコミュニケーションデザインコースができて10年目になるため今までの学生が制作した作品を掲載したMCD BOOKの発行
デザイン学部の出張授業など	2015～2017. 3	デザイン学部の出張授業について先生方に偏りなく担当していただけるよう科会、教授会を通して伝え、高校の情報等、学部全体で共有した。そのため高校への広報活動などデザイン全体の教員の協力意識が高まった。
模擬授業（樫田）	2016. 10. 28 2016. 12. 16 2017. 3. 14	富士宮西高校 アートとデザイン表現の可能性（先方設定） 木本高等学校 デザインの仕事とは / 私の本を作ってみよう。 加茂丘高等学校 デザインの仕事について

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 個展		2015. 12. 1～11	樫田珠実展「漂う・世界/静物」	名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」 アニュアル 2015 pp. 072-075 pp. 108-109 テキスト：栗田秀法
グループ展		2016. 9. 3～24	愛知県立芸術大学創立50周年記念展示 2016 芸術は森からはじまる	愛知県立芸術大学構内 デジタルプリント ライトボックス 100.0×146.5×15.0cm 展示カタログ pp. 92-95

教授 美和(津田) 佳紀

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 12. 18	より実践的な学びの為に、メディアデザインコース3年後期授業において学外施設を利用した授業を展開した。 (内容) メディアライブ〈メディアデザインコース3年〉愛知県半田市 MIZKAN MUSEUM において当該施設のサーベイから、現地スタッフとの打ち合わせ、企画、実施までを学生を中心とするチームで授業としておこなった。
◎作成した教科書・教材	2016. 11. 12	Web上における地図情報の利用と各種のコンテンツ紹介の為にプレゼンテーション教材を制作した。 (内容) 現代芸術と文化〈全学共通科目〉生活空間を地図上にマッピングした例を、映画、Web、ゲームなどのエンターテインメント コンテンツの中から紹介し、空間認知が人間にもたらす多様な影響について理解を深めた。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2016後期	学生による授業評価の結果、「映像メディア表現」において、高い評価を得た。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
超領域入試の導入	2016. 10. 15	2学部2学科への改組にともない、複数の領域間(および学部間)における共通のアドミッションポリシーを形成し、受験生を受け入れる入試(超領域入試)の立案から実施までを担当委員としておこなった。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
納屋ムービー(水辺のあるまち納屋橋 動画コンテスト)		2016. 7. 16	納屋ムービー(水辺のあるまち納屋橋 動画コンテスト) 審査会	名古屋市中区 納屋橋地区 地域振興の為にショートムービーコンテストの審査員を担当した。
三重県立飯野高等学校応用デザイン科卒業制作展		2016. 12. 9	三重県立飯野高等学校応用デザイン科卒業制作展講評会(三重県立美術館)	三重県立飯野高等学校応用デザイン科卒業制作展において、絵画、彫刻、デザイン、工芸作品の講評をおこなった。
カレイドスコープ2017		2017. 2. 21	カレイドスコープ2017(名古屋芸術大学東キャンパス2号館大アンサンプル室)	名古屋芸術大学サウンドメディアコースおよびメディアデザインコースの学生のコラボレーションとして、「カレイドスコープ2017」を開催した。主として音楽に対応した映像部分の制作に関与した。

教授 和田 義行

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 デザイン演習2-1 (PS) ID・CD	2016. 4. 1～7. 31	ポートフォリオは、「デザインプロセスをいかに明快に見る人に理解できる表現が来ているか?」が重要であり、そのポイントを表現できるアイデア展開のスケッチ力の指導から、立体モデルの写真撮影の仕方、PCを使っのプレゼンテーションボードの作り方までの指導を行う。
デザイン実技Ⅱ-1 (PS) ID・CD	2016. 4. 1～7. 31	プロダクト・インダストリアルデザインの基礎として、手と頭をつなぐための訓練からスタートし、ステップごとに物づくりへ展開できる能力を育成する。スケッチや物づくりの楽しさを理解し、製品デザインのつくりを見ぬき、プロダクトデザインの基礎を修得することを目的とする。
デザイン実技Ⅲ-1 (PS) ID	2016. 4. 1～6. 19	デザインの基礎訓練（描写、スケッチ、レンダリング、作りを見抜く製図、立体把握のためのモデリング）などを実践訓練をしながら指導を行った。
デザイン実技Ⅲ-1 (PS) ID	2016. 6. 20～7. 31	インクルーシブデザイン（ターゲットユーザーと共にデザインプロセスを試みて、最終デザインまで完成させる）実技指導を行った。
製品企画論A	2016. 4. 1～6. 20	社会に役立つデザイナーを目指した講義、地球環境や社会環境を理解しながら、デザインプロセスをどのようにスムーズに行うか?を実践例を参考資料に解りやすく指導。さらに各ジャンルの有名デザイナーのデザインプロセスを紹介し、学生の不足している能力を活性化する講義を行った。
デザイン実技Ⅰ	2016. 9. 20～1. 10	インダストリアルデザイン、スペースデザインの基礎となるデザインプロセスに基づく立体造形表現の実践指導を行った。
デザイン実技Ⅲ-2 (PS) ID・CD		ユニバーサルデザイン、グリーンデザインを目的に、社会に提案できる能力を育成するための実践指導を行った。
デザイン実技Ⅳ-2	2016. 7. 27～3. 8	社会にデザイン提案できる能力を育成するための卒業制作プログラムの実践指導を行った。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	大学評価アンケート参照ください。	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
名古屋芸術大学教員展		2016. 6. 10～15	名古屋芸術大学 Art & Design Center	マルマン株式会社との産学協同プロジェクトの製品化までのプロセス展示。 特別客員教授 ポール・ブリーストマン ワークショップ 「未来の自転車について」の作品を発表展示。
国際交流子供芸術教室開催		2016. 7. 9	西キャンパスU102教室	交換留学生、芸大生、と地域の小学生を招いて、絵を描くことを題材に外国語に接し、国際感覚やコミュニケーション能力を養うイベントを開催。



西三河地区高文連美術展講評会開催	2017. 1. 22	岡崎市美術館	三河地区の高等学校美術展の各高等学校の作品講評会を開催
------------------	-------------	--------	-----------------------------

准教授 駒井 貞治

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		
前期 デザイン実技 I (多面体)		自然界における多面体や文様など多種の実例紹介により学生の理解度を高め、デザインの基本プロセスを習得させる。
前期 デザイン演習 I (SD)		建築を学ぶ上では雑誌等から図面を読み取る能力、またその空間を模型で再現できる事は必須であり、その技術を身につけさせる。
後期 デザイン演習 II (SD)		学外のコンペに積極的に応募しプレゼンテーションに必要なアイデアの展開し方やまとめ方を学ばせる。
後期 デザイン実技 II (SD)		美濃市のあかりアートに出品し素材に注目したモノづくりの基礎を学ぶ。後半は畳 1 枚分のスペースをカスタマイズし、自分のための私的空間を実際に作り上げることで、モノづくりの行程を学ばせる。
前期 デザイン実技 III (SD)		自分で学内での施主さがしから始め、ヒアリングからのコンセプト作り、それを空間化していくプロセス、また施主に対するプレゼンテーションを学ばせる。
前期 デザイン実技 IV (SD)		前半はSDコース 3 年生と合同で、学内の施設をリノベーションする設計提案を行なわせる。後半は卒業制作へとつながる現代の社会に対する視点や着眼の仕方、自分のつくる物へのストーリー展開の仕方を学ばせる。
後期 卒業制作 (SD)		前期に引き続き、現代の社会に対する視点や着眼の仕方、自分のつくる物へのストーリー展開の仕方を学ばせる。またその成果物を卒業制作展で発表させる。
後期 デザインと文化		さまざまなデザインの現場や、デザインと深い関わりがある周辺領域で活躍されている講師を招いて話を聞かせる。現実のデザイン状況に触れることで、現代社会におけるデザインの広がりや、現場においてどんな人たちが、デザインのどのような事柄について何を考え仕事にあたるのかなど、実際の現場を具体的に知る機会を与える。
前期 SDコース展		前期半年間の製作物を展示させる事で、前期の学びの成果を実感させ、後期以降の方針を自ら立てる事を則す。
後期 デザインレビュー (SD)		1 年間の製作物を展示させる事で、1 年間学びの成果を実感させ、次年度以降の方針を自ら立てる事を則す。
後期 国際交流プログラム		姉妹校のイギリスブライトン大学との学術交流プログラム 東海地区の魅力を伝える為のメディアとしてのゲストハウスをリサーチなどを繰り返した後、学内に建築し、姉妹校の教員に体験してもらい時間してもらおうというワークショップを行い、学生にプロセスを習得させる。

北名古屋市 楽器作りワークショッププロジェクト		学生有志に小学生の為の楽器作りのワークショップを企画させ、音楽学部の学生による演奏指導によりコンサートを開催する。一連のプロセスを体験する事により、デザインのもつ可能性を学生に実感させる。
名古屋市の楽器店の楽器 Re-designプロジェクト		学生有志に使われなくなった楽器のRedesignを体験させ、楽器店内での展覧会を企画させる。一連のプロセスを体験する事により、デザインのもつ可能性を学生に実感させる。
清須市立図書館 日本一ビールに詳しくなる為の本コーナー本棚製作		図書館内の本棚のデザイン案を学生に作成させ、コンペ形式で実施案を選び、実際にデザインさせ、原寸大モックアップを製作、提案させることで一連のデザインプロセスを学ばせる。
SDコース建築見学(岐阜)		岐阜のメディアコスモスなどの最新の建築物の見学及び、旧市街地でのリノベーション事例を体験する事で、空間作りのプロセスや成果を学ぶ。
東京芸術大学卒展見学(東京)		他大学の卒業制作展を見学し、同時代を生きる学生視点での問題意識を共有させ、次年度の自らの制作に繋げさせる。
◎作成した教科書・教材		上記各授業において、学生の理解を深める為のスライドショーなどの映像資料の作成。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		上記各授業において、学生の理解を深める為の実践が効果的であり、授業評価アンケート等でも学生の理解が深まった事がうかがえる。
◎その他 デザイン学部「落合紀文展」		永く名古屋芸術大学でグラフィック分野で教鞭をとられた、落合教授の追悼作品展の企画立案、展覧会を開催し、展示を見せる事で学生にデザインプロセスや作品制作のノウハウを学ばせる。
建築学会での学生論文発表の指導		建築学会デザイン発表会において、前年度の卒業制作作品を発表させる為の指導。
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
講演会	2016. 11. 12 高山市世界文化センター	「住まいにおける癒し」 美術、音楽領域とともに高山市で行う「癒し」をテーマにした連続講演プログラムでの住宅分野での講演。
姉妹校ブライトン大学(英国)との学術交流	2016. 6. 1~8 於：ブライトン大学	例年のブライトン大学での卒業制作作品への名古屋芸大賞の選定及び表彰、姉妹校提携20周年を記念した、建築及びデザインに関連領域の教員との学術交流において、大学での建築関連授業での取り組みの紹介及び、個人の設計事務所での活動の紹介。 帰国後姉妹校提携20周年記念展示、名古屋芸術大学での卒業制作展への招待時、学術交流プログラムとして学生有志とともにゲストハウスを制作。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 「森、長者町(まち)へ還る」 問屋街に浮遊するゲストハ ウスを作る		2016. 8. 24 ～26	建築学会デザイン発表(九 州)及び、論文発表会司会	敷地は名古屋の中心部、伏見長者町。かつて、日本3大繊維問屋街の一つであった街も、今は斜陽で、シャッター街となり、都心部の交通の利便性を生かした有効活用の方策が待たれている。かたや、山間部の林業地域では、国の施策の迷走により国産材にも関わらず、安価での取引になってしまい、間伐材の活用を含め、林業が成り立たなくなってしまっている。この二つの地域をうまく繋ぐことにより、お互いの特徴を生かした、都心部での魅力的なゲストハウスを計画した。
◎その他 京都市KM邸(自邸)  京都市西陣ビルリノベーション計画 京都市KR邸改装工事  名古屋市昭和区ギャラリー 改装計画 京都市HZ邸改装計画 京都市IT邸新築計画 京都市店舗ビル内装計画  草津市SG寺新築計画 京都市YZ邸新築計画	掲載  掲載	2016年9月号  2017年2月号  2016. 4～  2016. 4竣工  2016. 4～  2016. 1～  2016. 4～  2016. 9～  2016. 10～  2016. 12～	新建築住宅特集 ～新建築社  Casa BRUTUS ～マガジンハウス	京都市周辺部、狭小変形地での事務所付き住宅の設計及び現場監理  京都市中心部の老朽化した事務所ビルの、店舗及び賃貸住宅へのリノベーション計画  京都市中心部の老朽化した機織り工場兼町家の、住居及び賃貸住宅へのリノベーション計画の設計及び現場監理  名古屋市市街地での住宅のギャラリーへのリノベーション計画の設計  京都市市街地の住宅の、住居及び英会話教室へのリノベーション計画の設計及び現場監理  京都市周辺部の街に開かれた文庫をもつ住宅の新築計画の設計  京都市中心部の店舗ビル一階の店舗の内装計画の設計  草津市市街地での寺院新築計画の設計  京都市中心部の建築条件付き土地購入者の為の建売り業者を施工者とした計画の設計

准教授 瀬田 哲司

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 デザイン演習（ポートフォリオ、ホームページ）	2016 前期	大学内のスタジオで学生各自の作品を撮影し、デジタル工房で加工する。その画像を基にA4ポートフォリオとホームページを各学生ごとに制作発表する。デジタル機器、インターネット等の活用。
デザイン基礎（多面体と植物）	2016 前期	針金で多面体を植物の造形を参考にして造る、立体的な感覚を養う。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
生涯学習「創作メダル講座」	2016. 9～12	名古屋芸術大学公開講座にて左記の講座を講師として開催。アルミ鋳造で各自のメダル作品を制作した。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎著書 As an Engineer and As an Artisan	単著	2017. 3	名古屋芸術大学研究紀要第38巻（作品集）	真空加圧式鋳造による著者自身の銀メダル作品の制作方法解説。
◎その他 第34回FIDEM Congeres EXHIBITION	グループ展	2016. 9. 6～30	Ghent&Namur, BELGIUM	メダル作品の展示
第34回 JAMA創作メダル彫刻展	グループ展	2016. 10. 13～19	東京都美術館	メダル作品の展示

准教授 竹内 創

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		「メディアをデザインする」ことをキーワードに、メディアの定義や過去にどのようなメディアが存在したかのリサーチや再評価をおこなった。 いままであまりメディアとしての位置づけをされていない事柄に「メディア」としての評価を与え、作品/プロジェクトとして制作することで、新旧のメディアのありかたに対する認識を広げることを目標としている。 また授業の中で人と人が共に仕事をするために必要なルールやコミュニケーションを課題の中に取り込んでいる。
◎作成した教科書・教材		「メディアアートの教科書」フィルムアート社 iOSアプリMaskPicto iOSアプリChromakee
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		FD・SD自己点検評価、授業評価アンケートの実施と公表

◎その他	2016. 5	特別客員教授としてフランスよりジャン・ルイ=ボワシエ名誉教授を招聘し、メディアデザイン・ワークショップを実施した。またワークショップの成果物は京都dddギャラリーにて開催された「物質性-非物質性 デザイン&イノベーション」展にて展示された。
------	---------	--

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
産学共同プロジェクト 「メディアライブ」	2016. 12	ミツカンミュージアムにてメディアデザインコース3年生によるライブパフォーマンスイベントを開催した。
犬山市プロモーション動画制作	2017. 3	官学連携プロジェクトとして犬山市のプロモーション動画をメディアデザインコースの学生と制作した。  学外授業を積極的に取り入れ、個人制作に役立つ制作現場や展示作品を体験している。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
“剥離と忘却と With detachment and oblivion”		2016. 8. 27 ～9. 10	ヴォイスギャラリー（京都）	世界考古学会議第8回京都大会の関連イベントとしてヴォイスギャラリーにて琵琶湖をテーマとした映像インスタレーション作品「Nouvelle Vague」を展示。
「物質性-非物質性 デザイン&イノベーション」		2016. 09. 08 ～10. 29	京都dddギャラリー	「日本フランス・イノベーション年」のイベントとして開催された展覧会。日仏共同プロジェクトとして展示の副監修として参加。また「morse」、「photocomposer」、「monolith」を展示。
Greater Taipei Biennial of Contemporary Arts		2016. 11. 7 ～2017. 1. 14	国立台湾芸術大学（台湾）	国立台湾芸術大学主催の現代美術ビエンナーレに参加。インスタレーション作品「Echo」、「noir/blanc」を出品。

### 准教授 西村 和泉

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 フランス語Ⅰ	(前・後期)	フランス語を初めて学ぶ学生に向けて、プリントを作成し、適宜パソコンとOHPで視覚的に理解できるよう工夫した。
フランス語Ⅱ	(前・後期)	Iを履修した学生に向けて、日常表現の発音練習を行うと友に文法の解説を行なった。小テストでフレーズの暗唱を課して発音チェックを行うことで、仏検5級レベルの語学力を養った。
フランス語Ⅲ	(後期)	I, IIを履修した学生に向けて、流暢なフランス語を聞き取り、書いて話せるように、教科書のみならずプリントや視聴覚教材をとおして、正確な発音と綴りを習得した。仏検4級レベルの幅広い知識を学び、学生がペアワークを積極的に行うことで、将来にわたって使えるフランス語力を身につけた。

異文化入門 文芸実技 デザイン基礎演習E	(前・後期)	毎回異なるテーマで、自作のプリントを用いて授業を行なった。  ヨーロッパの作品を自作のプリントと視聴覚資料を使って解説をし、実際に複数の作品（絵本・短編・シナリオ）を創作した。  絵本の創作技法について授業をし、実際に絵本を創作した。また、短編や児童文学、シナリオについても作り方を学び、実際に創作し、一人一人にコメントすることでデザインの基礎を習得した。
◎作成した教科書・教材		すべての授業で自作のプリントを適宜配布した。 文芸実技、デザイン基礎演習では、絵本作成用の教材（カラー画用紙、台紙等）を配布した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		毎年、学生に独自に授業の感想を書いてもらっている。フランス語については、「初めて習う言語だが、とても分かりやすく、課題も取り組みやすい」、異文化入門については「まったく知らない文化を身近に感じた。日本との違いが興味深かった」、デザイン基礎演習で絵本を創作した学生からは、「絵本を初めて作ったがとても貴重な経験だった。これからも作り続けたい」との意見が書かれていた。
◎その他		・デザイン基礎演習の授業で、学生が互いの作品を鑑賞し、どの点が優れているか、どこを直すともっと良いかについてコメントをする時間を設けた。また、卒業して社会で活躍する先輩から話を聞く機会も設けた。 ・フランス語の授業では、授業時間のみならず自宅でもコンスタントに勉強を進めており、自宅で問題集を解いた学生には授業時間の前後を使って教室で添削を行なった。卒業までに仏検3級を取得し、現在フランスに留学をしている学生もいるので、今後もこの試みは続けてゆきたい。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎著書 『サミュエル・ベケットと批評の遠近法』井上善幸・近藤耕人編	共著	2016年11月	未知谷	本書は、国内外のベケット研究者による最新の論文集である。第一章「人間の終焉」、第二章「不条理な探求」、第三章「イマージュ批判論」、第四章「エディプス批判」、第五章「テキストよ、語れ」、第六章「亡霊とテクノロジー」の内、筆者は第五章を担当した。拙論「ベケットの初期作品におけるカオスの変容—レオバルディからポアンカレへ」においては、ベケット作品に通底するカオスとコスモスの関係を分析した。草稿研究をベースに、初期作品におけるジャコモ・レオバルディからの影響と、後期作品におけるポアンカレとの共通点を浮き彫りにした。

准教授 水内 智英

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 [デザイン理論]	2016. 4～2017. 3	授業の最後にその時間の内容と関連するテーマでミニレポートを書く時間を作り、書きながら考える体験を積み重ねられるようにした。また、授業最初には前回のミニレポートの中から数点を紹介しながら、関連する視点や事柄についてさらに解説を加えることを繰り返し行い、受講生の理解度向上をはかった。
[デザイン実技Ⅰ、立体造形]	〃	毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスを行った。また、過去の参考作品を効果的に使いながら、学生の理解向上をはかった。加えて、前後期にそれぞれ一回ずつ、グループワークでのワンデーワークショップの機会を設け、それぞれの回で新たなデザインの側面や方法を体験的に学ぶことのできる機会を設けた。
[デザイン実技Ⅲ-1 (LS)]	〃	特定のフィールドを設定して、丹念にフィールドワークを繰り返すことによって環境の特性を読み解き、より本質的な視点を得るための方法を体験させた。また、フィールドワークを通じて見いだした視点を他者に伝わる表現として編集することを求め、またそこから更にグループワークを経て具体的なデザイン提案へと展開するという一連のプロセスを踏めるような授業構成とした。また、授業の前半と課題講評時に人類学を専門とする講師を招き、人類学的フィールドワークの視点も授業に取り込んだ。
[デザイン実技Ⅱ-3 (LS)]	〃	モノをとりまく諸相についてより分析的に捉えられるよう指導が行えるよう、2つの関連した課題によって授業内容構成した。課題「If」では、普段見慣れたモノに、ある「仮定」を設定した上でどのようにその形態を変化させることができるのか発想し、条件と形態との関連について意識的に考える機会をつくった。課題「可能性発見からのデザイン」では、モノの「可能性：意図されていない使われ方」に目を向け、モノと使用者との関係について意識的に考える機会をつくった。
[デザイン実技Ⅳ (LS)]	〃	授業各回毎に小テーマを設け、そのテーマに応じた事例や考え方、社会的背景を解説し、併せて、それぞれの個別テーマについて面談方法で個別指導にあたった。とりわけ、同時代的なテーマに関心をもちやすいよう、インターネットに接続されたモニタを用意し、講義を進めながら、学生への質問へ答える形を取りながら、インターネット上の資料を示す工夫を行った。
◎作成した教科書・教材 [デザイン理論]	〃	難解な理論もできるだけ身近に感じられるよう、画像を多く使ったスライドを毎回用意し、新たに映像資料も講義に加えた。興味を持った理論を学生自身が引き続き探求できるよう、授業で扱ったテーマごとの参考書籍リストを作成した。

[デザイン実技Ⅲ-1 (LS)]	〃	デザインリサーチのためのフィールドワーク手順を簡潔にまとめた資料や、プレスト、シャッフル・ディスカッション、KJ法、ペルソナ手法、シナリオ手法などコンセプト立案のための手法をまとめた教材を用意した。また、課題書は授業の前後半のそれぞれの段階で学生が理解しやすいよう2つに分けて用意した。また、各課題で、作品アイデアを整理するためのワークシートを作成した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	〃	2016年度 [卒業制作 (LS)] に対する学生による授業評価アンケートにおいて、他授業の平均値と比べ、授業の理解度が非常に高く評価されたことは、個別の課題指導に多くの時間を設定し、丁寧な教育指導が行われていることによるものだと考えられる。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎著書 『日本地域デザイン史Ⅱ』	共著	2016. 12	芸術工学会地域デザイン史特設委員会編、美学出版	地域デザイン史について編纂された書籍の内、名古屋の食文化とその背後にある歴史的・産業的土壌について執筆した。pp115「名古屋めしの文化土壌」 共著者：黒田宏治、岡村穰、水内智英、他多数
『ヴィジュアルリテラシースタディーズ』	共著	2017. 3	中部日本教育文化会	ヴィジュアルリテラシーとその教育について、理論的・実践的に解説した書籍のうち、現代のデザイン状況とヴィジュアルリテラシーとの関係を論考した「誰もがデザイナー」である現代における、新たなデザイン力としてのヴィジュアルリテラシー」pp. 49-56、自らが開発した教育実践ツールへの解説「観察と気づきのための『Visual Literacy method card』」pp. 98-105に加え、ヴィジュアルリテラシーの理解のための書籍紹介2冊について解説pp. 142-143、pp. 146-147を担当した。共著者：茂登山清文、遠藤潤一、定國伸吾、鈴木宣也、水内智英、他
◎その他 [書籍装丁・プロジェクトブランディング] [高知県佐川町流ソーシャルデザイン [みんなで作る総合計画]]		2016. 4	高知県佐川町、NPO法人 issue+design、学芸出版社	NPO法人issue+designと高知県佐川町とが住民主体で作上げた総合計画を、町内外にそのプロセスと共に分かりやすく伝えるために書籍化した。アートディレクションを担当。また、一連のこの活動に関わるブランディングを行った。グッドデザイン賞2016 受賞。
[デザインプロジェクト企画・実施] Cultural Guest House Project		2016. 6 ~ 2017. 3	名古屋芸術大学、ブライトン大学	名古屋芸術大学とイギリスブライトン大学との姉妹校提携20周年記念事業としてブライトン大学の教授陣と共同研究を行なった。東海地域のマテリアルをリサーチし、それらを利用することで、地域の魅力を伝えるゲストハウスを制作した。駒井貞治との共同実施プロジェクト。



<p>[アートディレクション] 高知県佐川町「発明ラボ」 ロゴ・ヴィジュアルデザイン</p>	<p>2016. 7</p>	<p>高知県佐川町、NPO法人 issue+design</p>	<p>NPO法人 issue+designと高知県佐川町が実施した地域産業活性化プログラム「発明ラボ」のヴィジュアルコミュニケーションツールのアートディレクションを行った。</p>
<p>[デザインプロジェクト企画・実施] 触五山茶ブラッシュアップ 事業</p>	<p>2016. 9 ~ 2017. 3</p>	<p>岐阜県可児郡御嵩町、名古屋芸術大学</p>	<p>受託研究事業として御嵩町で栽培・販売される「触五山茶」を使った地域活性と魅力促進のため、中学校でのワークショップ、イベント、パッケージデザイン、PR用パンフレット作成等の一連の活動を行なった。</p>
<p>[研究発表] 日本における初年度共通デザイン基礎教育の実態調査・検証——デザインファンデーションプログラムの可能性と課題からその将来を展望する</p>	<p>2016. 7</p>	<p>日本デザイン学会第63回春期研究発表大会/長野大学、日本デザイン学会研究発表大会概要集 pp.228-229</p>	<p>日本における初年度共通デザイン基礎教育の実態をインタビュー調査等を通じて纏め、またそれらを検証し、今後のデザイン基礎教育のあり方について論じた。萩原周との共同発表。</p>
<p>[研究発表] Visual literacy as a designing ability in an age when everyone is a designer.</p>	<p>2016. 10</p>	<p>The Annual Conference of the International Visual Literacy Association / Concordia University, Canada</p>	<p>International Visual Literacy Association (国際学会)において、誰もがデザイナーとなった時代における、ヴィジュアルリテラシー教育の意義とその実践について口頭発表を行った。</p>
<p>[研究発表] Creating a visual literacy method tool foracquiring a designing ability in an agewhen everyone is a designer.</p>	<p>2016. 10</p>	<p>ヴィジュアルリテラシー国際シンポジウム「都市とヴィジュアルリテラシー」/名古屋大学情報科学研究科</p>	<p>ヴィジュアルリテラシー教育のために開発したツール「観察と気づきのための Visual literacy method card」の開発について口頭発表を行った。</p>
<p>[作品展示・ワークショップ] 観察と気づきのための「Visual Literacy method card」</p>	<p>2016. 10</p>	<p>「ビジュアルリテラシーの実践ツール」/名古屋大学プロジェクトギャラリー「clas」</p>	<p>ヴィジュアルリテラシー教育に利用する、メソッドカードを制作し展示を行った。また併せて会場ではワークショップを実施した。</p>
<p>[作品展示] 「デザインの理念と形成：デザイン学の50年」</p>	<p>2016. 10</p>	<p>東京ミッドタウン・デザインハブ/武蔵野美術大学基礎デザイン学科研究室</p>	<p>武蔵野美術大学基礎デザイン学科設立50周年を記念して行われた展覧会においてこれまでの活動をまとめた作品展示を行なった。</p>
<p>[講演] 「デザインと哲学の邂逅」</p>	<p>2016. 10</p>	<p>東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」</p>	<p>デザインと哲学の接点について、講演とトークセッションを行なった。</p>
<p>[講演会モデレーション] フードデザイン   デザインの視点で読み解く「食」文化 ユネスコ創造都市ネットワークフォーラム Food×Design</p>	<p>2016. 10</p>	<p>ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会/名古屋市公館</p>	<p>ルウエーのクリエイターズユニットfoodstudioのルナ・クロック氏、アル・ケッチャーノ オーナーシェフ奥田政行氏を交えて食・デザイン・生活文化の接点について語るトークセッションのモデレータを務めた。</p>

[作品展示] Cultural Guest House project 地域の魅力を伝えるメディアとしてのゲストハウス	2016. 12	Dialogue between Brighton and Nagoya/ 名古屋芸術大学アート&デザインセンター	名古屋芸術大学とイギリスブライトン大学との姉妹校提携20周年記念事業として行われた展覧会で、ブライトン大学の教授陣との共同研究の成果を発表した。駒井貞治との共同展示。
[講演] 「北名古屋未来若者会議」	2017. 3	北名古屋市役所	北名古屋市における、若者の市政への参加の可能性や、創造性を活かしたまちづくりについて講演を行った。
[講演] 「人との関係・仕事・まちをデザインする」	2017. 3	犬山市役所	犬山市新規採用予定者研修の一環として、デザイン力とは何か、なぜ行政にデザインが必要とされているのかレクチャーを行った。

講師 臼井 拓朗

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 制作テーマの抽出	2016. 4～7	担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。 身近なものや発見をモチーフにしなが、制作テーマを抽出させることで、“描くこと”が必ずしも描写力や技術的向上だけにとどまらず、テーマに則した表現手法があることを提示。技術的に不安がある学生が、描写力のある学生に対しての劣等感をもたず、自由に絵画表現することを目的とした。
ドローイングブックの作成	2016. 4～7	担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。 授業で制作したデッサンやドローイングを、自らのテーマに則した作品集のように綴じて提出を求めた。そうすることで、デザインで必要となる人に伝える力の養成とともに、作品集を学生同士が見せ合うことで、同じテーマであっても表現方法の違いを知るきっかけとなった。
プロジェクトの活用	2016. 4～7	担当授業「デザイン演習Ⅲ-1（MC）MCD」において実施。 ウェブデザインにおいて必要となる、UIやUXについての理解を深めるために、有名なサイトを例に挙げながら、時代とともに変化するインターフェイスとその構造を、制作しながら全体へ説明。また、学生からの個別の質問に対しても、プロジェクトを使用し答えることで、他の学生との情報共有を図った。
◎作成した教科書・教材 デザイナーによるドローイングの紹介・プリント	2016. 4～7	担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。 物事への観察と表現方法との関係を学ぶために、デザイナーによるドローイングを提示し、描く=写実的技術力という画一的な視点以外にも、様々な表現方法があることを説明。とくに、入試対策としてデッサンを行ってきた学生は、形式的な観察になってしまっており、表現方法も似ている傾向があったため、配布したドローイングの上から描き足すことで、今までとは違う表現技法を知るきっかけとした。

HTMLとCSSの説明用プリント	2016. 4～7	担当授業「デザイン演習Ⅲ-1 (MC) MCD」において実施。ウェブデザインにおいて最低限の理解が必要となるHTMLとCSSについて、初歩から応用までの要点を、図や作成例を交えながら各回で配布。 授業外での制作や、サイト作成時にメモを書き加えることで、どこまで理解が進んでいるのかの情報共有を目的とした。
------------------	-----------	---

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
模擬授業 (富山第一高校)	2016. 7. 8～9	ストップモーション・アニメーションを2日間で制作するワークショップを行った。初日は、コマ撮り映像の歴史と作品を紹介した上で、ストーリーの案出し、試作。2日目は撮影、編集とし、ストップモーション・アニメーション制作の基礎から編集までを学ぶ機会とした。
模擬授業 (名古屋市工芸高校)	2017. 1. 19	パソコン画面を利用した、ストップモーション・アニメーションを制作するワークショップを行った。パソコン画面に、紙に描いて切り取ったキャラクターを貼り付け、パソコン画面とともに写真撮影を行うことで、現実とネット画面の特性を生かした映像制作を行い、新しい資格表現を考えるきっかけとした。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
常滑フィールド・トリップ2016	グループ展	2017. 10. 8～16	常滑工房、他	古い建物に残された椅子や机を使用し、その場所でインスタレーションし、またそれらを利用した映像作品も同時に展示した。普段、作品制作に使用している道具とそこで使用されていた道具との関係に焦点を当て、道具が並べられ、置き換えられる様子を、俯瞰(垂直方向)視点で撮影し、ストップモーション・アニメーションとして提示した。

教授 橋本 裕明

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 (ドイツ語)		ほとんどの学生にとって未学修であるから、まずは発音と基礎文法を集中的に教えた。とくに本学では、動詞の人称変化は現在時制の規則変化のみ、名詞の格変化も規則変化のみを扱った。こうした方法は(ドイツ語Ⅱ)でも同様で、2格支配の前置詞を排除し、形容詞も強変化は教えなかった。そうする中で、平易な長文の読解をくりかえし実践させた。(ドイツ語Ⅲ)の場合は、学習意欲が高い学生が対象となるので、ここでは中級入門を目指して、関係代名詞や接続法まで教えながら、比較的難解な講読を試みた。なお本学のドイツ語では「使える外国語」をつねに念頭に置き、実践的な運用という点にも心がけた。

<p>〈宗教文化論〉</p>		<p>西洋文化を理解する上で必須の知識を提供するために、ギリシア神話とキリスト教を中心に授業を展開した。そのさい原典主義をとりギリシャ語テキスト資料をつねに用いた。さらに周辺の知識としてユダヤ教、イスラムの思想世界を紹介し、エジプト、ローマなどの時代史も教えた。最後に、東洋に目を注ぎ、ブッダの宗教と大乘仏教、後者については浄土仏教（親鸞、一遍）、禅仏教（道元、一休）の思想を説明した。</p>
<p>〈図像学〉</p>		<p>その理論としては、エルヴィン・パノフスキーとルーロフ・ファン・ストラッテンの図像学理論を紹介し、後者に基づいて、西洋宗教画（神話を含む）の諸図像の解釈を試みた。</p>
<p>◎作成した教科書・教材</p>		<p>1.〈ドイツ語〉に関しては、『アーメランRE』（朝日出版社）、2.〈宗教文化論〉については、フランシスコ会訳『新約聖書』と映像および作成プリント、3.〈図像学〉においては、多くの映像資料と作成プリントおよび映画「二人のマリア」などを用いた。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
<p>学生部長</p>	<p>～2017. 3. 31</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
<p>◎学位論文 「タウラーのキリスト信従とグルント神秘主義」</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>筑波大学大学院人文社会科学研究所</p>	<p>論文博士として、「博士（文学）」の学位を授与された。 〈内容〉中世後期ドイツの神秘家説教者ヨハネス・タウラーの思想の独自性を明確にするために、師であるエックハルトとの比較を行ってその「信仰神秘主義」の立場を浮き彫りにし、その上で独自の魂論（神秘的合一のダイナミズム）を考察した。</p>
<p>◎学術論文 「H・ヘッセ『東方への旅』の魔術的機能—前期ロマン派ノヴァーリスとの関連において—」</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>名古屋芸術大学研究紀要第38巻</p>	<p>ヘッセ最後の長編『ガラス球遊戯』（1943）と思想的な面で通底し、その基礎をなす、夢想的で幻想的な中編『東方への旅』（1932）の難解な物語を、ノヴァーリスの魔術的観念論（Magischer Idealismus）の立場から読み解くことを試みた。</p>

## 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

教授 茂登山 清文

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	前・後期授業全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像と音楽、図版等のマルチメディア資料を講義時に多用した。</li> <li>・スライドに文献や引用文を表示する時に、原文（英語、仏語等）を可能な限り併記した。</li> <li>・毎回、コメントカードを取り、その次の授業でそれに答える形でスライドを再度みせ、授業の効率化を図った。</li> <li>・学外でおこなわれた授業に関連する後援会や展覧会についてレポート提出を求めた。</li> </ul>
◎作成した教科書・教材	前・後期授業全般	教科書は特に指定していないが、講義内容をより高度にまとめて書籍することを意図している。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
愛知県児童総合センター「遊具・遊びプログラム開発研究会」委員長	2016. 4～2017. 3	愛知県児童総合センターが主催する研究会の座長および、その公募展「汗かくメディア」の選考委員長を務めた。あわせて、その講評を執筆した。
中川運河再生文化芸術活動助成選考委員会副委員長	2016. 4～2017. 3	名古屋都市センターが主催する「中川運河助成ARToC10」において、助成対象を審査、選考する委員会の副委員長を務めた。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎著書 ヴィジュアルリテラシー スタディーズ	共編著	2017. 3	中部日本教育文化会	国内外の研究者による「ヴィジュアルリテラシー」研究の成果をまとめ、編集、出版した。日本においてはいまだ途上にある、高等教育における視覚教育について、デザイン学、情報学を中心とする研究者が、理論と実践の両面から論考を加え執筆した。あわせて参考となる主要な文献の解説を収録している。
◎学術論文 建築物の外壁素材とその経年変化の視覚化のためのアプリケーション	共著	2016. 6	日本図学会「図学研究」第50巻1・2号 通巻149号	都市に風景を取り戻すことを大きな目標とし、価値観と建築におけるデザインリテラシーの関連性について風土学的な観点から考察を行った、その考察をふまえ、建物の経年変化を可視化し、デザインリテラシーの向上を目的としたアプリケーションを設計し開発した。またトライアルテストを行い、フィードバックを得た。

ヴィジュアルリテラシーとは	単著	2017. 3	中部日本教育文化会『ヴィジュアルリテラシー スタディーズ』	見ること、視覚にかかわる力を「ヴィジュアルリテラシー」と言う。いまだ定着してはいないその用語について、歴史を通観しつつ、おおまかな輪郭を描いた。影響力と学術性という観点から二つの定義を解説し、その多様なひろがり、定義の困難さについて考察を加えた。さらに、その必要性と効用をまとめ、ヴィジュアルリテラシーの今後についてふれた。
ヴィジュアルリテラシーと空間	単著	2017. 3	中部日本教育文化会『ヴィジュアルリテラシー スタディーズ』	ヴィジュアルリテラシーを、見る対象としてのイメージに限定することなく、ひろく見ることに関係させ論じようと試みた。H. ガードナーや D. アラスを参照しながら、イメージの理解においても、その参照項として立体物や空間が重要となることを示した。
◎その他 イメージをこえてヴィジュアルリテラシーを考える	共著	2016. 5	日本図学会春期大会	ヴィジュアルリテラシーとは見ることに関わるリテラシーであると考え、視線の対象となるイメージをこえて見ることに着目し、その例を挙げながら、ヴィジュアルリテラシーの定義を再考する契機とする。
大学における「アート・リソース」の活用について	共著	2016. 6	第11回日本博物科学会	大学のもつアート・リソースの活用にむけて、その社会的貢献と、教育・研究との連携という視点にたち、これまでの取組みと今後の方向性をまとめた。
The proposal of utilization of historical relics' data museum own using augmented reality	共著	2016. 7	ICOM 2016, Milano	歴史的遺構に関する知識を人々に広く拡散し、その貴重性を認識することを目的に、ARを用いて、歴史上の時間と現在をつなぎ、同時に、写真をサーバ上にアップロードするシステムにより博物館と遺構の立つ現地との場所とを繋ぐ。
場所の目録(執筆とトーク)	共著	2016. 9	長者町宮本ビル	長者町宮本ビルで開催された展覧会「場所の目録」に関連して、場所とインデクスという二つのキーワードから、4人のアーティストがひろく可能性について考察を加えた。
A system for connecting the past and present, and the real and virtual of historical sites using ICT	共著	2016. 10	International Symposium on Visual Literacy 2016 "Visual Literacy and Urbanscape"	中川運河の松重開門へ市民を誘導し、その位置にしたがって古写真をスマートフォン上に表示し、また、市民が撮影した現在の開門の写真ネットワークを通じて都市センターでプロジェクションするシステムを提案した。
ICTを用いた歴史遺構アーカイブデータの活用	共著	2017. 3	日本図学会中部支部例会	歴史遺構についての知識を拡散すること、アプリケーション利用者を博物館や図書館へ誘引することを目的に、歴史遺構記録のアーカイブ、写真データを用いたARアプリケーションを開発した。

ブックガイド	単著	2017. 3	中部日本教育文化会『ヴィジュアルリテラシー スタディーズ』	ヴィジュアルリテラシーに関する重要な文献である四冊の著書、ジャン=クロード・フォザ、アンヌ=マリ・ギャラ、フランソワーズ・パルフェ『イメージリテラシー工場—フランスの新しい美術鑑賞法』、W. J. T. Mitchell [『Picture theory』]、James Elkins [『Visual studies: Skeptical Introduction』]、James Elkins [『Visual Literacy』] について解説した。
--------	----	---------	-------------------------------	--

准教授 茶谷 薫

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式の科目（生物学、生態学、人類学）においてはパワーポイント形式のスライドを作成し、それに対応する印刷資料を渡し、また関連する動画を数分間、流し、視聴覚的にも理解できるようにした。</li> <li>・演習形式の科目（大学生になる）では、学生の顔と氏名をいち早く覚え、各学生に対応できるよう工夫した。</li> <li>・調理実験とそれについて解説する講義を両方行う科目（教養講座自然）ではレシピを記したプリントを毎回作成、配布し、理解を深めるために写真や板書で実験の裏側にある生物学的、化学的、物理学的な原理を講義した。</li> <li>・オフィスアワー、それ以外の時間帯にも、一年間に延べ百名を超える学生の相談に乗った。</li> </ul>
◎作成した教科書・教材		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のように、講義の各回における印刷物を毎回作成、印刷し、学生に配付した。</li> <li>・子どもの発達において重要な「入れ子」遊びの例を示すために、紙で入れ子の箱を作成し、提示した。</li> <li>・二酸化炭素について学修する際、炭酸水を自作する方法を教えるため、OHCで炭酸水を作る様子をスクリーンに映して見せた。</li> <li>・調理実験がある授業では、レシピを毎回作成し、実践的に好ましくない例を見せることで、巧く実験できるように促した。</li> <li>・上記の実験では、麦の種から麦芽を育てることも学生にさせるが、教員側でもあらかじめ行い、各日齢の写真を撮影し、それを映像資料とした。</li> </ul>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 保育内容の理解を深めるための育児体験マンガ活用—特に保育内容「環境」に関連して—	単著	2017. 3	名古屋芸術大学研究紀要第38巻 179～194頁	子育てを経験しておらず、実際の子どもの姿を余り深く知らない幼保志望の学生たちが保育内容について学修する上で、漫画家自身が体験したことを作品化した子育てマンガが有用である。2つの作品を例に挙げ、保育内容の五領域、特に環境に関して、具体的な場面を記述し、考察した。

総合的学習と教養教育を基盤とした地域の文化拠点形成に向けて	単著	2017. 3	名古屋芸術大学教職センター紀要 第5号 73-80頁	中核都市から離れた地域における文化的な拠点づくりを意識している喫茶店において、主に社会人を対象とした総合的学習と教養教育に関わる講座を著者が二回開催したことについて、報告を行った。
工場地帯の道	単著	2016. 6	フィールドから：観察の友 134号、1259頁	碧南市の工場地帯における道路の特徴を報告し、考察した。
平坦な中の「高さ」	単著	2016. 6	フィールドから：観察の友 134号、1260頁	標高が低く津波被害も想定されている碧南市南部の高低差について観察、分析、考察した。
かつての線路と駅	単著	2016. 6	フィールドから：観察の友 134号、1265頁	廃線となった名鉄三河線の碧南駅以南の駅や線路について考現学的に観察、考察した。
物理的境界から社会的・文化的境界まで	単著	2016. 9	フィールドから：観察の友 135号、1272-1273頁	境界（ボーダー）について目に見え、手にもできるものから、見えない社会的・文化的なものまで網羅的に考察した。
マスクのつくる境界	単著	2016. 9	フィールドから：観察の友 135号、1275頁	学生をはじめとする多くの日本の人がマスクをする理由には防疫以外の心理的なものがあることを考察した。
「温暖化」と水害	単著	2017. 2	フィールドから：観察の友 136号、1284頁	水害を科学的、生態学的に捉えたと、どのような問題が現代にあるのかが分かる。このことを報告した。
水を探す	単著	2017. 2	フィールドから：観察の友 136号、1284頁	水が必要不可欠な生物としての人間が、乾燥地帯でどのように水を求めて行動しているかなどを報告、考察した。
名古屋芸術大学ゼミナール活動報告(2)	単著	2017. 3	名古屋芸術大学人間発達研究所年報、第5・6巻合併号、15-25頁	人間発達学部のゼミナール活動および、「大学生になる」の活動について報告した。
◎その他				
碧南いろいろ詰め合わせ	単 独 発表	2016. 8～9	碧南・日常観察展（8/3-9/4）、愛知県碧南市中町2-16、カフェ・カノン	碧南市で観察される、考現学的、人類学的に興味深い物をミュージアムボックスに仕立て、ギャラリーカフェに展示した。
誘導的に観光地化する街	単 独 発表	2016. 8. 21	夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 午前の部：変わってゆく町の観察と研究/表現の広がり	石川県金沢市を例に、政策的、商業的な意図を明確にして観光地化していく事例を紹介し、考察を発表した。
境界をめぐって	シンポジウム 中の単 独発表	2016. 8. 21	夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 午後の部：軒下ミュージアム	軒下というものは、家と外の境界であるが、そのことから岡本信也氏が企画したシンポジウムの一部として、障壁、境界に関する様々な事例を紹介するとともに、それらの長所と短所を考察したことについても問いかけをした。



准教授 早川 知江

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎教育方法の実践例 「英語1」 「英語3」 「教養講座（社会）」 「外国語活動」</p>		<p>「英語1」は、英語の絵本を講読する形式。絵本の画像をスライドで映写し、理解を深めるとともに絵本の楽しさを味わえるよう工夫した。本文に含まれる文法事項の解説にもスライドを利用した。その理由は、1. 板書よりも学生に見やすい 2. 授業中の書き込みが容易 3. 視聴覚的要素で理解を深めるとともに学生の興味をひくため。</p> <p>「教養講座（社会）」は、学生がグループで協力して絵本を制作し読み聞かせをするプロジェクト授業。前半の絵本に関する講義では、やはり映像資料を多く用いて、学生の理解を深めるとともに、絵本の楽しさを味わえるよう工夫した。後半のグループ活動では、全員がそれぞれの得意分野を生かして制作・読み聞かせに協力できるよう、学生どうして話し合わせ、チームプレーを促した。</p> <p>そのほか「英語3」「外国語活動」を含め、英語の授業はほぼ毎回小テストを実施し、こまめな復習と学習内容の定着を図った。</p>
<p>◎作成した教科書・教材 「英語1」 「英語3」 「教養講座（社会）」 「外国語活動」</p>		<p>「英語1」は英語の絵本を講読する形式で、毎回、絵本本文をプリントにして配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。</p> <p>「英語3」は、社会の中で用いられる英文を用いて実践的な語学力を身につけるため、TOEICの対策本などを利用したが、問題の解説については自作のプリントを使用し、内容を理解しやすいよう工夫した。</p> <p>「外国語活動」については、市販の教科書『Bright and Early：子供に英語を教えるための教室英語』を中心的に用いたが、活動にバリエーションを持たせるため、英語の子供の歌などを適宜使用した。</p>
<p>◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 「英語1」 「英語3」 「外国語活動」</p>		<p>学生による授業評価結果（後期のみ）は次の通り：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「英語1」は、同じ教材を用いて東西合計3クラス開講したが、どのクラスもほぼすべての項目に対して「学部平均点」と同じか、やや良い結果だったため、ほぼ平均的な授業と受け止められていると理解した。同じ教材・同じ方法で教えたように認識しているが、クラスによりやや数値が異なるのは興味深かった。その理由については、どの項目に何点をつけた学生が他の項目に何点をつけたか、といったクロス分析がないので何とも言えないが、学生の自己評価（設問3, 4, 5）が高いクラスでは、教員に対する評価（設問1, 2, 3）も高い傾向があるように思われる。</li> <li>・「英語3」はTOEIC testの模擬試験も取り入れた実践的授業であったため、他の英語の授業よりレベルは高かった。そのため、設問4（授業内容を理解できたか）が、私が担当した他の科目よりも低かった。しかし、設問8（授業への満足度）や設問10（教科書・プリントの有益さ）に対する評価は高かった。これは、授業の最初と最後に模試を行ったため、自分の上達度が実感でき、難しい内容ながらも達成感が得られたためだと考える。</li> </ul>

			・「外国語活動」この授業は、人間発達学部の主に小学校教員免許希望者が選択で履修する科目のため、毎年受講生が少なく、今年も4人だけだった（1人は登録のみで1度も出席がなかったため、人数から除外して考える）。人数が少ない授業の方が、全般的に評価が高くなる傾向があるが、この授業もそうだった。設問9（集中できる環境だったか）の評価が良いことなどは、特にそれが原因だと考えられる。
--	--	--	--

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 「絵で表せる意味、文で表せる意味：絵本の文を絵にする」	単著	2016. 10	『Proceedings of JASFL』 Vol. 10： pp. 1-13 日本機能言語学会	絵本には、絵でのみ表される意味、文でのみ表される意味がある。絵を見ずに、絵本の文だけ聞いた被験者（本学学生の協力を得た）が、文の内容をどのように絵で表したかの実験データを分析することで、「意味」には、絵にしやすい意味と絵にしにくい意味があることを示した。
「外国語活動」と絵本：言語理解における絵の役割」	単著	2017. 3	『名古屋芸術大学教職センター紀要』第5号 pp. 43-54.	英語を学び始めたばかりの小学生に対しては、理解できない英語表現の説明の仕方に工夫がいる。様々な外国語教育研究により、「日本語に訳す」ことよりも、「英語を英語のまま理解させる」ことの重要性が指摘されている。絵本は、絵によって、日本語訳に頼らず内容を理解させる重要な教材となりうる。実際の絵本を例にとり、児童が解釈に躓きがちな本文に対し、絵がどのような解釈のヒントを与えているか、実例とともに論じた。
「英語授業での絵本の利用—語彙文法理解への絵の役割—」	単著	2017. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』第38巻 pp. 233-248.	絵本の絵が本文解釈の助けになることは、子ども相手の授業に限らない。絵本の本文は、大学レベルの授業でも解釈に躓く部分が多く含まれる。本稿では、大学での実際の英語講読の授業で多くの学生が役に躓いた部分を取り上げ、絵が内容解釈にどのようにヒントになるかを論じた。
◎その他 学会発表 「絵本の中の「いたずら」：SFTの枠組みで効果を語る」		2016. 10. 8	日本機能言語学会（JASFL）第24回秋期大会（立命館大学 びわこ・くさつキャンパスにおいて）	絵本には、読者を楽しませる工夫やしかけがたくさんある。それらの工夫について、なぜ面白いのか、その効果がどのように生み出されるのかを明示的に語る事が、絵本の特性を明らかにするためには欠かせない。本発表では、「隠れ登場人物」という工夫に焦点を当て、有名な古典絵本 <i>Goodnight Moon</i> の中にもどのような登場人物が隠れているか、それを見つけてくれることが読者にとってなぜ面白いのかを、画像の文法の観点から分析した。結果として、representational（内容的）、interactional（対人的）、compositional（構成的）の3つの意味

				が協力することで、i) 読者を観察者と位置づけ、ii) 「覗き見」的状況を生み出して観察を面白くし、iii) 隠れ登場人物を見つけにくくすることで搜索を盛り上げ、iv) 隠れ登場人物に対して親近感をもたせる、という効果が生み出されている。
--	--	--	--	---

## 人間発達学部 子ども発達学科

教授 鈴木 岩雄

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2014. 4～	<p>「相談援助」「保育相談支援」においては、実践にすぐ使える基礎的、基本的な相談援助の知識の習得がまず必要であり、必要な事項をしっかりと理解させ、実践にすぐ活用できるよう、精選した要点を載せ、特に重要な事項は、空欄にしており、OHCを活用して、内容を映し出し、各自に書かせるプリントを作成した。</p> <p>「家庭支援論」及び「生活と福祉」においても、精選した要点を載せ、重要な事項は、空欄にしたプリントを作成し、OHCを活用して、内容を映し出し、各自に書かせるとともに、関連する新聞記事や国の発表する最新の図表を映し出し、理解を深めさせた。また、そのプリントには、事項に関連する社会的問題や事件などについて、今までの学習や体験をもとに自分の考えや思いを書かせる欄を設け、書いたものを発表させた。</p>
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		本学の授業評価（授業アンケート）では、すべての項目に関して、ほぼ学部平均だった。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
	2008. 4～現在	障害者総合支援法に基づく、地域における障害者の自立支援にかかる協議会（「尾張中部福祉圏域障害者支援協議会」）の会長として、周辺自治体、学校、児童相談所、職安、保健所、障害者支援団体・事業所、障害者・家族等との障害問題に関する協議や関係者や一般住民を対象とする講演、研修の機会を企画・運営してきた。（各年度）
	2012. 4～現在	<p>愛知県社協の実施する「福祉サービス第三者評価センター」の第三者評価基準等委員会委員として、企画・運営に参画するとともに、保育所、障害者施設の調査評価者を対象とする養成研修の講師を担当してきた。（各年度）</p> <p>平成28年度は研修科目「愛知県版の考え方と評価基準の構成」の講義を担当した。</p>
	2016. 6	北名古屋市が実施主体となる「子育て支援員資格研修」の運営委託を受け、カリキュラムの策定、講師の配置・調整等の事務を担当するとともに、「子ども・子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」「対人援助の価値と倫理」「地域型保育の保護者への対応」等の講義を担当した。

著書，学術論文等の名称	単著， 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎著書 新・保育内容総論	共	2010. 4	(株)みらい (215頁)	「第二章 保育所保育指針・幼稚園教育要領の保育内容の構造」を執筆。 平成19年3月改定の「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」の目的・目標、考え方などの基本的事項、及び保育内容の領域の考え方や構成、「ねらい」・「内容」などの具体的事項について解説した。(pp. 34-51)
◎学術論文等 少子化社会における保育環境のあり方に関する総合的研究（共同研究）	共	2009. 3	平成19年度～21年度 厚生労働科学研究	平成19年度、20年度は、共同研究として、保育所における最低基準（物的・人的）の増減が子どもと保育者にどのような影響を及ぼすかを、諸外国の文献、先行研究や全国の保育所を対象としたアンケート調査の結果を分析し、保育環境の在り方を考究し、保育環境のあるべき姿を厚生労働省に提言した。（共同研究 民秋言他）
少子化社会における保育環境のあり方に関する総合的研究（共同研究）	共	2010. 3	平成19年度～21年度 厚生労働科学研究	平成21年度においては、引き続き、保育環境の実態を明らかにし、そのあるべき姿を提言するため、共同研究として、全国の保育環境の実態を調査・分析し、その科学的根拠づけを考究するとともに、「児童福祉施設最低基準の制定の経緯」に関しては、鈴木が分担し、保育所に関する最低基準の制定の意図とその後の改正の背景とその経過をまとめ、3年間の研究総括を厚生労働省に提言した。（共同研究 民秋言他）
児童福祉施設最低基準の果たした役割—保育所における最低基準を中心として—	単	2010. 3	名古屋芸術大学研究紀要(2010年)	保育所を中心に「児童福祉施設最低基準」について、その制定の経緯と理念を厚生省の資料や文献からまとめ、その後の充実させてきた過程、変遷を整理し、最低基準の果たしてきた役割と意義を明らかにし、近時進められている「最低基準」の見直しが今後の保育の質の確保・向上にどのような問題をもたらすのかを考察した。
保育所保育士の受け持ち子ども数に関する調査研究	単	2011. 3	名古屋芸術大学研究紀要(2010年)	保育士が保育所保育指針に示す保育を実施するに当たり、保育士が受け持つ子ども数と保育内容の関連性を考察するため、愛知県津島市及び高浜市の保育所に対してアンケート調査を実施した。その結果、保育現場では、保育士が担当できる子ども数は、保育の臨機応変性（柔軟性と包容性）により対応されていること、子どものもつ集団の力、保育士同士のチームワーク力が関係してくることがわかった。

保育所実習指導に関する研究—実習教育のあり方の検討—	共	2014. 3	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 (2014 H26) (25～38頁)	<p>本学の保育所実習および実習教育の質的向上を目的に、2013年度の保育所実習Ⅰを終えた2年次実習生にアンケート調査を実施し、実習に関する課題、指導のあり方等を検討した。実習生の課題として、保育者の基本的視点や意識すべき観点を捉えなおす必要性、子どもとの関わりの実践経験の積み上げの必要性等が示唆された。</p> <p>鈴木は「1 保育士養成カリキュラムと矮躯実習の意義」を担当した。(pp. 25-28)</p> <p>(共同研究：吉村美由紀、鈴木岩雄、森田裕之、渡邊美和子)</p>
----------------------------	---	---------	--	--

## 教授 豊田 和子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 視聴覚教材の活用によるアクティブラーニング	2016年度前期	「保育者論」の授業では、保育園・幼稚園の先生の仕事を学ぶため、DVDによる学習を取り入れ、臨場感を持つ授業工夫をした。保育の場面の記録などを討論するアクティブラーニングの教育方法を試みた。
ワークシートによる授業工夫	2016年度後期	「保育原理」の授業では、毎回、ワークシートを配布して、そこに学生の学びや理解、考えたことなどを記録させ、授業後に回収して、次回までに赤ペンを入れて返却した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2017年度3月	後期担当授業の学生アンケートでは、以下のような評価だった。「保育者論」では、3.8点で、学生からは「わかりやすい授業であった」「興味を持った」という評価を得た。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 幼小接続カリキュラムの視点から野村芳兵衛(1896～1982)を読み解く—「遊び」と「学習」を中心に—	単著	2017. 3	名古屋芸術大学研究紀要第38巻	<p>現在課題となっている幼小接続の在り方について考察するために、児童の村小の生活教育論の実践家として著名な野村芳兵衛の著作から、「遊び」と「学習」について論じているものを解説した。野村は、子どもの教育には「育つ教育」と「育てる教育」があることを示し、とりわけ「育つ教育」には、子どもの生命・生活の原理が有効であるとして、学校教育に「遊び」を位置づけることを提唱した。氏の主張は、遊びと学習は、子どもにとって分けられるものではなく、その両方がカリキュラムとして重要であるという立場を示した。本論では、このような幼小接続のカリキュラム観にたつ野村が提示した指導計画にも触れ、幼児期と小学校教育の連続性、接続のカリキュラム構築の課題にとって、野村の主張から学びなおす意義がある、と述べた。</p> <p>pp. 201-215</p>

<p>中堅保育者による自己認識と保育実践力を高めるための課題についての考察—中堅後期（11～14年経験）保育者へのアンケート調査から—</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>名古屋芸術大学教職センター紀要 第5号</p>	<p>保育者の専門性や資質向上が課題となっている現状の割には、現職保育者を対象とした自己認識・自己課題をテーマとした先行研究が少ないことから、本稿では、現職の中堅後期保育者（11～14年経験者）を対象としたアンケート結果から考察をした。中堅後期保育者の自己認識としては、「直接的な保育実践力関する」自信は大きい（52.8%）、「保護者対応」（30.2%）で、逆に「職場の人間関係」（17.0%）と低いことが分かった。悩みや困りごとに関しては、「後輩保育者への指導助言」（32.2%）、「職場のチームワーク」（25.8%）、「中堅のマンネリ化」（24.2%）であった。特に、後輩保育士への助言が伝わらないという悩みを多くの保育者が持っていることが判明した。 pp. 29-41.</p>
<p>（その他） 戦前戦後の幼児教育・保育に関する実証的研究（1）—幼稚園の事例から—</p>	<p>共著</p>	<p>2016. 8</p>	<p>日本教育学会大70回大会発表論集</p>	<p>科研（15K04334）助成を受けて行った実証的研究の「幼稚園」における実際をまとめて発表した。堅磐信誠幼稚園（名古屋市）、小倉幼稚園（小倉市）、小川幼稚園（京都市）の3園から得られた当時の保育資料を分析した。分析項目は、行事、保育内容、保育者の思い、研修、子どもの生活などで、戦前と戦後の共通点・相違点を明らかにした。特に、昭和19年・20年になると幼稚園教育に戦時色が強く表れていることが、保育の記録から明らかになった。 （共著者：清原みさ子・寺部直子・榎原菜々枝） pp. 37-38.</p>

教授 中嶋 理香

<p>教育上の能力に関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>◎教育方法の実践例</p>		<p>学生の生活している「現在」と「子どもの育つ環境」を関係づけるように「社会」の動きに関する視聴覚教材を積極的に用いた。NHKやその他のTV番組、新聞記事等をこまめに収集し、学生に見せた。 学外講師として、あいち小児保健医療総合センターの臨床心理士、AJUで障害者の支援を実施しているワーカーから話を聴く機会を設けた。</p>
<p>◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価</p>		<p>学生アンケートは、資料の提示時間が短いことや講義環境に対する意見が寄せられている。この点に関して、パワーポイント1枚に入れる情報量を一つとし、紙媒体の資料を多く次年度は取り入れる予定である。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
	2016. 6	北名古屋市からの依頼事業：家庭的保育養成講座・講師 教職員を対象とした免許更新講座の講師
	2016. 8	愛知県現任保育士を対象とした乳幼児保育講習会講師
	2016. 4～2017. 3	附属 クリエ幼稚園のコンサルテーション業務を実施
	2016. 4～2017. 3	杏嶺会 発達支援センター あおむし主催「尾張地区ST勉強会」講師
	2016. 3	京都北総合支援学校 高等部 研究部会 講師

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
「特別支援学校高等部における発達と社会経験を加味したアセスメントシートの利用とキャリア支援に向けた取り組み」	共著 (筆頭)	2016. 8. 26 ～27	第51回日本発達障害学会 (京都教育大学)	特別支援学校高等部生徒を対象にした発達水準、社会経験と進路先の関連性を検討した。その結果、7歳水準の発達水準にあると、社会経験が拡がり、就労移行支援を行っている事業所へ進むことができることが分かった。

### 准教授 鎌倉 博

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		①小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針にあるねらいを学生に理解できるよう明示する。 ②屋外や大学周辺のフィールド等も活用して実習活動を取り入れた。 ③自身が小学校・幼稚園現場で作成した授業プリントや学級通信、子どもの作品などを具体的に提示したり、撮影してきた写真をスライドショーで見せたりして実践イメージを深めた。 ④学生自身の討議・発表力育成の場を極力設けた。 ④ゼミで担当するⅡⅢⅣの学生の交流を図り、最後に1つにまとめた『研究集』冊子を作った。
◎作成した教科書・教材		①小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針、並びに拙著『きらめく小学生』を主に使用した。 ②自前の授業プリントを毎回作成するとともに、学生が討議した際にはそのまとめを原稿データ化し授業通信も作成して活用した。 ③優れた実践記録や研究書も補助教材として活用した。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		「2015年度授業アンケート調査結果報告書」の個人データをいただいた。その結果、担当した授業やゼミではほぼ学部平均超えの評価点であった。
◎その他		北名古屋市の「緑のカーテン」事業に協賛し、授業の一環として学生と委嘱し栽培・美化に努めた。



職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要	
附属クリエ幼稚園長	2016. 4. 1～現在に至る	幼稚園経営を進めるとともに、教育実習以外にも名芸生と幼児と触れ合う機会が増えるように相互を繋ぐ仕事を進めた。	
全学学生委員会	2015. 4～2017. 3	標記委員会の議論に参加し、与えられた任務を遂行する努力をした。	
全学FD・SD実施点検委員会			
全学教職センター委員会			
学部学生委員会			
学部将来計画委員会			
全学入試改革委員会	2016. 4～9		
学部春を呼ぶ芸術フェスティバル実行委員会	2015. 4～現在に至る		
学部入試改革プロジェクト	2017. 1～現在に至る		
学部広報活動としての高校訪問・模擬授業等	2015. 4～現在に至る	入試広報に関わる要請に積極的に応えた。	
実習指導	2015年度～現在に至る	実習現場での小学校・幼稚園・保育所・施設実習生を激励・助言するとともに、保育所実習指導Ⅱを担当し事前・事後指導にも当たった。	
就職試験対策指導	2015年度～現在に至る	校務としての割り当てだけでなく学生からの求めにも応じて、教員・保育士試験のための履歴書・小論文作成、面接・グループ討議指導を行った。	
名古屋芸術大学保育専門学校教育課程編成委員会	2016. 4～現在に至る	それぞれの要請に応じて、任務遂行に努めた。	
名古屋自由学院滝子幼稚園アドバイザー	2016. 4～現在に至る		
愛知県立大学非常勤講師（保育内容論環境）	2016. 4～現在に至る		
愛知県私立幼稚園連盟理事	2016. 5～2017. 5		
愛知県私立幼稚園連盟愛北支部長	2016. 5～2017. 5		
福祉法人ゆたか会あかつき共同作業所まつり支援活動	2015年度～現在に至る		
日本生活教育連盟第69回夏季全国研究集会分科会世話人（現在は代表世話人）	1985年度頃～現在に至る（生活指導、ことばと教育、幼年教育の分科会で）		各所属学会・研究団体・研究集会の中のそれぞれの分科会をとりまとめ、当日の司会進行や、報告される実践について今後実践がさらに発展する立場で評価したりアドバイスしたりした。
民主教育研究所教育課程研究委員会委員（名古屋に移住したため現在はオブザーバー委員）	2006年度～現在に至る		
東京教育研究集会国語教育分科会共同研究者	2014年度～現在に至る		
教育研究全国集会生活指導・自治活動分科会共同研究者	2015年度～現在に至る		
愛知の教育を考えるつどい小学校の授業・学級づくり分科会共同研究者	2016年度～現在に至る		

第69回日本保育学会E3幼保一体化・幼保小連携など座長	2016. 5. 8
-----------------------------	------------

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎学術論文 2つの幼稚園で挑んでいる「心感創造の教育」	単	2017. 2. 18	名古屋芸術大学生涯学習講座紀要 pp. 6①-6⑩	自身が園長として関わった2つの幼稚園での取り組みとして、子どもたちの意欲をクラス活動として発展させていった事例を紹介し、それを意義づけた。
『ろくべえまってるよ』の教科書教材文の考察—初版絵本文との比較研究から—	単	2017. 3. 20	名古屋芸術大学教職センター紀要 第5巻 pp. 15-28	教科書教材にある文学作品が初版された絵本から書き換えられていることから、作品の価値が損なわれていないかをまず検証し、その価値を落とさずにできる授業のヒントを提起した。
世界の学校とつながって教育のあり方を考える—韓国の新教育とミラル・トゥレ学校—	単	2017. 3. 30	名古屋芸術大学研究紀要 38巻 pp. 85-104	受験体制が日本以上に厳しい韓国において、慈悲と博愛の精神から子どもを大事にする教育を展開する動きがある。その象徴としてのミラル・トゥレ学校について、現地視察等と私が企画した特別公開講座でのチョン校長の講演をもとに紹介し意味づけた。
教員・保育士を目指す学生の動物に触れる体験の意義と授業実践	単	2017. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第5・6巻合併号 pp. 1-14	そもそもなぜ「動物との関わり」が子どもたちにとって有益なのか多角的に分析しながら、その意義を発揮できる幼稚園教員・保育所保育士を目指して大学で何が出来るのか、しなくては行けないかを考察した。
◎学会発表 幼小連携の鍵となる開かれた小学校と教育連携	単	2016. 5. 8	日本保育学会第69回大会 E3 幼保一体化・幼保小連携など	同じ敷地にある幼稚園と小学校の教育連携を図るために、自身が校長兼園長としてコーディネートしてきた際の経過と障壁についてまとめ、幼小連携に向けての教訓と課題を提起した。
今、学力の質を問う	共同	2016. 6. 25	中部教育学会第65回大会公開シンポジウム	中部大学豊田ひさき先生がコーディネートするシンポジストの1人として発言。小学校教員33年の経験を標記テーマで集約し、特に「学力の質」についてどのようにとらえ、どのような研究活動を進めていけばよいかについて提起した。シンポジストは他に川地亜弥子神戸大学大学院准教授と湯浅恭正中部大学教授。
国語科のカリキュラムをレイアウトする	単	2016. 8. 6	日本生活教育連盟第68回夏季全国研究集会ことばと教育分科会	国語科の性格がどのように変遷してきたのかをまず紹介した上で、ことばを味わって読み表現する時間に特化した国語科カリキュラムに精選していくことの必要性を、実際の授業実践を通して提起した。

◎実践報告・分析文等 5年生の体の変化と1人1人の心を見つめ合う	単	2016. 7. 1	愛知民間教育研究団体連絡協議会機関紙「愛知民協連ニュース」No. 160 pp. 2-9	和光小学校5年生担任時に取り組んだ総合学習「思春期のからだところ」の実践記録。思春期の子どもの抱える心身の悩みを「アンケート」結果を介してクラスに公表しながら語り合い、自分と他人を受け止め合っていた。
日本語を楽しむ深め認識・内面・表現を豊かにしていく教育	単	2016. 8. 1	日本生活教育連盟第68回夏季全国研究会要項 pp. 37-40	近年の国語教育動向は国語科が本来担ってきた性格を変え、すべての教育活動で身につけるべきことばの力の育成を国語科に担わされてきている。そのことでの問題点を指摘し、改めて国語科の果たすべき役割を提起した。
幼児理解を深める保育者要請を目指して	単	2017. 2. 1	生活教育 819号 pp. 44-45	「仲間の輪の中で育つ—乳幼児期の子どもの発達—」をテーマにした特集の中のコラムとして、現在取り組んでいる学生向け授業の悪戦苦闘を紹介した。
保育活動の質を向上させていくための実践的考察	単	2017. 2. 28	名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園研究紀要 pp. 49-63	平成28年度に附属クリエ幼稚園において挑んできた取り組みを紹介・分析しながら、施設物的環境、人的環境、保育活動を構成する内容環境、保護者・大学・地域・外部識者等の協力環境の4点でどう評価できるのか、何が課題となっているのかを提起した。
◎講演・特別講義等 子どもを「ど真ん中」に置いて国語の授業をレイアウトする	単	2017. 7. 29	児童言語研究会名古屋支部	国語科の性格がどのように変遷してきたのかをまず紹介した上で、ことばを味わって読み表現する時間に特化した国語科カリキュラムに精選していくことの必要性を、実際の授業実践を通して提起した。
今どきの子どもに育むべきこと	単	2016. 9. 23	日本福祉大学子ども発達学D講座	江戸時代以降のライフスタイルの変化とともにどう子育てが変容してきているのかを示しながら、生きづらさを抱えている家庭においていかに手を差し伸べる保育・教育が必要かを語った。
こんなとき、子どもがかがやく	単	2016. 11. 13	春日井の教育を語る市民のつどい	明治期の幼児教育・保育誕生以来の変遷を語りながら、とりわけ今求められているのは、子どもの心を感じ取り創造した実践を子ども・保護者・保育者の連携でつくっていくことであるということを、私が園長を務めてきた2つの幼稚園の実践を例にして話した。
私の目指す教育・幼稚園づくり	単	2016. 11. 26	名古屋芸術大学生涯学習講座「保育先進国の保育政策・内容に学び日本の保育を考える」第6回講座	2つの幼稚園の実践を例にして、子ども・保護者・保育者が連携して実践を形作っていく創造的な取り組みが現代の幼児教育・保育においてはとりわけ重要である旨を話した。
今問われている「国語科」を踏まえての授業分析	共	2017. 2. 18	埼玉児童言語研究会第33回研究会シンポジウム	山口佳代子教諭の一読総合法に基づく『ウナギのなぞを追って』の授業の今日的価値と課題について発言した。共同発言者は元小学校教諭・国語の授業研究者の渡辺真由美先生。

## 准教授 久保 博満

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
名古屋市教育委員会 教員免許状更新講習	2016. 8. 24 2016. 10. 8	講師 「国語科教育について」「免許状更新講習規定」 第4条に定められた内容で選択領域に該当する内容
第33回読売書法展	2016. 8. 20	入選 篆刻作品「契静精微」小篆 朱文
第79回謙慎書道展	2017. 3. 20	秀逸 篆刻作品「属辞比事」小篆 朱文

## 准教授 松實 輝彦

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
小学校の研修会における講師活動	2016. 11. 20	北名古屋市立師勝北小学校より依頼を受け、同校の教職員を対象に、「自己有用感を高める図工の指導」をテーマとする講演を行った。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎著書 大正期アジアにおける新聞 広告の視覚文化論—日本製 品が約束する幸福のかたち —	共著	2017. 3	大正イマジュリイ学会国際 シンポジウム報告書編集委 員会（大正イマジュリイ学 会）	大正イマジュリイ学会が主催し、3カ年にわたって取り組んだ「大正期東アジアにおける新聞広告の視覚文化論」シンポジウムの研究成果をまとめた論集である。海外研究者8名（中国・香港大学、台湾・国立政治大学、韓国・延世大学、他）日本の研究者8名の論考を収録し、上記の研究課題を視覚文化の学際的な観点から多面的に、より深く討議した内容を反映させたものである。筆者は国内論文（関連研究）として、「日本の初期広告写真を概観する—小川一真から杉浦非水に至る美人広告写真の系譜—」の項目を担当した。わが国における広告写真の黎明を明治中期の浅草十二階での美人写真コンクールにもとめ、写真師・小川一真の芸妓写真から図案家・杉浦非水による三越百貨店のポスターに使用された美人写真へと至る展開を論じた。このシンポジウムの開催および論集の刊行には、サントリー文化財団の「人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」を受けた。（pp. 295-308）
◎学術論文 嶋本昭三の芸術教育活動に ついて—アール・ブリュットの 観点からのアプローチ—	単著	2017. 3	『美術教育学研究』第49号 （大学美術教育学会）	世界的に著名な芸術家・嶋本昭三の活動から、教育者としての姿に注目し、その芸術教育活動に顕著な「アール・ブリュット」への関心に焦点を合わせ、学術的アプローチを試みた。嶋本の教育活動の指導者である曾根靖雅との関係を検討したのち、嶋本が関わったアール・ブリュットの表現者である詩人の友

<p>貼り絵製作へのまなごし —小学校図画工作科の事例 研究—</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学研究紀要』 第38号（名古屋芸術大学）</p>	<p>原康博と、さをり織り作家の藤山晃代について各々の創作活動を振り返った。彼らの活動を通して、嶋本が自身の制作活動と併行しながら実践した芸術教育活動の意義を明らかにした。(pp. 377-384)</p> <p>貼り絵は現在も多くの教育現場で、盛んに取り組まれている教材のひとつである。また教育現場を離れると、その対象は児童だけではなく、高齢者や障害を持つ人々へと広がっていく。ここでは日本の教育史における貼り絵について概観したうえで、本学における図画工作科指導法の授業で実施した貼り絵製作指導についての事例を基に考察した。その結果、貼り絵が現在でも十分に有用性の高い教材であることが、演習を通じた事例研究においても明確に示された。(pp. 269-280)</p>
---	-----------	----------------	--	--

准教授 吉村 美由紀

<p>著書, 学術論文等の名称</p>	<p>単著, 共著の 別</p>	<p>発行又は発表 の年月</p>	<p>発行所, 発表雑誌等又は 発表学会等の名称</p>	<p>概 要</p>
<p>◎著書 『子どもと福祉』第9号 (書評) わたしの書棚「自 著を語る」</p>	<p>単著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>あいち保育研究所 研究紀 要 第8号 (p. 144)</p>	<p>『子どもと福祉』第9号について読みどころを紹介した。特に特集1の「児童養護施設の小規模化でみえてきたこと」について、家庭的養護推進計画が行われているが、そこで生じている課題とその克服方法について事例から学びとれることについて紹介した。また、特集2の「里親支援に必要なもの」、特集3の「一時保護所の現状と課題」に関する内容についても述べた。</p>
<p>◎学術論文 社会的養護施設の職員養成 について考える—施設に就 職を希望する学生のための 養成講座を振り返る—</p>	<p>共著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>岡崎女子大学岡崎女子短期 大学研究紀要第50号 (pp93 ~100)</p>	<p>児童養護施設の職員の人材育成において、早期退職、労働条件、職務内容の理解の低さなど、多くの課題があげられる。こうした課題を解決するため、施設職員を目指す学生のための養成講座を開催してきた。この講座について、これまで受講した人たちを対象にアンケート調査を行い、その結果から講座の内容は現場職員として役立つものとなっていたことが明らかとなった。共著者：吉村讓、蛭沢光 本人分担「Ⅲ調査の概要」「Ⅳ調査結果」(pp. 95-96)</p>
<p>◎その他 社会的養護等の職員養成の 取り組み—施設への就職を 希望する学生への養成講座 について考える—</p>	<p>共同</p>	<p>2016. 5</p>	<p>日本保育学会（第69回）於 東京学芸大学小金井キャン パス</p>	<p>児童養護施設の職員の人材育成において、さまざまな課題があげられる。こうした課題を解決するため、NPO法人こどもサポートネットあいちでは、施設職員を目指す学生のための養成講座を開催してきた。この講座について、これまで受講した人たちを対象にアン</p>

『子どもと福祉』第9号	共著	2016. 7	明石書店	<p>ケート調査を行ったものをまとめ、発表した。調査結果から、講座の内容は現場職員として役立つものとなっていたことが明らかとなった。執筆発表者：吉村譲、共同者：蛭沢光 本人分担「調査の概要」「調査結果」に関する箇所</p> <p>『子どもと福祉』（研究誌）の第9号の特集として「児童養護施設の小規模化でみえてきたこと」を中心に事例等の編集にあたった。実践事例レポートの執筆依頼、構成、他に連載執筆依頼、全体をとりまとめ、編集を行った。共同編集者：堀場純矢、大森信也、佐藤隆司、二宮直樹、山野良一他</p>
-------------	----	---------	------	--

## 教授 酒井 宏明

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎研究会・研修会 三重県四日市市立四日市西小学校現職教育講師	2017. 1	社会科授業づくりの指導
社会科の初志をつらぬく会東海研究会講演講師	2017. 1	講演会「教師として生きるとは」
知多地方教友会講演会講師	2017. 2	講演会「授業づくりで大切にしたいこと」
◎教職実践関係	2016. 11 2017. 1	愛知県小中学校事務研究会研究大会助言者 社会科の初志をつらぬく会東海集会5年分科会助言者

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎著書 「愛知県における戦後新教育実践の展開—名古屋市立幅下小学校の実践を中心として—」	単著	2017. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』第38巻（総頁数12頁）	愛知県の新教育実践校の多くは、愛知県実験学校であった。名古屋市内で唯一の実験学校である幅下小の教育実践がどのような力によってその実践が開始され、どのようにその研究内容が決定されていったのか。また、そこでどのような研究実践がなされたのか、さらにこの研究実践が愛知県下の新教育の展開にどのような影響を与えていったのかといったことについて、当時の実験学校協議会の資料、学校にある研究資料、教師への聞き取り調査などをもとに、戦後新教育実践の実態について考察を試みた。(pp. 119-130)

<p>「教職員の多忙化解消に関する一考察—改めて寺子屋師匠に学ぶ—」</p>	<p>共著</p>	<p>2017. 3</p>	<p>『名城大学教職センター紀要』第14巻（総頁数11頁）</p>	<p>共同研究により抽出不可。全体の校正と「1はじめに」「5おわりに」部分について分担執筆。                  教職員の多忙化解消のためにはどのような施策が必要なのかといった今日的な課題を受けて、研究しその成果を本論文にまとめた。                  教職員の多忙化解消の視点を①教職員定数の増員②教育課程の見直しにともなう部活動の見直しと削減③外部人材（大学生スタッフ・地域スタッフ）の活用による人員増④現在の仕事量を増やさないICTの活用⑤ボトムアップによる学校経営の参画、以上5点に整理し教職員の多忙化解消について具体的に提言した。                  共同執筆者：平山勉、酒井宏明、浅井厚視、吉田真季</p>
--	-----------	----------------	-----------------------------------	--

准教授 加藤 智也

<p>教育上の能力に関する事項</p>	<p>年 月 日</p>	<p>概 要</p>
<p>◎教育方法の実践例 学生レベルに合った指導</p>	<p>2016年度</p>	<p>少人数の授業では、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにしている。</p>
<p>最新の新聞記事やニュース番組の事例活用</p>	<p>2016年度</p>	<p>授業内容を身近に感じてもらうため、社会で起きている出来事を具体的に取り上げ、学生の興味を引き付けている。</p>
<p>授業内容の公開</p>	<p>2016年度</p>	<p>授業進行の効率化、授業内容の理解促進、予復習の習慣化を目的に、授業で使用するPowerPoint教材をWebやLMSにて公開している。</p>
<p>学生企画の実施と支援</p>	<p>2016年度</p>	<p>学生の発想を尊重し、学生自らの手で責任をもちながら企画を遂行できるよう、的確なアドバイスを与え、学生の意欲・実践力向上に努めている。</p>
<p>SNSを活用した情報共有の推進</p>	<p>2016年度</p>	<p>アクティブラーニングを意識し、研究に関する情報の効果的な共有を可能とし、授業内外において議論を深めることに役立っている。学生にとっては、日常的にSNSを活用することによりネチケットの習得など情報リテラシー向上につながる。さらには、学生に対してスピーディーな対応を実現している。</p>
<p>WebやLMSを活用したアンケートの実施</p>	<p>2016年度</p>	<p>出席確認時に授業に関連する事柄についてPCやスマートフォンを使ってアンケートを実施している。その結果をリアルタイムで見せることで、学生の興味をひきつけることができるため、授業の導入として有効である。</p>
<p>LMSを活用した小テストの実施</p>	<p>2016年度</p>	<p>PCやスマートフォンを使って、講義の最初に小テストを出題し、講義中解答をしながら授業を聞いてもらい、授業終了後の提出させることで、授業に集中できるようにしている。</p>

◎作成した教科書・教材 オリジナル教材の作成	2016年度	テキストの補足説明資料、理解度を確保するオリジナル課題、内容理解を促すスライド、毎回の授業後に理解度を確保するチェックシート、デジタルコンテンツの制作方法、企画の提案書、研究計画書および論文の書き方、発表資料の作り方に関する資料、見本や、ソーシャルメディアを扱うためのマニュアル、ガイドラインを作成している。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 学生による授業評価結果	2016年度	すべての項目に関して学部平均を大きく上回っている。特に、授業内容は92%以上理解できており、100%の学生が学習意欲がわき、97%以上の学生が授業に満足できた、説明・アドバイスが適切だった、知識が広がったと回答している。(5段階評価で4以上)

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎学術論文 小学校におけるプログラミング教育に関する考察	単著	2017. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』第38巻	本研究では、小学校でのプログラミング教育開始に向けて、子どもへの効果や教育・学習するための手段、そして実現するにあたり解決すべき課題について考察した。プログラミングを通じて高度情報化社会で不可欠な機器やサービスの仕組みを知ることは、世の中の仕組みを知り新たな仕組みを創造していく上で有益である。
◎その他 視聴覚に訴える日本史年号記憶動画の制作	単著	2016. 4	NHK Eテレ テストの花道 ニューベンゼミ	記憶に残るオリジナルイラストや誰もが知っているテンポのよいクラシック曲に歌を加えて、視覚・聴覚から脳に働きかけることにより日本史年号を記憶として定着させる動画コンテンツ（ゼミナールで制作）がインターネット上で評判となり番組にて紹介された。

## 准教授 東條 文治

教育上の能力に関する事項	年月日	概要
◎教育方法の実践例	2016. 8. 17・25・26	教養講座（自然）において学外授業を行った。本学と連携協定を結んでいる豊橋市自然史博物館において、博物館を活用した教育活動を実践した。動植物図鑑の作成、博物館の展示学習、バックヤード見学、骨格標本を使用した学習活動、動物の歯のレプリカ作成等を行った。博物館の教育資源を活用し、実感を伴った理解を目指す授業展開の実践となった。



職務上の実績に 関する事項	年 月 日	概 要
モロッコ産ゴニアタイト化石 の分類学的研究と教材開発	2016年度	科学研究助成金、基盤C、による研究活動。研究代表者としてモロッコにおいて化石産地調査を行い、教材となる化石試料を採取した。採集した化石の分類群を整理し、クリメニア目の化石の同定によって、産地となる地層の形成年代がデボン紀であることを特定できる教材を開発した。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 示準化石教材に使用するゴ ニアタイト化石の分類群に ついて	共著	2017. 3	名古屋芸術大学研究紀要、 第38巻	モロッコから産出する古生代ゴニアタイト化石を使った教材開発を行った。示準化石として化石の同定から地層の時代を推定することができる化石の分類群の特定を行った。モロッコの化石産地の調査を行い、採取した化石試料を検討したところ、さまざまな分類群のゴニアタイト化石が採集できた。この中でクリメニア目の化石種はデボン紀からのみ産出するため、これが教材として重要であることが明らかになった。（東條文治・安井謙介） 図本文は東條が担当、現地調査と化石採集は東條と安井が担当。（pp. 195-200）

---

---

名古屋芸術大学研究紀要 第 39 卷 別冊 (業績集)

2018年3月8日印刷

2018年3月15日発行

発行者 名 古 屋 芸 術 大 学

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

印刷所 有 限 会 社 も く も く 印 刷